

厚生労働省

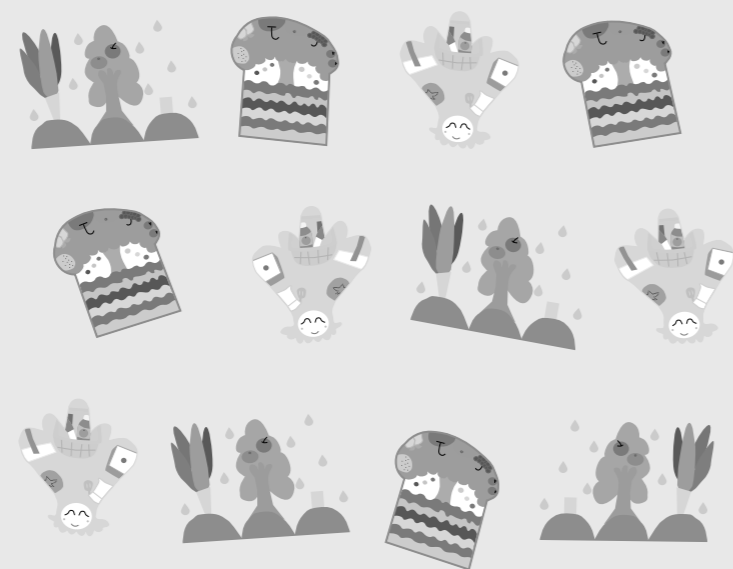
平成25年度障害者総合福祉推進事業

就労系障害福祉サービスにおける地域連携の モデル事業収集と成功要因の分析について



平成26年3月
NPO法人全国就業支援ネットワーク

厚生労働省 平成25年度障害者総合福祉推進事業 の地域連携とモデル事業事例集 100STYLE



就労系障害福祉サービスにおける地域連携の
モデル事業収集と成功要因の分析について
平成26年3月NPO法人全国就業支援ネットワーク

<目次>

- 1. はじめに

- 2. 事業概要
 - 2-1 事業目的
 - 2-2 事業の実施内容
 - 2-3 検討委員会の実施状況

- 3. 調査結果【事例】

- 4. 先進事例に学ぶ
 - 4-1 障害福祉サービスにおける先駆的地域連携の傾向について
 - 4-2 経営の視点からみた障害福祉サービスの現状と課題

- 5. おわりに

はじめに

人の労働条件や労働環境は、何人も同等であるべきだ（メインストリーム；mainstream）という主張に異を唱える人はいないだろう。しかし、心身機能の変調のために、しかるべき労働に従事できない、所与の作業が遂行できない、作業効率が上がらないとされ、「生産性の低下・売上の減少・過重な設備投資・人件費の高騰など、企業倒産に連なるような過重負担が具現する」¹として、ネガティブな労働力だと見なされることもある。

1. <雇用就労>と<福祉的就労>

障害者の就労は、労働行政を核として推進されている一般企業での就労を促す<雇用就労>と厚生行政において推進されてきた<福祉的就労>がある。雇用就労は、大企業から小規模の事業所にいたるさまざまな事業種があり、また、産業動向や経済動向に敏感に対応しながら営利活動を展開している事業所での雇用をいうもので、これらの事業所に対して、法定雇用率や雇用納付金を課すことを前提として雇用の促進が図られてきた。しかも今日では、障害者だけではなく、就労問題に直面している人々に対して、基礎自治体が主導して、地域福祉にいう社会福祉実践へと連なる支援も推進されている。

一方、働く意思があっても、労働市場から締め出されると予想される「慢性的な失業状態」が予想される障害者を雇用不安のない「就労」に導く方策は、社会福祉の必然として整備されてきた。また、失業して生活が困窮している人に対し、就労や技能の修得に必要な機会や便宜を与えて生活ができるようにする「授産」（産を授ける）という施策がある。その源流は、江戸時までさかのぼるといわれる²。「授産」は、第2次世界大戦後に傷痍軍人の保護対策として適用され、さらに、「身体障害者福祉法」（1949）において「身体障害者授産施設」が設置され、社会事業法に基づく社会事業授産施設、生活保護法に基づく生活保護授産施設に続く3番目の授産事業に位置づけられた³。

授産施設を中心に展開されてきたわが国の福祉的就労に関して、蟻塚⁴は、「あえて誤解を恐れずにいえば、障害者の就労の場が法律社会福祉の整備のなかで授産施設に封鎖されてしまい、また個々の授産施設によってはサービス提供にあたって就労保障の視点を忘却していることである。国際比較でいえばILO勧告や国連障害者年世界行動計画に規定された保護雇用のヨーロッパにおける潮流との落差である。また、近年イギリスで台頭してきた障害者や社会的な支援を必要とする人々が参加するコミュニティー・ビジネスなどの動きを見れば、わが国のこうした停滞はむしろ国の温情主義（パートナーリズム）的な施策整備のなかで授産施設が活動の芽を包摂してしまったことに原因があるようにもみてとれる。」と述べている。

¹ 青山英夫「障害者雇用と企業倒産」Pp. 1～15, 大阪学院大学商経叢書策8巻第4号, 19

² 池田敬正「日本社会福祉史」Pp.101～189, 法律文化社, 1986

³ 黒木利克「日本社会事業現代化論」全国社会福祉協議会, 1958

蟻塚昌克「授産施設の源流と展開」埼玉県立大学紀要 Vol4.Pp.190,埼玉県立大学 2002

授産施設を中心とするわが国の福祉的就労の実情は、①施設利用者の就職者の割合が低い（施設利用者の1%）、②授産施設の工賃が低い（平均月額15,000円）、③離職した場合の再チャレンジの受け皿がなく就職を躊躇する傾向がある、④養護学校卒業生のうち、約6割が福祉施設に入所しており、就職者は、約2割にとどまっている、⑤雇用施策、教育施策との連携がない、などの問題点が指摘され、「障害者とその能力や適性に応じて、より力を発揮できる社会へ」という理念と具体的な改革目標を掲げて制定されたのが「障害者自立支援法」である。

同法は、2005年（平17）11月7日に公布され、2006年（平18）4月1日から順次施行、2006年10月から5年間をかけて新サービスに移行するとされ、障害種別ごとにバラバラに実施されてきた施策を「要支援」という概念でくくったこと、煩雑な福祉施策を事業体系ごとに統合したこと、地域主体のサービスを構築すること、特に「就業」の領域では、施設で働いている人たちの労働者性を担保することに重点がおかた。2013（平25）年4月1日には、「障害者自立支援法」を改め「障害者総合支援法」としたが、就労系福祉サービスは、一般就職が可能と見込まれる障害者を対象に移行支援サービスを提供する就労移行事業、一般就労が困難な障害者で雇用契約に基づく就労が可能な者を対象とした就労継続支援A型事業、一般就職が困難な障害者で雇用契約に基づく就労が困難な者を対象とした就労継続支援B型事業という3つの形態に集約された。

尾高⁵は、職業を「社会」と「個人」をつなぐ結節点であり、「個性の発揮、役割の実現および生計の維持を旨とする人間の継続的な人間活動である」と規定する。さらに、社会生活を営む人が、①その才能と境遇に応じて、②その社会的分担を遂行し、③これから得られる報酬によって生計をたてるどころの継続的な勤労であるとして、職業の「個人的・社会的側面・経済的側面」について解説する。産業活動では、市場での需給に応じて提供する製品や目的物の仕上がりが重要な要素となる。その質・量は労働者の資質（能力）に左右され、「労働需給」が商品価値となる「労働市場」を形成する。そこでは、生産手段を所有する者（使用者）が労働者を雇って一定のルールに基づいて労働に従事し、その達成度に応じて賃金を支給するというメカニズム（competitive employment）⁵が一般的だが、就労系の福祉サービスは、ソーシャル・ファームやコミュニティー・ビジネスといった、地域を基盤とする包摂的な雇用形態を志向するものであることが期待される。

2. 事業の立ち上げと推移

障害者総合支援法における3つの就労系の福祉サービスに関しては、旧法からの移行に関してさまざまな配慮がなされたが、その実施に関しては、当該の事業所の選択に負うところが大きい。事業の立ち上げ（起業・開業）や遂行に関しては、(1)事業基盤に関する事項、(2)事業の推移に関する事項、(3)事業の構成要素に関する事項、という視点から考えることができる。

⁵ 尾高邦雄「新稿 社会学」第2分冊 福村書店 1953

それらの要素をあげれば次のようになろう。

(1)事業基盤に関する事項

起業・開業の目的、経営資源、事業（経営）主体・事業組織、技術移転・産官学連携・事業連携（協同組合など）、社会制度との関連性、事業種類（製品商品開発・労働提供サービス、情報関連サービス）、事業種や市場の特性・規模（域内循環型・開放経済型・双方向型）、流通経路、展開地域

(2)事業の推移・発展（ライフサイクル）に関する事項

事業の推移（生成期・成長期・展開期・成熟期などの時間経緯）

(3)事業体としての要件

事業組織、人員構成やその育成・養成、必要とされる技能・知識（習得方法）など

また、事業分野として想定される業種も多様であり、ざっと考えただけでも次のような分野が想定され、さらには事業環境により細分化されることにもなる。

- ①地域福祉（まちづくり・地域おこし・過疎対策・保育教育・地域振興・高齢者対応）
- ②地場振興（農水産振興・地産地消・荒地対策）
- ③環境保全事業
- ④文化・伝統継承
- ⑤災害復興・対策
- ⑥情報提供
- ⑦雇用促進
- ⑧運輸・交通
- ⑨食品提供・加工

などのカテゴリーが考えられる。その分析は今後の課題としたい。

3. 展開されている事業

現行の就労系福祉サービス事業について、本研究で集約された事例や事例をみれば、明らかに障害がある人の社会参加や社会との関わり、あるいは、地域の活性化などが「就労」を核に推進されている状況が詳細に報告されており、各事業体の「地域を耕す」という意気込みが伝わってくる。

そういう意味ではわが国においても地域を主体とした雇用就労形態であるソーシャル・ファーム（social firm）が着実に定着しつつあるといえよう。

最後に、本研究に検討委員、調査事業担当として各地の情報収集に当たられた諸氏、調査を担当された FVP の方々、事業統括をされた全国就業支援ネットワークの事務局に衷心より感謝致します。

（全国就業支援ネットワーク 事務局長 關 宏之）

2-1 事業目的

① 事業名	就労系障害福祉サービスにおける地域連携のモデル事例収集と成功要因の分析について
② 事業実施予定期間	平成25年11月8日～ 平成26年3月31日
③ 事業計画	<p>1 事業の目的</p> <p>障害者自立支援法の施行以降、就労系障害福祉サービスにおいて、創意工夫を凝らした取り組みが多く行われている。各地域の特徴や強みを活かした生産活動を行い、社会経済活動に参画することにより、利用者の職業能力の向上、社会参加や一般就労への移行の促進、工賃向上につながる事例が多く見られるようになっている。そのような取り組みをしている事業所の事例やノウハウを共有するために、先進的な地域事例の調査を行い、全国に広げていくものとする。</p> <p>地域連携の事例としては</p> <ul style="list-style-type: none">① 農家や農業法人と連携して、人手不足や耕作放棄地の問題を解決している事例② 過疎地域などの高齢者宅に事業所の利用者が訪問し、食事の宅配や買い物支援を行っている事例③ 事業所が地元企業から不要となった設備や工場を譲り受けて再利用している事例④ 企業や企業団体と協力して商品開発を行い工賃や賃金を向上させた事例等⑤ 障害者の就労に関して特別支援学校や自治体も一体になって推進している事例等⑥ 地域連携を軸にして震災復興を図っている事例等⑦ 共同受注システムが効果的に機能している事例等⑧ その他 <p>を中心に調査を行うものとする。</p> <p>本事業において、就労系障害福祉サービス事業所における先進的な地域連携の事例に関する全国の情報を収集し、集約・分析したうえで広く情報提供することにより、就労系障害福祉サービス事業者が地域において事業展開をするうえでの新たな気づきや事業運営をする上でのノウハウを提供するものとする。</p>

2-2 事業の実施内容

① 事業内容及び手法

調査手順

1. 自治体 関係機関アンケート調査
 目的 :モデル事例情報収集
 対象 :都道府県、政令市、セルフセンター、セルフ以外の共同受注窓口、
 障害者就業・生活支援センター等
 サンプル数 47+20+47+25+318=457件
 調査方法 :メールでのアンケート送付 回収

2. 事例の整理・電話ヒアリング
 各機関から推薦された事業所の事例を検討し、取材対象候補を決める。
 概ね150件程度)
 候補事業所に対し、電話ヒアリングを行い、モデルにふさわしい事例かどうかを判断する 概ね100ヶ所を選定)

3. 現地訪問・取材
 地域の障害者就業・生活支援センター、もしくは直接事業所に依頼し、テーマ別事例について、取材する (写真撮影含む)

4. 報告書作成
 センターが収集した事例を項目別に整理し、報告書にまとめ、考察を加える。
 報告書は、ホームページにアップし、誰でも閲覧できるようにする。

② 狙いとする事業の成果

就労系障害福祉サービス事業所が地域との連携を積極的に行い、特色ある取り組みの事例を収集し、モデル事例として広く提供することにより、全国各地においてその運営ノウハウを広く共有し、各地域での福祉サービスの向上や地域福祉の向上へと貢献すると考えられる。

就労系障害福祉サービス事業所における 地域連携モデル実態調査に関する情報提供のお願い

調査ご協力のお願い

平成25年12月
 特定非営利活動法人
 全国就業支援ネットワーク

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
 このたび、当法人では、厚生労働省より、障害者総合福祉推進事業を受託し、「就労系障害福祉サービスにおける地域連携モデル実態調査」を実施することとなりました。
 この調査は、就労継続支援B型事業所等、生産活動を行う事業所の中で、地域資源の活用や地域の企業・団体等と連携し、独自の商品開発やサービス提供につなげたり、地域福祉の充実や産業活性化に貢献している事業所をモデル事例として抽出し、その詳細を取材して、全国に紹介することを目的としています。

調査実施にあたり、こうした「地域連携モデル事例」にあたる事業所情報をできるだけ多く集めたいと考えており、自治体等の皆様に情報提供のご協力をお願いいたしたく、アンケートをお送りさせていただきました。

本アンケートは、都道府県の障害福祉課、障がい者就業・生活支援センター、共同受注窓口等にお送りしております。
 一次データとして、多様な事業所の情報を収集したのち、テーマ・地域等に配慮して、100ヶ所ほどの事業所に取材させていただきたいと考えています。

ご多忙中、誠に恐れ入りますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、本アンケートにつきましては、株式会社FVP（東京都千代田区）に委託しております。
 ご不明な点がございましたら、下記窓口までお問合せくださいませ。

【株式会社FVP】
 担当：三瓶（さんべ）・稲山
 所在地：〒101-0047 東京都千代田区内神田1-3-8 ステージ内神田6階
 TEL：03-5577-6913
 E-mail：sampe@fvp.co.jp

◆入力上の留意事項（最初にお読みください）

- ・入力部分 それぞれの欄の水色部分のみ入力してください（可能な限り記入をお願いいたします）。
- ・直接入力 枠内に入力してください。文字量が多くて、枠内に全て表示されない場合でも、そのまま入力願います。
（枠を広げる等はしないでください。）
 数字入力欄については、半角数字で入力し、該当がない場合は、必ず半角数字の「0」を入力してください。
- ・番号入力 番号入力の際は、「番号のみ」入力してください。
- ・アンケートは必ず最後までご覧ください。

※ご記入いただきましたアンケートは、12月20日（金）までにメールでお送りくださいますよう、お願い申し上げます。

所属番号				
1. 自治体（都道府県） 2. 自治体（政令市） 3. セルフセンター 4. セルフセンター以外の共同受注窓口 5. 障がい者就業・生活支援センター				
自治体名 (〇〇県〇〇課) ・団体名				
住所	〒	〇都・道・府・県	〇市・区・町・村	
記入者名 (役職・氏名)				
TEL				
FAX				
E-MAIL				

《全ての方にうかがいます。》

問1 本事業における地域連携とは、生産活動に関する取り組みの一貫として、下記の表に挙げる事例等を想定しています。
 貴自治体・貴団体の管轄圏内でこうした取り組みを行っている事例があれば、取り組んでいる事業所名、取り組み内容等について簡単にお知らせください。（5件まで）
 ※参考調査ですので、おわかりなる範囲での情報で結構です。詳細はこちらから事業所に直接電話等でヒヤリングさせていただきます。

番号	取り組み内容
1	農家や農業法人と連携して、人手不足や耕作放棄地の問題を解決している。
2	過疎地域の高齢者宅を事業所の利用者が訪問し、食事の宅配や買い物支援を行っている。
3	事業所が地元企業から不要となった設備や工場を譲りうけて再利用している。
4	企業や企業団体と協力して商品を開発し、売り上げを増加させた。
5	障がい者就労に関して特別支援学校や自治体も一体になって推進している。
6	地域連携を軸にして震災復興を図っている。
7	共同受注システムが効果的に機能し、受注を行っている。
8	その他

【事例1】

取り組み内容 (上記1～8)			
どのような連携かご記入ください。			
生産活動や地域の産業にどのような良い効果もたらされていますか。わかる範囲でご記入ください。			
主体となっている 事業所名	法人名		事業所名
	住所		
	TEL		
	管理者		

【事例2】

取り組み内容 (上記1～8)			
どのような連携かご記入ください。			
生産活動や地域の産業にどのような良い効果もたらされていますか。わかる範囲でご記入ください。			
主体となっている 事業所名	法人名		事業所名
	住所		
	TEL		
	管理者		

【事例3】

取り組み内容 (上記1～8)			
どのような連携かご記入ください。			
生産活動や地域の産業にどのような良い効果もたらされていますか。わかる範囲でご記入ください。			
主体となっている 事業所名	法人名		事業所名
	住所		
	TEL		
	管理者		

【事例4】

取り組み内容 (上記1～8)			
どのような連携かご記入ください。			
生産活動や地域の産業にどのような良い効果もたらされていますか。わかる範囲でご記入ください。			
主体となっている 事業所名	法人名		事業所名
	住所		
	TEL		
	管理者		

【事例5】

取り組み内容 (上記1～8)			
どのような連携かご記入ください。			
生産活動や地域の産業にどのような良い効果もたらされていますか。わかる範囲でご記入ください。			
主体となっている 事業所名	法人名		事業所名
	住所		
	TEL		
	管理者		

《都道府県、政令市の方にかがいます。》

問2(1) 貴自治体では、こうした地域連携の取り組みを推進する施策を実施していますか。

平成24年度、25年度の工賃向上計画事業、および平成24年度以降の自治体独自予算による事業について、以下の番号1～3より一つ選び、ご回答ください。

回答	
1	地域連携を目的とした事業を実施している。
2	地域連携を目的とした事業ではないが、結果的に地域連携の促進に繋がる事業を行っている。
3	特に実施していない。

問2(2) 1または2と回答した場合、その事業名、予算額、内容等をお知らせください。(平成24年度及び今年度の事業で主なものを3つご記入ください。)

事業名	
予算額	円
内容	

事業名	
予算額	円
内容	

事業名	
予算額	円
内容	

《全ての方にかがいます。》

問3 地域と連携することで生まれる成果や可能性、また逆に課題としてどのようなことが考えられますか。自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございます。

1次調査サンプル回収数(都道府県別)

都道府県別・地方別 サンプル数割合(%)

地方	都道府県	サンプル数	%	地方別サンプル数	%
東北	北海道	12	3.7	63	19.2
	青森県	4	1.2		
	岩手県	13	4.0		
	宮城県	17	5.2		
	秋田県	3	0.9		
	山形県	10	3.0		
	福島県	4	1.2		
関東	茨城県	6	1.8	43	13.1
	栃木県	7	2.1		
	群馬県	2	0.6		
	埼玉県	4	1.2		
	千葉県	8	2.4		
	東京都	13	4.0		
	神奈川県	3	0.9		
中部	新潟県	23	7.0	78	23.8
	富山県	5	1.5		
	石川県	0	0.0		
	福井県	2	0.6		
	山梨県	2	0.6		
	長野県	20	6.1		
	岐阜県	3	0.9		
	静岡県	5	1.5		
	愛知県	18	5.5		
近畿	三重県	11	3.4	63	19.2
	滋賀県	3	0.9		
	京都府	18	5.5		
	大阪府	18	5.5		
	兵庫県	10	3.0		
	奈良県	2	0.6		
	和歌山県	1	0.3		
中国	鳥取県	3	0.9	24	7.3
	島根県	2	0.6		
	岡山県	10	3.0		
	広島県	3	0.9		
四国	山口県	6	1.8	11	3.4
	徳島県	0	0.0		
	香川県	10	3.0		
	愛媛県	1	0.3		
九州	高知県	0	0.0	46	14.0
	福岡県	18	5.5		
	佐賀県	5	1.5		
	長崎県	1	0.3		
	熊本県	8	2.4		
	大分県	9	2.7		
	宮崎県	2	0.6		
	鹿児島県	2	0.6		
沖縄県	1	0.3			
全体		328	100.0	328	100.0

ヒアリング担当者

日時	
所属	
担当者	
TEL	

■ヒアリング・レポート

1 都道府県

2 連携テーマ
 タイトル

3 事業所名 (団体名)

法人名			
事業所名			
住所			
TEL		FAX	
管理者名		担当者名	
ホームページ URL			
e-mail			

4 事業所概要

事業種別		
利用者数 (25年12月時)		人
職員数 (25年12月時)		人

5 具体的な連携内容

①連携相手 (企業名 代表者氏名 業種 事業概要)
 ②連携内容 (きっかけ、いつから、どのような連携を行っているか)
 ③連携の結果、生まれた商品・サービスの具体的な内容 など

6 連携状況写真

7 連携の効果

①連携により生まれた商品・サービスの製造数・販売数・売上・利益など
 ②数値以外の連携の成果 (利用者の変化、顧客の評価、地域との関係強化、広報的な効果)
 ③生産活動に関わる成果 (利用者の職域拡大、利用者の能力向上、企業ノウハウの導入、市場と点拡大、生産性向上など)

7 動画の有無
(動画の内容)

--	--

8 調査員コメント

2-3 検討委員会実施状況

○検討委員

氏名	所属
菅 洋一	社会福祉法人山形県社会福祉事業団コロニー希望が丘 地域福祉支援センター所長
小池 邦子	全国社会就労センター協議会事業振興委員長 社会福祉法人花工房福祉会 エコーンファミリー管理者
城 貴志	NPO 法人 滋賀県社会就労事業振興センター 常務理事兼センター長
關 宏之	NPO 法人全国就業支援ネットワーク事務局長 (社福)日本ライトハウス常務理事
高井 敏子	NPO 法人全国就業支援ネットワーク代表理事 (社福)加古川はぐるま福祉会理事長
坂中 聖子	福島県障害福祉課
東馬場 良文	神戸光の村授産学園園長
矢野 孝	矢野紙器株式会社代表取締役
吉田 浩	リスクサービス株式会社
山科 正寿	厚生労働省障害福祉課就労支援専門官

○調査担当委員

氏名	所属
小倉 広文	浜田障害者就業・生活支援センター レント所長
鈴木 康弘	地域生活支援センターふっとわーく 所長
野口 弘行	長崎障害者就業・生活支援センター 所長
野林 博文	大阪市立千里作業指導所 所長
脇田 哲也	大阪市職業リハビリテーションセンター副主幹

○事務局


氏名	所属
酒井 京子	サテライト・オフィス平野所長
川上 英世	大阪市職業リハビリテーションセンター第一指導係長
安蔵 崇史	大阪市職業指導センター 主任

<第1回検討委員会>

- 開催日時 平成25年11月24日(日) 15:00~17:00
- 開催場所 「フクラシア東京ステーション」
- 議題 (1) 委員紹介
(2) 事業概要説明
(3) 1次調査票(案)について
(4) 実地調査の分担について

<第2回検討委員会>

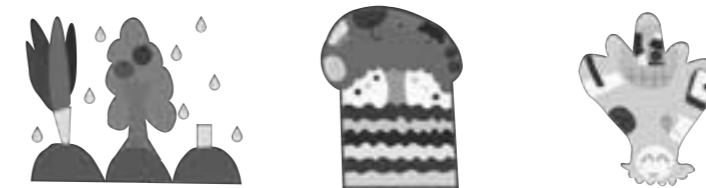
- 開催日時 平成26年1月26日(日) 13:30~15:30
- 開催場所 「CIVI 北梅田研修センター」
- 議題 (1) 1次調査結果について
(2) 実地調査先の選定について
(3) 報告書の構成について

A decorative border made of interlocking puzzle pieces in shades of gray, forming an L-shape around the central text. There are also some loose puzzle pieces scattered around the border.

3. 調査結果

～100の事例に学ぶ～

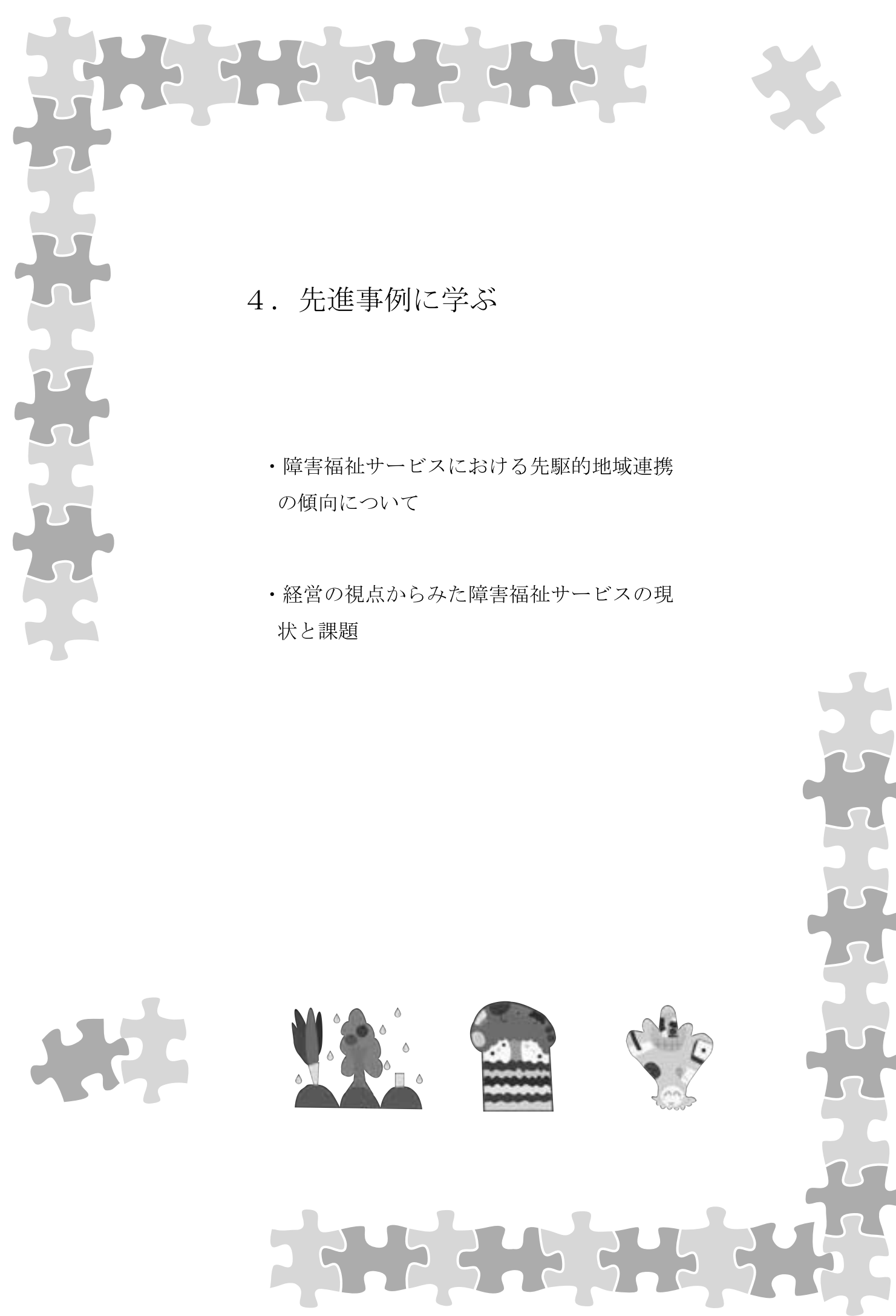
100STYLE



◇100事例リスト

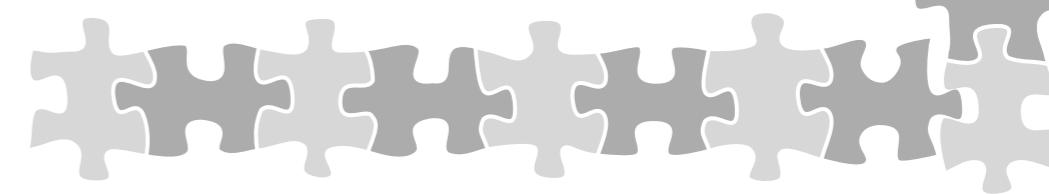
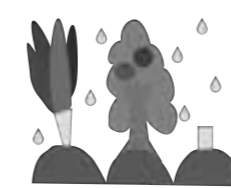
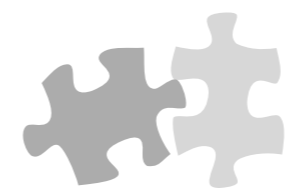
NO	都道府県	法人名	事業所名
1	北海道	社会福祉法人はるにれの里	ふれあいきのこ村、とれたってマルシェ
2	北海道	社会福祉法人北海道光生会	爽やかネットワーク
3	青森	社会福祉法人清慈会森の菜園・たっこ	
4	青森	社会福祉法人俊公会	ソーシャルファーム・エッグス
5	青森	社会福祉法人七峰会	就労サポートひろさき
6	岩手	社会福祉法人 わかたけ会	SELPわかたけ
7	岩手	特定非営利活動法人イーハトーブ	とりもと
8	岩手	社会福祉法人 わかたけ会	SELPわかたけ
9	岩手	社会福祉法人 カナンの園	となんカナン
10	宮城	社会福祉法人洗心会	のぞみ福祉作業所
11	宮城	株式会社まちの豆腐屋プロジェクト	
12	秋田	特定非営利活動法人湯雄福祉会	就労支援羽後のうさん
13	秋田	社会福祉法人 慈泉会	就労支援センター もくもく道場
14	山形	株式会社形包徳	
15	山形	特定非営利活動法人置賜自然と共育の村	「かにの家」「まいどや」
16	山形	特定非営利活動法人山形自立支援創造事業舎	みちのく屋台こんにやく道場
17	山形	社会福祉法人友愛の里	友愛園
18	福島	南相馬ファクトリー	
19	福島	社会福祉法人こころん	
20	福島	社会福祉法人牧人会	須賀川共育育成園
21	茨城	社会福祉法人 ユーアイ村	ユーアイキッチン
22	栃木	社会福祉法人ソフィア会	社会就労センターえいぶるの里
23	群馬	社会福祉法人館邑会	ふらっぐ
24	埼玉	社会福祉法人埼玉福祉会	
25	千葉	千葉県障害者就労事業振興センター	
26	東京	特定非営利活動法人障害者自立支援センター多摩ワークス多摩（工房れすと）	
27	神奈川県	株式会社 虹の橋	
28	神奈川県	社会福祉法人すずらの会	グリーンハウス
29	新潟	つどいの郷	
30	新潟	社会福祉法人 佐渡福祉会	まつはらの家
31	富山	特定非営利活動法人愛和報恩会	
32	富山	社会福祉法人めひの野園	作業センターふじなみ
33	石川	社会福祉法人 富明会	
34	福井	C・ネットふくい	丸岡南中事業所
35	福井	越前市社会就労センター協議会	
36	山梨	特定非営利活動法人かしのみ	かしのみ
37	長野	社会福祉法人花工房福祉会	わくワーク
38	長野	社会福祉法人花工房福祉会	わくワーク
39	長野	株式会社 しんえこ	
40	長野	社会福祉法人 花工房福祉会	
41	岐阜	社会福祉法人 いぶき福祉会	いぶき
42	静岡	特定非営利活動法人トータルケアセンター	
43	静岡	社会福祉法人復泉会	
44	愛知	社会福祉法人阿吽会	ほのくに
45	愛知	社会福祉法人昭徳会	授産所高浜安立
46	三重	社会福祉法人菰野町社会福祉協議会	菰野町わかば作業所
47	三重	社会福祉法人伊勢亀鈴会	きれいサポートステーション
48	滋賀	社会福祉法人 虹の会	社会就労センターアイリス
49	滋賀	社会福祉法人聴覚障害者福祉協会	びわこみみの里内
50	滋賀	社会福祉法人 あゆみ福祉会	

51	滋賀	社会福祉法人 美輪湖の家大津	瑞穂
52	京都	社会福祉法人よさのうみ福祉会	リフレかやの里
53	京都	社会福祉法人亀岡福祉会	かめおか作業所 丹亀
54	京都	京都府高齢障害者雇用支援協会	はあと・フレンズ・ストア
55	大阪	社会福祉法人さつき福祉会	
56	大阪	社会福祉法人つながり	サニースポット
57	大阪	特定非営利活動法人すいたの輪	Happy & Smile
58	大阪	ワークワーク大阪	
59	大阪	社会福祉法人つながり	サニースポット
60	大阪	特定非営利活動法人ワークステージ	山下紙器
61	兵庫	特定非営利活動法人 マブイ六甲	
62	兵庫	特定非営利活動法人こむの事業所	
63	奈良	社会福祉法人五條市あすなる福祉会	あすなる園
64	奈良	社会福祉法人ひまわり	ほどらいこ
65	和歌山	特定非営利活動法人 絆	
66	和歌山	社会福祉法人 やおき福祉会	すまいる
67	鳥取	特定非営利活動法人らいぶ	リヴよどえ
68	鳥取	株式会社プレマスペース	ばにーに湯梨浜店・花見事業所
69	鳥取	豆腐と揚げだしの店『まめいち』	
70	鳥取	株式会社フレンズカンパニー	フレンズ
71	島根	社会福祉法人いわみ福祉会	ワークくわの木江津事業所
72	島根	社会福祉法人いわみ福祉会	ワークくわの木金城第2事業所
73	岡山	特定非営利活動法人就労継続支援A型事業所協議会	
74	岡山	特定非営利活動法人岡山自立支援センター	
75	岡山	社会福祉法人 総社市社会福祉協議会	総社市障がい者千人雇用センター
76	広島	社会福祉法人 みどりの町	
77	山口	社会福祉法人 南風荘	セルブ藤山
78	山口	宇部市ときわ公園障害福祉サービス事業所	
79	山口	社会福祉法人南風荘	セルブ藤山
80	山口	周南市障害者施設共同受注センター	
81	山口	社会福祉法人大和福祉会	光あけぼの園
82	徳島	社会福祉法人池田博愛会	セルブ箸蔵 「ほっとかない事業」
83	香川	社会福祉法人 やまびこ会	D○やまびこ
84	香川	社会福祉法人香川県手をつなぐ育成会	あゆみ園
85	愛媛	まるく株式会社	
86	愛媛	特定非営利活動法人 結の会	ゆいの里
87	高知	特定非営利活動法人ワークスみらい高知	
88	福岡	特定非営利活動法人大牟田市障害者協議会	
89	佐賀	特定非営利活動法人緑風会	あんスリー武雄
90	長崎	社会福祉法人南高愛隣会	ブルースカイ
91	長崎	社会福祉法人 つかさ会	諫早ワークス
92	長崎	合同会社キャッチアップインサポート	
93	熊本	社会福祉法人やまなみ会	阿蘇くんわの里
94	熊本	特定非営利活動法人にしはらたんぼぼハウス	
95	大分	社会福祉法人下毛もみじ会	もみじ園
96	大分	社会福祉法人シンフォニー	
97	宮崎	社会福祉法人中心の里	中心の里作業所
98	鹿児島	農事組合法人根占生産組合	
99	鹿児島	社会福祉法人真奉会	障害者支援センターワークショップはやと
100	沖縄	社会福祉法人みやこ福祉会	野菜ランドみやこ



4. 先進事例に学ぶ

- 障害福祉サービスにおける先駆的地域連携の傾向について
- 経営の視点からみた障害福祉サービスの現状と課題



4. 先進事例に学ぶ

4-1 障害福祉サービスにおける先駆的地域連携の傾向について

「障害者がはたらく」という認知度は、この10年で激変したと感じとれる。それは我が国の障害福祉施策の上で、従来、地域で活動していた法人格の無い補助金事業であった「障害者小規模作業所」約9万人の障害者が、平成18年を契機に法人格を取得し組織決定されながら、全国で責任主体を持った活動を始めた事が、大きな要因であろうと考えられる。そして現在、就労系障害福祉サービスの利用者は20万人を超え、さらに増え続けている状況である。

社会福祉法人であれ、特定非営利法人であれ、企業のような「資金」を運用しながら商業行為を行う事は困難である。しかしながら、福祉サービスを受けながらも、工賃、賃金を多く頂きたいという利用者の希望は、一般社会通念上、至極あたりまえのことであり、さらに工賃を上げていくために、いかに計画を立てて戦略を練るか、という考え方も重要な要素となってきた。

商業行為を行う上で「PDCA」と呼ばれる市場調査、企画、立案、営業等は、本来企業では必須の事前確認行為であったものが、本研究事例収集において、福祉サービス事業所が企業家を交え事業展開してきている事例が多々見られるところである。

福祉サービス利用者の希望は、安全・安心な日中活動であったり、高い工賃を貰いたいという希望であったりと2分する傾向がある。その中で、福祉サービス事業所は、利用者という顧客と消費者という顧客を対象として事業展開しなければならない宿命を持っている。そんな中で、大企業ではない非常に零細な事業所の考えた知恵は、事業所同士の相互連携し企業も行政も巻き込んだ福祉サービスの展開の様相を生み出している事が、本研究事例から多く読み取ることが出来る。

また、安全・安心を希望しているのは、障害者だけではなく高齢者や被災した人々、牽いては、過疎化した地域住民こそが生活の安全・安心を希望しているのが、我が国の現況であろう。その希望に沿うための買物難民500万人と言われている地域社会の方々へのサービスとしての、就労系福祉サービス事業展開も多々事例で上がってきており、このような現象は、もともと各地域社会福祉協議会の使命でもあったはずなのだが、その地域社会福祉協議会と就労系福祉サービス事業が連携しはじめてきていることこそ、地域福祉の構築において大変意義深い事例であると言える。

全国1700を超える市町村の中で、就労系福祉サービス事業所は様々な色合いを見せながら土着的発展的に活動している事こそが、社会的弱者と言われてきた方々が、我が国の地域福祉の底支えとなり広く活動の輪を広げて行くことこそが、今後の大きな「夢」となっていると感じている。

(神戸光の村授産学園 東馬場 良文)

4-2 経営の視点から見た障害福祉サービスの現状と課題

経営の視点と言っても、理念・計画・損益分岐点の確認・PDCAを回してと 経営の教科書どおりに押さえていくのは、事業構造・規模や人員の問題で無理があります。

またすでに経営コンサルタントのアドバイスを参考にされている事業所も多いようで、同じことの繰り返しを避ける意味からも、事業経営の各課題の中から「営業」に絞って強化を提言します。

業種が違っても地域で積極的に営業活動をされている方へアドバイスをお願いしたり、ボランティアで営業してもらって発想があっても良いと思う。本物の営業力を持つ人ほどその提携の意味を理解し、力になってくれる。

社会福祉に「営業」とはまったく相容れない様に思う人も多いと思うが、ここで言う営業とはすべての業務・組織内・家庭内・友人間などでの人間関係作りやファン作りと考えます。

紙面に限りがあるので、一例として、企業に提携事業を持ちかける場合を考える。まずはこの冊子に収められた100事例を見て、自分たちの事業所で真似できるものはないかを、事業主だけでなく、職員スタッフ全員で考えていただきたい。そしてその際には、「そんなことできる訳ない」「あそこは何度か行ったけれども耳をかさない」などの意見が出てくるが、もう一度白紙で取り組んで下さい。

まず以前から接点のある企業、次に地域の規模の大きな企業から順に、電話アポイントの上訪問します。

電話アポイントの際には売込みではなく、「全国での事業所利用の最新事例集ができたのでご紹介に伺いたい。」とだけ伝え、アポイントを取ることを考える。

面談時には、事例の業種や・製造物や作業内容で共通点があれば、「御社のお役に立てそうな事例があるのでご意見をお聞かせいただきたい。」と。

共通点がなければ話題は、企業の地域貢献事例でも良いし、この冊子が出来たこと自体が良い。

決して何かの購入依頼とか、寄付のお願いではないことを認識いただく。

就労支援事業については、同じ県内・市内・地域内の方々に、ご理解いただくよう説明していく責任があり、これが大義名分になる。

初回は案内にとどめ、次回も何か変更点があれば説明に伺えるようにしておく。

そして、相手先の反応や可能性に応じて、毎月～年1回と訪問の間隔は変えるが、就労支援税制や助成金の変更や他の事業所の新事例を入手したときは、必ず説明に行く。

一度でも接点を持った企業はリストから外さない。この時代なので相手先もどんどん変わ

って行く。数ヵ月後には経営者が交代しているかも知れないし、知人の会社の取り組みを知って、自社の社会的責任や地域貢献の必要性を感じているかもしれない。
大会社の100%子会社になっていて、親会社から役員が来ているかもしれない。そうすると、企業としての地域貢献は当然だと180度変わっているかもしれないのです。

要は、すぐに採用されなくてもつかず離れず、相手その気になった時に選ばれるようにしておくことです。地域の中でここと思われるところには現状説明をさせてもらい、その中で企業の社会的責任を意識してもらおう。

こうして地道に活動していくと、一般の物品販売やサービス販売でも半年ぐらいたつと、「こんなことは出来るだろうか」とか「自分のところではないが、知人のところで・・・」といった変化・紹介が出てくる。

そこまでが苦しいが、製品販売やサービスの売込みではないので理念や社会への貢献で迷うことはない。マインドをリセットできれば続けやすい。

マインドのリセットとは、一つはケネディの言葉ではないが、「何をしてくれるか」ではなく、相手のために「何が出来るか」を考えること。
もう一つは上記のような行動で「こちらから働きかけて事業や紹介を出させる」ことです。

これらは営利・非営利を問わず、すべての事業に共通して通用する「営業」なので、ぜひ冊子の完成を機に行動されることをお勧めする。

以下の箇条書きは今後も注視していきたい点である。

- ・事業に携わる方々の関心が工賃に偏りすぎているのではないかな？
- ・それによって本来就労できるような高い工賃を取れる利用者が引き止められるようなことはないのだろうか？
- ・高工賃の就労者を輩出した事業所には、1～2年間は平均工賃に上乘せ換算されるポイント制のような制度は考えられないかな？
- ・努力し成果を出した職員スタッフにはどのような形で報いるのがよいのかな？
- ・成果が出なくても仕事を通じてかなえたい夢はあると思うので、意欲をそがぬようにするにはどうすればよいのかな？
- ・事業継承はどのような形がよいのかな？ 等々

なにとぞ「営業」を通して、事業者・職員スタッフ・利用者およびすべての利害関係者が強く支え合って幸せに暮らせる社会が訪れるよう祈念いたします。

(リスクサービス株式会社 吉田 浩)

おわりに

障害福祉サービス事業所の「はたらく」場は、これまで障害者自立支援法ならびに障害者総合福祉法下において共生社会の実現や工賃向上等を目的に様々な施策が講じられてきましたが、福祉現場はなかなか変わることが出来ないところもあり、このあゆみは全国津々浦々にどれほど浸透しているのか・・・と感じることしばしばでした。

そんな折に全国就業支援ネットワークでは平成25年度障害者総合福祉推進事業(2次)募集で「就労系障害福祉サービスにおける地域連携のモデル事例を収集する」という事業を昨年11月中旬に受託しました。

こんな時期から本当に出来るのかという不安が募りましたが、第一次調査をお引き受けいただいた株式会社FVPの迅速な第1次調査をもとに検討委員並びに調査担当委員の皆様を中心に、全国の自治体や障害者就業・生活支援センターや全国社会就労センター協議会等々の組織力と絶大なご協力のもと3月初旬より事例が順次集まりはじめました。大都市、地方都市、過疎化が進む限界地域等から7つのカテゴリーに分類しました。事例数に多少の偏りはありますが、それぞれの地域性を活かした人と人の絆から生み出される事業展開には改めて目を見張る事例の数々でした。

ともすれば障害のある方、特に「就労継続支援事業(B型)」事業を利用する利用層は実に幅広く、地域社会からはその活動内容や存在を知る機会は無の状態でした。

しかし、今回、ご報告させていただいた地域連携モデルは障害のある方も障害のない方もその地域の市民として、お互いを知り合い、共に地域で暮らす隣人として自らの役割を果たし、「働く幸せ」を共有した事例ばかりです。

発想の転換と限りある財源や社会資源を上手く工夫、活用した共生・循環型社会の実現の一躍を障害のある方が担っています。正に福祉の受け手から地域活性化や地域福祉の担い手として障害のある人も誇りを持って地域の中で働き暮らしている実例です。

タイトなスケジュールの中で推進した事業ですが、振り返ってみると一つ一つの事例が輝いており「すごい!!」と思っています。

どうか皆様の地域におかれましてもこの事例の数々からヒントを得ていただき、あなたの地域性や文化に相応しい「働く幸せ」づくりにお役立ていただければ幸いです。

最後にご協力いただきましたすべての皆様方に心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

平成26年3月20日

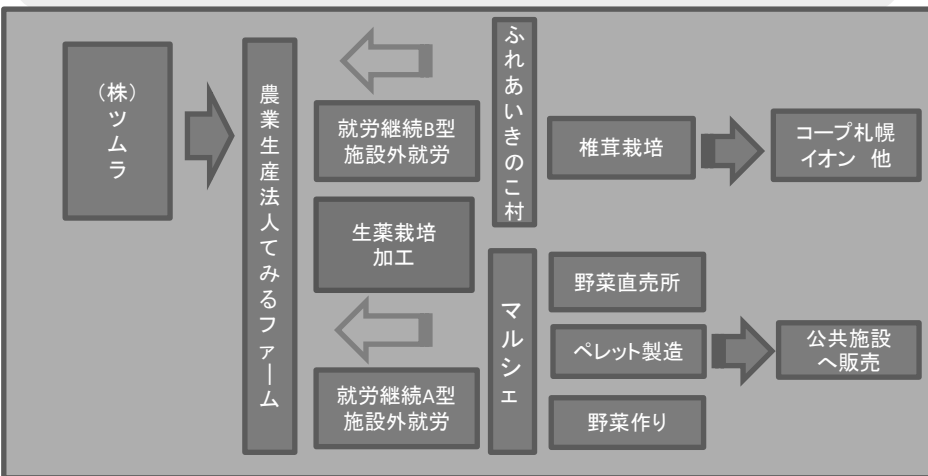
全国就業支援ネットワーク
代表理事 高井 敏子

【福祉と農業（生薬栽培）】

Point



- 企業との委託生産事業
- 施設外就労の活用
- 生薬栽培を通しての企業就労



事業実施のきっかけ、経緯

- ふれあいこの村での椎茸事業は入所施設から地域での生活を目的に日中活動の場として開設された。利用者の特性を生かし、ハウス栽培、畑での作業と部門を作り株式会社ツムラさんと障害者雇用を目的として、てみるファームで生薬の栽培を委託する。畑作業は発達障がい、高機能自閉症、引きこもりの方が就労継続A型事業として展開している
- 就労継続A型事業所は地域での連携を含み、ふれあいきのこ村の生椎茸、近隣の生産者からの野菜を直売所で販売する。近隣生産者と連携をとり、畑のアドバイスを受ける

事業概要

- 就労継続B型事業からの施設外就労
- てみるファームからの生薬栽培委託事業（就労継続A型事業）
- 就労継続A型事業から、てみるファームへの雇用
- ふれあいきのこ村、てみるファーム、近隣農家の農作物の販売を就労継続A型事業所とれたってマルシェに販売委託

成果

- 発達障がい、引きこもりの方の作業として、生薬の栽培をおこなう。自分のペースでできる事から継続性は高い
- 生薬の栽培は、無農薬と大変な作業だが、薬の原料としての製品は障がい者にとって社会に役立っていると認識している。
- 機械操作など免許を保持している方は、農業生産法人に就労を試みている。
近隣の生産者と連携を結び、直売所、畑でのアドバイスを受け、地域で親しまれる施設になることで、地域での会議等をA型事業所とれたってマルシェを活用するようになった。

今後の展望

- 現在、生薬の栽培を中心におこなっているが、今後雇用に繋げたい
- 有機野菜の栽培と近隣生産者と連携を取り野菜の直売を積極的におこない、利用者との係りを理解してもらう



事業所より一言

ふれあいきのこ村は入所施設から地域での生活することから、日中活動の場として、多機能型の施設です。利用者の特性に合わせて椎茸栽培、畑作業を通しての収入で地域での生活を送っています。

就労継続A型事業 とれたってマルシェは高機能自閉症、発達障がい、引きこもりの方を中心に作業をおこなう。一度社会でつまづいた方など受入、本人のペースに合わせた作業を進める

本事例の事業所紹介



社会福祉法人 はるにれの里
ふれあいきのこ村 多機能型事業所
とれたってマルシェ 就労継続A型事業所

〒061-3331
石狩市厚田区聚富488-1

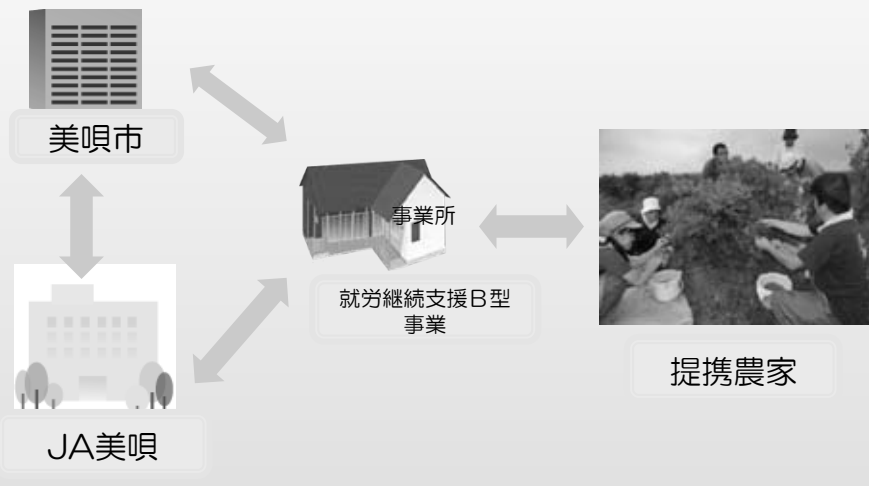
TEL 0133-60-3466 FAX 0133-60-3477

柔軟性のある労働資本の提供
美唄市とJA美唄の協力により実現

Point



就労継続支援B型事業を活用
福祉のまちとして法人事業所が地域定着
知的しょうがいの理解とこれからの活用



事業実施のきっかけ、経緯

北海道の特産品である「ハスカップ（ベリー種）」の需要拡大に伴い、成熟期における短期収穫の必要性があり、JA美唄が美唄市と協議したところ、爽やかネットワーク就労継続支援B型事業に打診がある。

事業概要

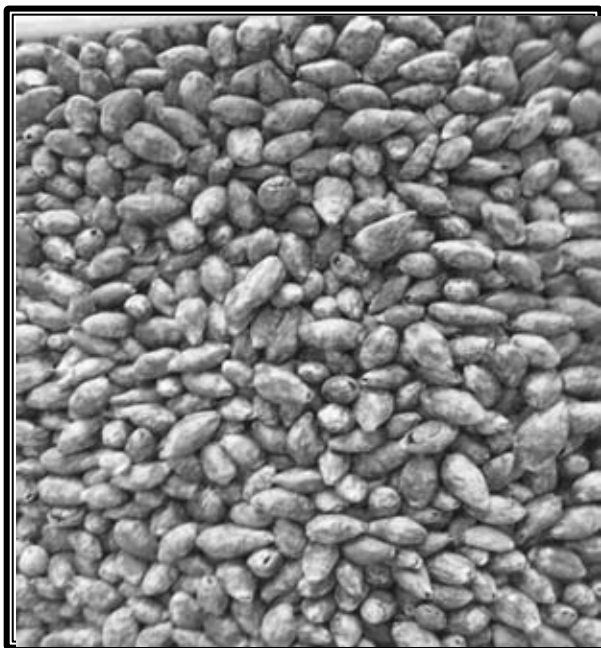
- JA美唄組合員でハスカップ栽培農家と専属契約。収穫、選別、輸送、納品を行う
- 収穫量に応じた完全歩合制でハスカップ組合の規約に準じた対応

成果

- ハスカップ収穫量で収益が増加するので、対応した利用者へ説明理解を明確にすることができ、利用者の自信と収穫向上につながった。
- 「こんなことできないだろうか？」との問いに対応できる人材をアピールできた。地域社会での知的しょうがいの理解が深まった。
- 就労継続支援B型事業とJA美唄での契約となり、初めてのケースとしてマスコミに大きく取り上げられた。

今後の展望

- 柔軟性のある人材として行政機関や団体へ周知することが出来たので異業種での人材としても活用を期待。
- ハスカップのみならず、地元農業で活用できる人材の提供をして就労、自立を図る。



事業所より一言

就労継続支援B型事業におきまして「弁当製造、精米、各授産作業」施設外就労で「リサイクルハンガー生産」をおこなっています。

社会福祉法人 北海道光生会
爽やかネットワーク



〒072-0811

北海道美唄市東7条南2丁目1-1

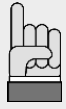
TEL 0126-64-4380

Fax 0126-64-4542

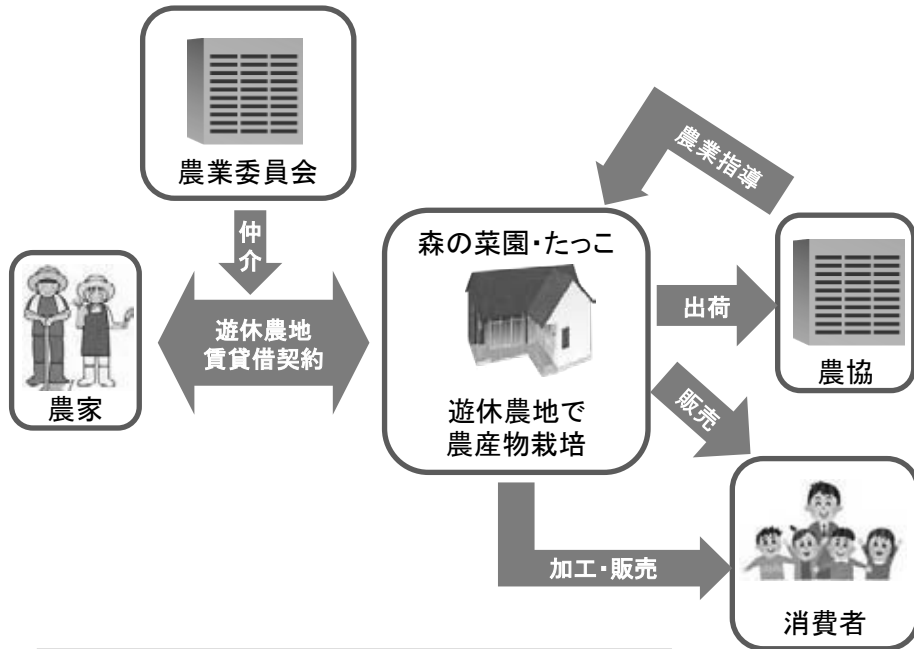
E-mail : sawanet@tempo.ocn.ne.jp

カテゴリー1】農業との連携

Point



- 農業委員会と連携
- 遊休農地の有効活用
- 農協の農業指導を受け栽培



事業実施のきっかけ、経緯

施設の生産活動として農業を検討し、地元の農業委員会に相談。遊休農地を所有する農家を紹介頂いたことがきっかけ。

事業概要

- 農業委員会の仲介で遊休農地を所有する農家と農地の賃貸借契約を締結。
- 農協の指導を受け農産物(にんにく・大豆)を栽培。
- 収穫した農作物は、農協に出荷。一部は加工・商品化して販売。

成果

- 遊休農地を活用することで、農家の遊休農地を管理する負担を軽減し、農地の荒廃を減らすことに寄与出来た。
- 栽培・加工のノウハウを得ることで、企業や農家からの受託作業が増加。

今後の展望

- 栽培面積を50アールから70アールに拡大し、収穫量の増量を図る。
- 地元の農協に協力頂き、より質の高い農産物の生産を目指す。



にんにくの植え付け作業



収穫したにんにく

加工・商品化



黒ニンニク



企業から受託した黒にんにくの皮むき作業

事業所より一言

- 今後も田子町の皆様のご協力を頂き、品質の良いにんにくを栽培したいと思っています。

本事例の事業所紹介

社会福祉法人 清慈会
森の菜園・たっこ

〒039-0201
青森県三戸郡田子町大字田子字塚ノ上ミ70-8
TEL.0179-23-0355 FAX0179-23-0336

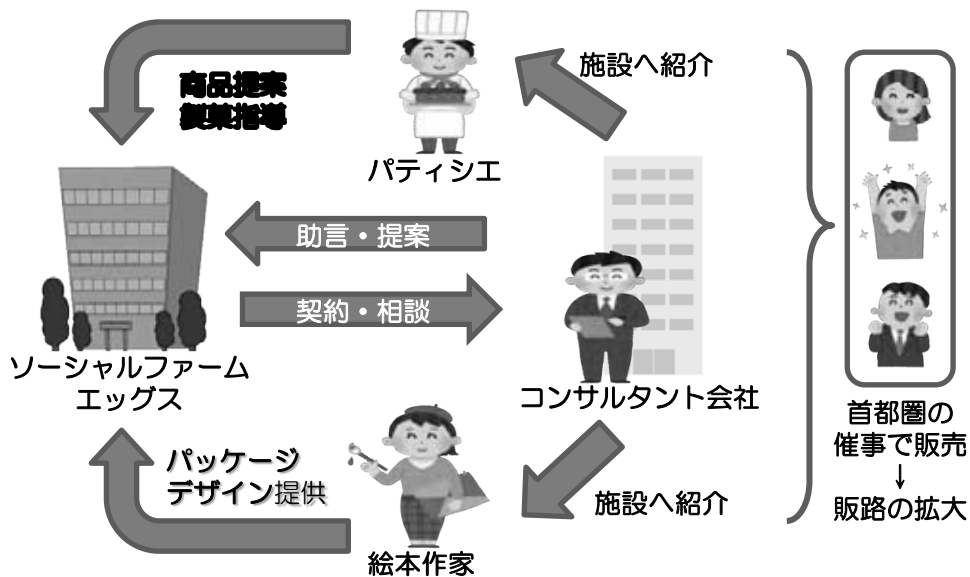


カテゴリ【4】企業との連携

【コンサルタント企業と福祉の連携 売れるお菓子で工賃向上を！】

Point

- 福祉施設によるコンサルタントの活用
- プロ助言の消費者に求められる商品を福祉で生産・販売
- 企業との連携による販路の拡大



事業実施のきっかけ、経緯

- もともと菓子製造を行っていたが、思うように売り上げが伸びずに悩んでいた。販路の確保やおいしい・売れる商品作りをと考えても施設職員だけでは限界があり、なかなか行動に移すことができないでいた。その状況の中で、プロの視点から助言や提案を受ける必要を感じ、コンサルタント会社との連携を試みることとなった。

事業概要

- コンサルタント会社と相談しながら助言を受けたいパティシエと絵本作家を決め、紹介を受ける
- パティシエから新しい商品の提案、レシピの提供、製菓指導を受ける
- 絵本作家にパッケージをデザインしてもらう
- コンサルタント会社の催事で首都圏にて商品販売

成果

- パティシエから直接製菓指導を受けることにより製菓の技術や知識が向上した
- 商品が売れることにより利用者のモチベーションも向上した
- コンサルタント会社を通じて知り合ったパティシエや絵本作家以外にも人脈が広がり、そういった方々から障がい者の就労に関して理解を得ることができた

今後の展望

- 売れる商品を生産することにより、利用者の工賃向上を目指す



事業所より一言

働くことを通してご本人の自立のお手伝いをしていきたいと考えています。右の商品もどうぞよろしくお願いいたします！



本事例の事業所紹介



社会福祉法人 俊公会
ソーシャルファーム エッグス

〒039-1165
青森県八戸市石堂2丁目24-6

TEL 0178-32-0906
FAX 0178-32-0907

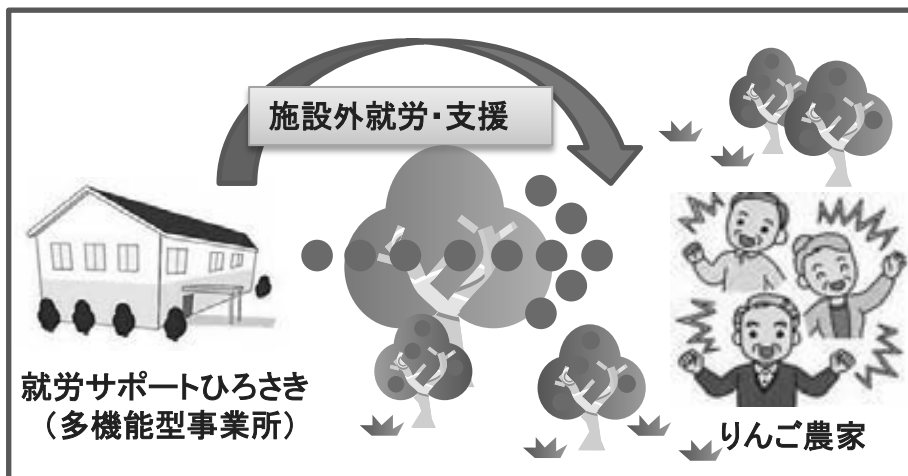
カテゴリ【1】農家との連携

【地元農家との農福連携】

Point



- りんご農家の人手不足解消
- 利用者の工賃アップ + 意欲・体力の向上
- 施設外就労、施設外支援の活用



事業実施のきっかけ、経緯

- 当法人は昭和53年、知的障害者の通勤寮の開所以来、障害者の「働く」を支援して来た。
- 地域住民との交流の中で、当初から日中活動の場として、りんご畑での作業をさせてもらっていた。
- 近年、農家の高齢化により、りんご畑の維持継続が難しくなる畑もあり、人手不足を補うマンパワーとして、障害者の方に来てほしいとの要請が農家からあった。

事業概要

- 毎年9月～11月、りんごの収穫時期に実施。
(収穫後の冬や春先にも要請あれば短期間実施)
- B型事業所で利用者を各りんご畑に送迎。
- 作業については、農家から直接指導してもらう。
- 各農家と取り決めた日額を工賃としていただく。

成果

- 一番大変な収穫作業期を手伝うことで、農家の耕作維持につながった。
- 農家の高齢化や後継者不足は深刻である中、多少なりとも、人手不足解消や地元産業に貢献できた。
- 農業スキルを勉強できる。
- 利用者の工賃アップにつながった。
- 利用者にとって施設外就労・支援への参加が目標となり、日々の訓練に対する意欲が向上した。
- 何よりも、農家から連絡を心待ちにして、畑で作業している利用者の姿が生き生きとしていた。
- そのことから、社会とのつながりを持つ事の大切さを、支援者が学んだ。

今後の展望

- 現在は、収穫期の運搬作業を中心に行っている。
- 利用者の農業スキルの習熟を図ってできる作業を拡大し、通年で作業できる人材を育てていきたい。



収穫したりんごの運搬



津軽富士 岩木山

本事例の事業所紹介

社会福祉法人 七峰会 就労サポートひろさき
(多機能型事業所)



〒036-1321
青森県弘前市大字熊嶋字
亀田184-1

TEL 0172-82-4524
FAX 0172-82-5730

【高齢者からも喜ばれる弁当配達】

Point

- 市内なら1つから配達
- 産直との関わりから地産地消に取り組んでいる
- 野菜をふんだんに使ったバランスの良い弁当



注文 → 製造 → 配達



or

FAX



電話かファックスで

衛生面に気を付けて

お昼までにお届け

事業実施のきっかけ、経緯

- 障害者自立支援法の施行に伴い、新体系に移行し、給食提供をしていたが、給食を食べる利用者が減少してきたことで、厨房設備や栄養士という人材を有効に活用できる授産施設として平成18年度より弁当事業を始めることになった。
- 受注の増加に対応する為、平成22年改修工事を行っている。開始時は1日80食を目標にしていたが、現在は300食を上回る事が多くなっている。

事業概要

- お弁当の製造販売、宅配を行っています。お客様の職場、ご家庭、工事現場など市内なら1つから配達しています。
- 焼きおにぎりは道の駅「シートピアなあと」でも販売しています。
- オードブルなどの特注対応も行っています。お客様の予算に応じてお作りしています。

成果

- 配達には職員と利用者で行っており、障がいに対する理解も得られてきている。
- 社協からの紹介で、独居生活をされている高齢者宅への配達もあり利用者が高齢者の交流や、時には安否確認も兼ねている時がある。
- 復興事業に携わっている工事関係からの需要が多くなっている。

今後の展望

- お客様のニーズに応じた商品の開発や販売に努めていく。



1つ1つ心を込めて！



海苔おにぎりとおかずのセット



味噌と醤油の焼きおにぎりセット



野菜をふんだんに使った日替わり弁当

事業所より一言

これからも地産地消、安全安心の手作り弁当を心がけ、お子様からお年寄りの方まで喜んでいただけるよう職員・利用者努めていきます。

本事例の事業所紹介



社会福祉法人 わかたけ会 SELPわかたけ

〒027-0063

岩手県宮古市山口5-5-10

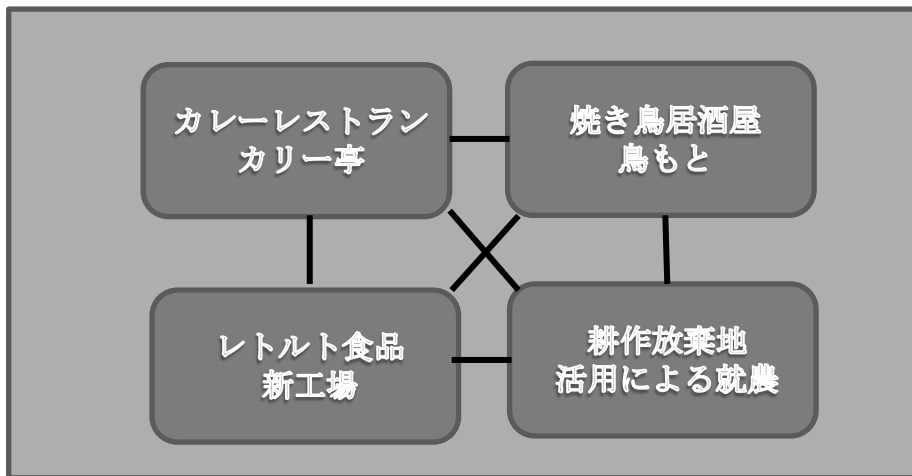
(事業所写真)

TEL 0193-64-5555 FAX 0193-63-3785

【 美味しく楽しい就労 】

Point

- 食材の宝庫岩手県宮古市。地域の食材を生かした、飲食店営業とレトルト食品製造。
- 有限会社時代に培った高い商品性と営業力を生かす。
- 商品の原材料調達に耕作放棄地30アール借地で農業参入。新たな就労システム構築中。



事業実施のきっかけ、経緯

- 平成2年、有限会社社長として当時15歳3名の知的障がい者に出会う。彼等のひた向きな仕事への取り組みに感銘を受け平成7年2月、彼等3名の雇用を目的にカレーレストランカリー亭を開業。以来障がい者の就労目的にレトルト食品開発発売、焼き鳥居酒屋鳥もとでの雇用等、障がい者を積極的に雇用、平成23年3月11日には10名の従業員中7名が障害を持つ従業員を雇用するに至る。二事業所被災したが復興。震災を契機に経営者の高齢化と将来を見据え平成24年4月特定非営利活動法人イーハトーブとりもとを設立し就労継続支援A型事業所の指定を受ける。

事業概要

- 居酒屋鳥もと、カレーレストランカリー亭営業
- カリー亭及び鳥もとブランドレトルト食品製造
- 30アールの畑営農による、レトルトカレー原材料玉ねぎとニンニク生産

成果

- 有限会社以来の顧客、ブランド力により、震災後雨後の竹の子のように乱立した飲食店の競争を生き抜く事が出来、障害者のメンバーもプライド高く就労している。
- レトルト食品の製造者表示が有限会社からNPOに変更したが、販売者は有限会社としている為取引先の取引口座を失う事無く取引を継続、またそれまでの問屋による営業販売も継続し着実に業績が伸びている。
- 以上のように震災に被災したにも拘らず、売り上げ利益共に堅調に推移し、平均給与10万円を26年度には見込める。

今後の展望

- 日本フィランソロピー協会を通じ、キリンビール様のキリン絆プロジェクト助成金で三障害対応のレトルト食品製造工場を新築中。整った食品製造環境の中で地域の食材を生かした新製品を開発製造販売し、より多くの障害者に就労の場を提供したい。
- 農業と6次産業の担い手として障がい者を育てる。



焼き鳥職人S君奮闘中



焼き鳥居酒屋鳥もとメンバー



レトルトカレー製造中



25年6月玉ねぎ収穫風景

事業所より一言

しっかり働き、ガッチリ遊ぼう！

美味しい物を作ったり、お客様に召し上がり頂く為に一生懸命働きます。辛いこともあります。

でも、仕事が終われば楽しい事が沢山待っています。しっかり働いて給料をもらい、そのお金で楽しい暮らしを築きましょう。

本事例の事業所紹介



特定非営利活動法人イーハトーブとりもと

〒027-0096

岩手県宮古市崎鍬ヶ崎第18地割17番19

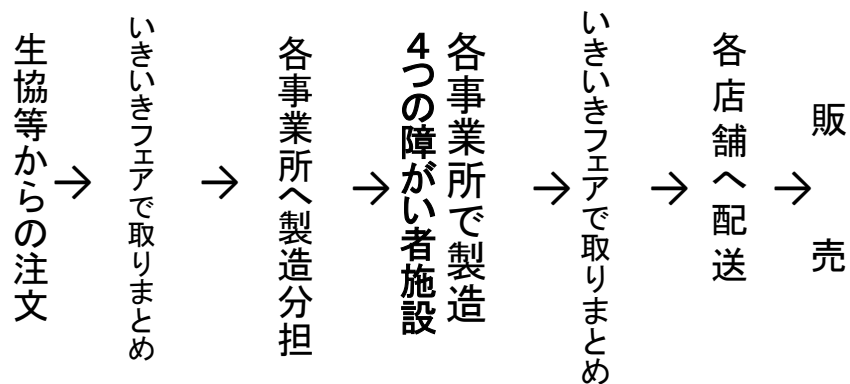
(事業所写真)

TEL 0193-63-6776 FAX 0193-64-5484

復興を願う「希望の天使」

Point

- いきいきフェア（宮古圏域の福祉施設・事業所等16団体で構成）が中心となっている。
- 企業と市内の4つの障がい者施設との共同開発商品
- 地元の素材にこだわっている



事業実施のきっかけ、経緯

- 平成24年度、地域の復興を願い、東日本大震災で被災した企業と、いわて生協、かけあしの会等の販売支援者及び宮古圏域の4つの障がい者就労支援事業所が連携して「希望の天使」ブランドを立ち上げた。
- シフォンケーキ、ココナッツプリン、マドレーヌのスイーツ3商品の外、25年10月には新商品「セサミソルトクッキー」を発表し販売を始めた。

事業概要

- 「いきいきフェア」が受注窓口となり、材料の共同購入から、障がい者施設への製造の割り振りを行っている。
- 商品は岩手県内外の生協や各施設の店舗で販売されている。
- 売り上げは、各施設に戻され利用者の工賃に充てられている。

成果

- 被災地復興支援として他県からの受注が多く、売り上げの向上につながっている。
- 共同商品開発をしていく中で他事業所との連携も深まった。

今後の展望

- 利用者の工賃向上につながるよう、製造・販売に努めていきます。



小野寺恵先生からご指導をいただきました。



みんなで、丁寧に作ります



赤部酒造のリキュールを使用した商品



昨年10月に発表・発売になった地元の川井産のゴマと宮古の塩を使用したクッキー

事業所より一言

今後も他事業所と連携しながら、利用者の工賃向上につながるよう製造・販売に努めていきます。

本事例の事業所紹介



社会福祉法人 わかたけ会 SELPわかたけ

〒027-0063

岩手県宮古市山口5-5-10

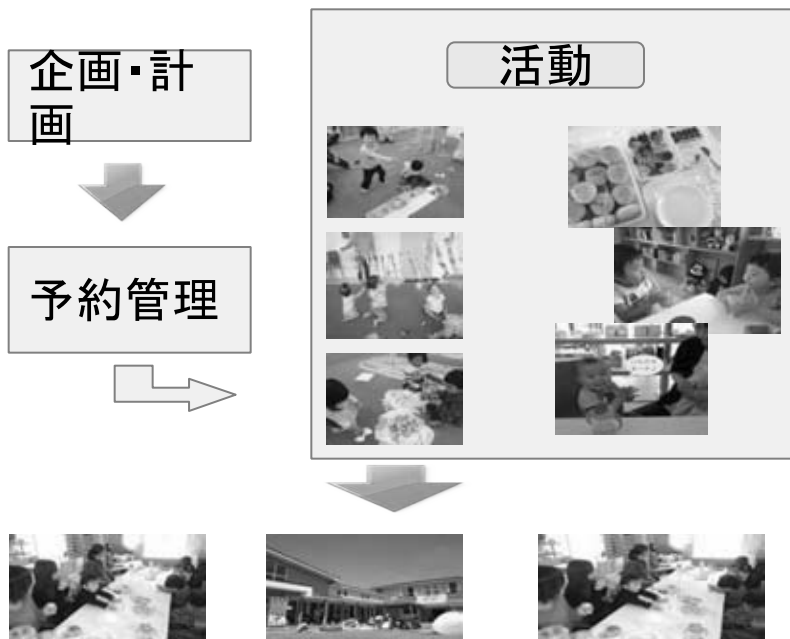
(事業所写真)

TEL 0193-64-5555 FAX 0193-63-3785

【子育てグループやサークルへの施設の開放】

Point

- 地域で活動する子育て支援活動への施設の提供
- サークル活動に場の提供
- 直営カフェレストラン活用での業績アップ



事業実施のきっかけ、経緯

- 事業所建設計画の段階から子育て子育て支援にかかわりを想定し、カフェに親子で楽しめるコーナーを設置。
- 地域で親子教室などの活動ができる場所を探している方が建設中にきて相談を持ちかけられた。
- カフェコーナーと集会室を使った活動プログラムを開始する

事業概要

- 企画案内を実施者が行い、施設予約管理は事業所が担当。
- 活動参加費に施設利用時のサービス(スイーツセット)を含ませ提供。
- ベビーサインやベビーダンスなどの親子活動を複数のグループが活動実施。

成果

- 活動プログラム以外でも子育て家族の拠り所としての広がり、展開をを見せている。
- 他の活動グループへの波及により利用が始まっている。
- 常態的な触れ合いにより障害のある方への認識の変化。
- カフェサービスと連動させたことにより、売上に貢献。また親子家族で楽しめる場所としての認知の広がりからレストラン利用が向上。

今後の展望

- 隣接老人活動センターとの間で世代間交流へと発展させること。
- 子育てプログラムへの事業所生産活動(手芸作品等)の連携展開。



前庭水遊び



親子読み聞かせ



ベビーダンス



事業所より一言

親子でゆったりと安心した時を過ごせる心地よい場の提供に心がけています。働きづらさを抱えた方の心のこもったサービスをお楽しみください。

本事例の事業所紹介



社会福祉法人 カナンの園
となんかなん

〒020-0836
岩手県盛岡市津志田西二丁目16-91

TEL 019-681-3004 FAX019-637-2601

カテゴリ【6】震災復興

【アートが奏でる、不思議な旋律♪

そしてNOZOMI PAPER Lab. 衝撃デビュー！

Point

●東日本大震災による津波で、仲間2名と事業所、公用車等、全てを失ったが、全国、全世界から駆け付け、私たちに寄り添い、支えとなってくれた人たちの存在や多くの人たちの協力、つながりがあり、製品が生まれたことは希望の燈火でもある。



事業実施のきっかけ、経緯

●震災から約1年後、世田谷ライオンズクラブ様から、紙漉き機械一式を提供され、「紙好き交流センター麦の会」の奥上代表指導の下、紙漉き作業が始まる。ステンシルの絵柄を施してみると、とてもよい風合いに出来上がった。

事業概要

地元や県内外の皆様と連携し、飲み終わった紙パックを回収。それを原料に、素敵な笑ハガキや名刺、メッセージカードへ大変身！

●町内外8カ所に、回収BOXを設置し、お酒パックや牛乳パック等を定期的に回収。紙製品の原料とする。

●用途に応じた、紙製品を製作。(A4サイズ・ハガキ・名刺・変形ハガキ等)

成果

●「NOZOMI PAPER Lab.」が発進し、気持ちを形にした「メッセージカード」が生まれ、エイブルアート様の企画「Good job! 東北プロジェクト」の開催と共に、渋谷・ヒカリエや仙台・メディアテーク、福岡・イムズへ、当事業所から生まれた製品達も、全国行脚する事ができた。

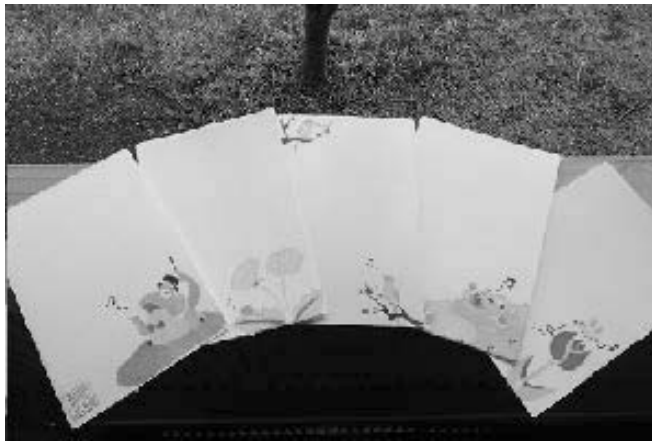
●お客様からは、「可愛いね」「不思議だね」と高い評価を頂き自信をもちました。

今後の展望

●モアタオルの売上も大きいですが、紙製品の売上向上を目指し、販路の拡大、新商品開発に力を入れて行く。

●製品の質を高める為にも、地域の酒販組合や小売店とも連携して、お酒パックがより集まりやすい、システム構築を目指す。

●福祉の力だけでは決して成し遂げる事が出来なかった、アートの力を信じて、これからも未来へ向かって、突き進んでいきたい。



事業所より一言

エイブルアート・カンパニー様のお言葉をお借りすれば、人と人が繋がって、「ほぼ、人の想い100%でできた紙」。デジタルツールが出回っている今だからこそ、あえて、アナログ的なこの紙で、あなたの想いを大切なあの人へ伝えてみませんか？

ここから始まり、それぞれ皆様のヒューマンストーリーの一役となれたら、それこそが我々の本望であります。

本事例の事業所紹介

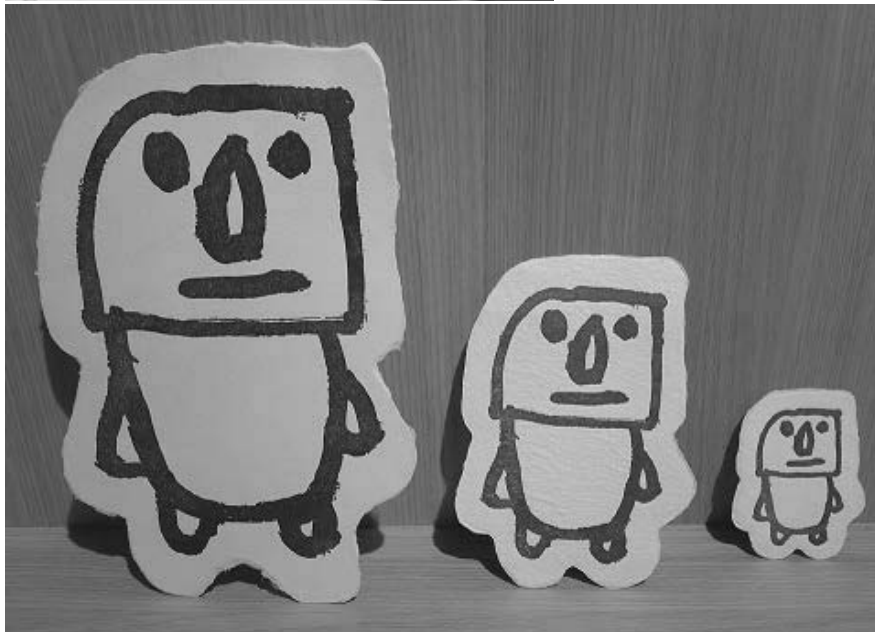


社会福祉法人 洗心会
のぞみ福祉作業所

〒986-0725

宮城県本吉郡南三陸町志津川字沼田56-3

TEL0226(46)5129 FAX0226(29)6858



地域へ**障害者就労の理解**を広め、 そして…**販路の確保と拡大を全国に図る!**

Point

- 地域で親しまれている最も優れた商品であること
- 地域へ障害者就労支援を理解を頂き、限定販売中心のみに特化して商品価値を高める販売戦略を展開している



事業概要

- 江戸時代から続く**伝統食・郷土料理の存続**
- 地域の農業・生産組合と契約を結び、地域との連携を密にし、より深い障害者就労の理解を含めた**六次産業化を目指す**

成果

- 農業組合に対しては年間180tを超える大豆流通を消化 販売先も大手企業といった全国へ販売ルートを拡大

この成果で、工賃のアップを図ることができた
月/85,000円 ⇒ 100,000円へ

今後の展望

- “豆腐”といったカテゴリーではあるが基本的には障害者雇用の拡大を社会に訴えていきたい
- 運営のノウハウをオープンにし、企業と連携をしながら進めていく
- 企業の責任として障害者を雇用しなければならないという意識をもっていたきたい 自分たちの活動がその一歩となるように…

事業実施のきっかけ・経緯

- 地元の「おぼろ豆腐」の製造元がなくなり、江戸時代から続く郷土料理「おぼろ汁」の存続が危ぶまれ、町民の願い、観光商工室、産業振興課の後押しと協力があり、地域に根差した「涌谷とうふ店」を設立。就労継続支援A型事業所として、障害者の方に社会参加の場と、就労の更なるステップアップとして事業の継続と発展を図っている。

農事組合法人 涌谷東の皆さん



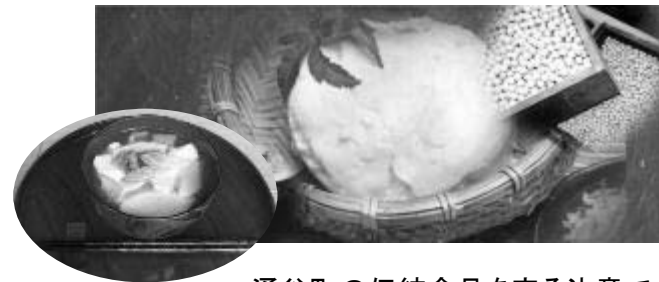
涌谷町産ミヤギシロメ大豆を100%使用しています

高度な手仕事を實現



障害者の働く場＝仕事創出

地道な販売活動も行っています



涌谷町の伝統食品を守る決意です

企業と就労継続支援で深い結びつきを實現



(株)仙台水産/(株)北辰水産/(株)ロック・フィールド
ウォルト・ディズニージャパン(株)/(株)ラムラ 他

事業所より一言

涌谷町の伝統食品「おぼろ豆腐」を守り続けていく決意を、障害を持つ従業員と共にもち仕事に励んでいます。企業との連携を進め、本当の就労継続支援を企業に訴えて、ご理解いただいた企業数は数十社に及び、障害者の方への仕事づくりが成功しています、

本事例の事業所紹介



株式会社まちの豆腐屋プロジェクト

〒987-0112
宮城県遠田郡涌谷町字桑木荒156番地3

TEL0229-29-9127 FAX 0229-29-9147

農と林で生々(いきいき)就労

Point

- 農業県の社会資源を活用し、農・林の自前生産活動
- 積極的な社会対応型活動。近隣農場・農園・農家への施設外作業(外勤)
- 内職型工賃の倍々の作業工賃支給実現



事業実施のきっかけ、経緯

- 農業従事者の高齢、減少、生産調整に伴う先行不安(減反・TPP)等々、農業県秋田にとっては深刻な状況。
- 一方、社会福祉に関しても社会での受け入れ態勢が鈍くニーズに沿っていない現状。
- 農業と福祉をリンクさせる事により、農業への労力提供、障害者には就労の場・活動の場の提供となり、その相乗効果で新たな地域づくりに発展していくものと期待

事業概要

- 雇用情勢は依然として厳しく、中間的就労訓練事業所にたよらなければならない現状のなか、内職型就労事業所が多く日中活動的対応が主であり、作業工賃の低さが問題であった。平成23年8月、自前生産活動、農業(菌床椎茸栽培・ハウス畑作等)を主とする就労継続支援B型事業所羽後のうさんを設立
- 「ここをステップに、1歩でも2歩でも前に進んでいこう。」を合言葉に各活動に精を出している

成果

- 念願の作業工賃は現在月15000円～40000円を支給
- 作業活動で得た菌床椎茸栽培工程、農業のノウハウの成果を近場の農場・農家へ施設外活動(外勤)にて発揮
- 社会との接触・交流のひろがりが大いなる社会参加、参画を課している
- ステップUPにより一般就労、他事業所(A型)への移行とつながっている

今後の展望

- 新たな産業(種目)を加え、就労継続支援A型事業所の開設、正規の雇用関係を結ぶ
- 福祉サービス対応と農・林業の技術取得等の教育体制を確立、人材の育成が課題



事業所より一言

菌床椎茸は、連日JAや大手スーパー等に出荷し、肉厚の椎茸として大好評を得ております。一度ご試食ください。

本事例の事業所紹介



特定非営利活動法人 湯雄福社会
就労支援羽後のうさん

〒012-1100

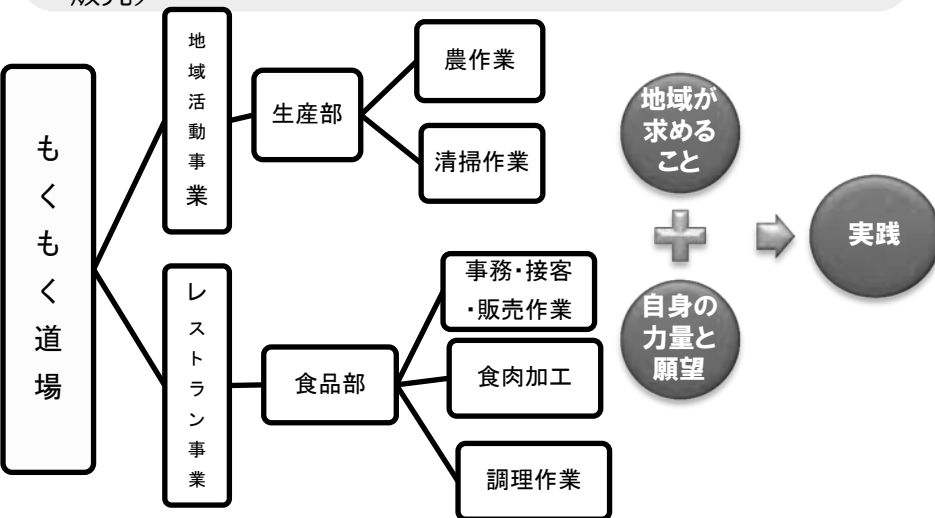
秋田県雄勝郡羽後町字稻荷19-3

TEL0183-55-8148 FAX0183-55-8066

【もくもく道場】

Point

- 工賃のための売上げの確保
- 地域のニーズを捉えた、事業展開
- 六次産業（自家生産し、自家加工した自分たちで販売）



事業実施のきっかけ、経緯

- 私たちの住む地域では高齢化が著しく、農家で後継者不足などが課題です。そこで、地域の廃墟や荒れ地を防ぐため、地域の方から、使用しなくなった鶏舎や休耕田をお借りして農産物や比内地鶏の生産をしています。地域では高齢化による後継者不足などから、若者の力（労働力）を求めています。農作業や、清掃作業のニーズがあったため地域が求めるものと、自分たちの力量願望が一致し、作業として実践しています。
- 地場産業として、特産である比内地鶏に着目し、それを利用した商品開発・販売をしています。

事業概要

- 社会福祉法人慈泉会 就労支援センターもくもく道場（就労継続支援B型事業所）定員：20名
- 生産部と食品部に分かれて活動しております。生産部では農産物の生産販売、比内地鶏の飼育、清掃作業を実施。食品部ではレストラン事業、弁当、惣菜、食肉加工を実施しています。
- 作業活動を通して、工賃を支給し、地域社会で生活していくための支援をしています

成果

- 農地をお借りして、じゃがいも、にんじん、ネギなどを生産、地域のスーパーや、給食センターのどに販売しています。
- 自家生産した、野菜や、比内地鶏を加工し、弁当やお惣菜として販売しています。
- 農家からの依頼で、畑の草むしりや収穫のお手伝い等の依頼作業をしています。
- 地域の体育館や老人施設、一般家庭のご依頼でハウスクリーニングやお墓の清掃、除草作業など幅広い依頼清掃作業をしています。
- 豪雪地のため地域からの除雪作業依頼が上昇しています

今後の展望

- 地域が求めることは日々変わってきますので、ニーズ調査、先を見据えた作業開拓の重要性
- 清掃技術など、利用者の作業技術向上のための支援
- 本人たちが求める工賃を支給するための、売上げの確保。営業活動、新商品の開発・販売
- 社会が求める人材を「地域」で育て支援する。



農作業 (じゃがいも収穫)



農家依頼作業



養鶏作業



温泉清掃作業



お寺依頼作業



体育館清掃作業



イベント販売



500円ランチ(要予約)



比内地鶏燻製



弁当作業



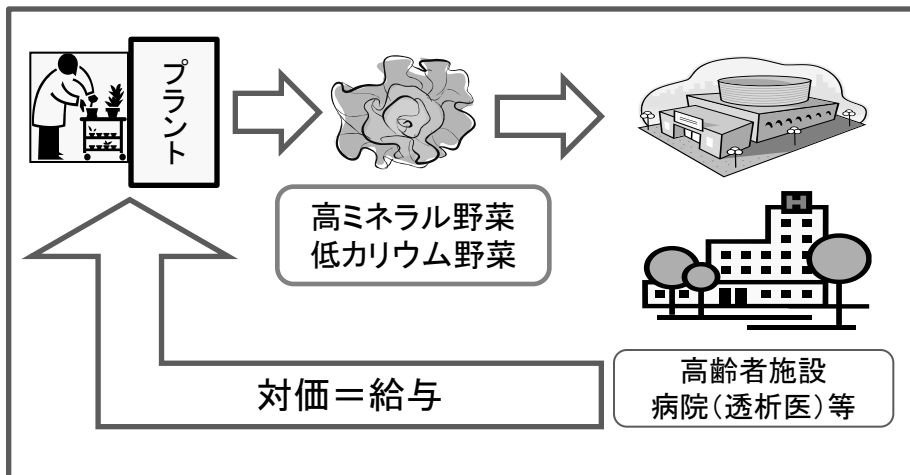
社会福祉法人 慈泉会
就労支援センター もくもく道場
〒019-1404
秋田県仙北郡美郷町六郷字安楽寺362
TEL:0187-88-8299 (食品部)
FAX:0187-88-8062

【街なか野菜工場】

～フレッシュファクトリー～

Point

- 就労継続支援A型による雇用の場づくり
- 企業・大学等と連携したプラントの開発
- 安全・安心な野菜の栽培と量産化



事業実施のきっかけ、経緯

- A型の自主事業として農業への参入を検討
- 第一期(H24～)プラント導入と試験栽培
- 第二期(H25～)低カリウム栽培開始

事業概要

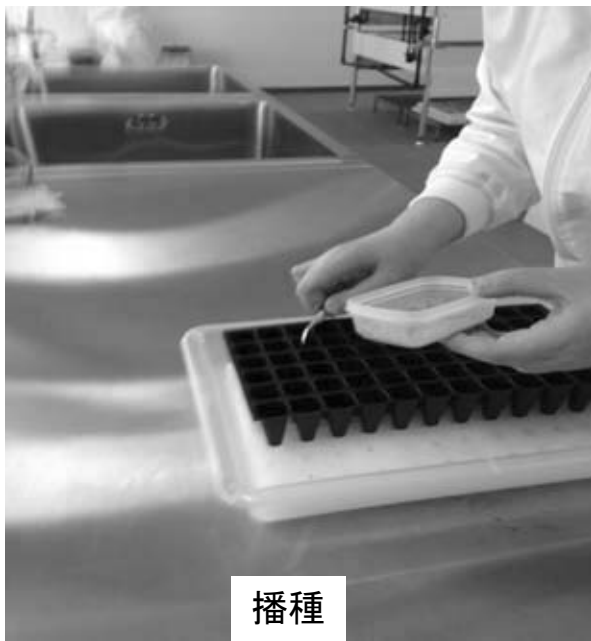
- 空きビル等を活用してA型2か所の開設(下条・清住)
- 下条事業所は利用者3名・職員1名で高ミネラル野菜
- 清住事業所は利用者10名・職員3名で低カリウム野菜

成果

- 年間を通して安定的な作業の確保が可能
- 一般的な農作物との明確な差別化により競合回避
- 高齢者施設、病院(透析専門医)などへの受注販売

今後の展望

- 就労支援における新たなビジネスモデルの創造
- 実績の蓄積と県内・全国へのネットワーク推進
- 国としての支援策の構築が必要



播種



発芽～成育



収穫



プラント全景

事業所より一言

- ①安全・安心な野菜の提供
- ②社会・経済的な自立支援
- ③地域社会循環への貢献をモットーに展開します。

本事例の事業所紹介



(株)山形包徳

〒990-0832
山形市城西町4-3-23

TEL 023(674)0877
FAX 023(674)0878

【コミュニティマーケット】

～農業を基盤とした地域づくり～

Point

- 耕作放棄地の再利用による農作物の生産と販売
- 就労を通じた社会参加と農業を基盤とした地域づくり
- 空き店舗の再利用によるコミュニティマーケット



事業実施のきっかけ、経緯

- 昭和58年～小規模作業所「かこの家」の運営
- 平成18年～移行・B型・生活介護・GHCH等の多機能
- 農作物生産・食品製造に加えて店舗運営を模索
- 平成22年10月～コミュニティマーケットオープン（「まいどや」「彩菜館」「ギャラリー」「フェリーチェ」）

事業概要

- 「まいどや」～農作物と加工食品販売
- 「彩菜館」～近隣農家の産直
- 「ギャラリー」～希望者の展示スペース
- 「フェリーチェ」～イタリアンレストラン
- 利用者9名・スタッフ5名で運営

成果

- 市民の反応良好、産直は近隣農家約50軒参加
- 生産品が目の前で売れる喜びと就労自立の励ましに
- 社会参加とともに「販売＝収益」の経済を学ぶ場に

今後の展望

- 冬場の入荷量確保に向け、ハウス栽培を開始
- 学校給食等での地産地消への拡がりを模索
- 将来的には利用者との雇用契約を検討



産直部門とレストラン(右奥)



食品加工部門



ギャラリー



外観と看板

事業所より一言

「まいどや」を始めたら、いろんな人が集まるようになってきた。学校帰りの子供たちも…。これから、もっと面白いことができるかも…。

本事例の事業所紹介

NPO法人置賜自然と共育の村 多機能型事業所「かこの家」
コミュニティーマーケット「まいどや」

〒992-0055 山形県米沢市御廟1-9-22

TEL・FAX 0238(21)2760

【生ごみやさいクル事業】

～行政・企業・市民との連携～

Point

- 生ごみたい肥の回収作業をとおり、利用者の社会参加と就労訓練の幅が広がった。
- 東北山形と九州大分のコラボレーション。
- 四位一体でお互いWin - Winの関係。

生ごみ循環のイメージ



事業実施のきっかけ、経緯

●一昨年から始まった「生ごみやさいクル」事業に参加し、市民の持ち寄った生ごみたい肥を回収し、畑にまいて循環型野菜づくりをおこなってきた。しかし、生野菜の一般販売や交換には大変苦労をしてきた。そこで野菜を無駄なく生かすために加工品事業に着目し、やさいクル加工品第一号として「柚子こしょう」を、第二号として「柚子こしょうドレッシング」を開発し販売をおこなっている。

事業概要

- 山形・蔵王において、大規模な農地で生ごみたい肥を利用し唐辛子を栽培。収穫した唐辛子を九州へ送り、柚子こしょうに加工。この事業を知ったレストランと柚子こしょうを使ったドレッシングを共同で開発した。
- 行政は燃やせるゴミの軽減・税金の軽減、市民は生ごみたい肥を持ち寄り商品と交換、私たちNPOは障がい者の社会参加と就労作業で工賃アップ、企業は商品を世に出すノウハウの伝授と知名度のアップが狙える。

成果

- 加工品が増えたことで市民の方が交換できる商品が増え、市民の方が楽しんで事業に参加でき、事業への魅力が高まってきた。
- 柚子こしょうをとおして、東北山形になじみが薄かった九州の食文化を伝えることができた。
- 事業をとおして、利用者の方の社会参加が増え、地域コミュニティが確立された。

今後の展望

- やさいクル加工品を増やしていき、事業で交換できる商品の幅を広げていく。
- こんにやく道場のブランド力を高めていく。
- 市民の方が楽しんで交換できる仕組みを構築していく。



事業所より一言

地域に出向き、人と出会い、営みを得ることで、社会と共に成長していける環境づくりを担っていきます。

本事例の事業所紹介

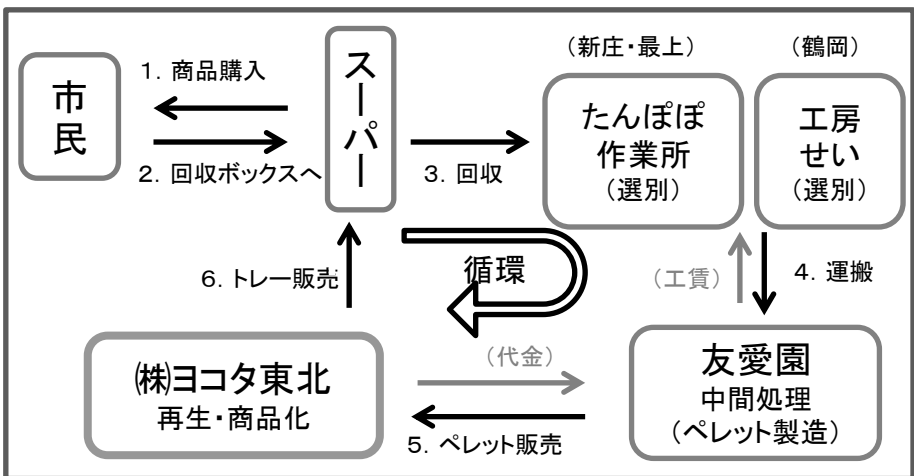


特定非営利活動法人 山形自立支援創造事業舎
就労継続支援B型事業所
みちのく屋台こんにやく道場
〒990-2494
山形県山形市末広町2-6
TEL 023-673-9494 FAX 023-673-9495

【食品トレーリサイクル～新庄方式～】

Point

- 焼却処分されている食品トレーを回収し、再製品化を図ることで、資源の地域循環による有効活用と地球環境保全を推進する。
- 障害者の社会参加と工賃向上を図る。



事業概要

- 各家庭から出たトレーは、ごみステーションか、スーパーの回収ボックスに投入します。
- 投入されたトレーは、たんぽぽ作業所（新庄市）・工房せい（鶴岡市）が回収し、汚れを落とし、分別し、友愛園へ運びます。
- 友愛園では、2台の再生機でペレットを製造します。（平成24年度製造量 トレー110t 魚箱14t）
- ヨコタ東北では、ペレットを全量買い上げし、トレーを製造・販売します。

成果

- 焼却処理されていた使用済み食品トレーをリサイクルすることにより、資源の地域循環と地球環境保全に貢献しています。
- 障害者の社会参加の機会と、工賃向上につながっています。
- この「新庄方式」の視察に、全国から大勢の方が来られます。24年度は48団体（388名）の方が視察されました。

事業実施後の経緯

- 平成16年11月 食品トレーリサイクル事業本格操業開始
- 平成19年3月 山形県リサイクルシステム認証
- 平成19年4月 平成18年度容器包装3R推進環境大臣賞受賞
- 平成20年10月 循環型社会形成推進功労者等環境大臣表彰受賞

今後の展望

- 食品トレーリサイクル（新庄方式）が全国に広がり、行政・企業・市民・福祉施設が一体となり、資源リサイクルの輪を広げられたらと思います。



回収ボックス



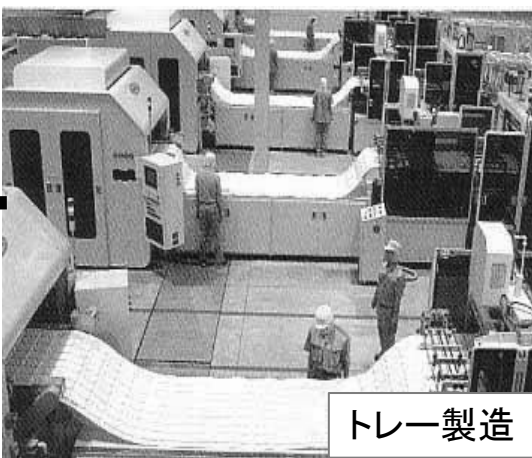
回収～搬送



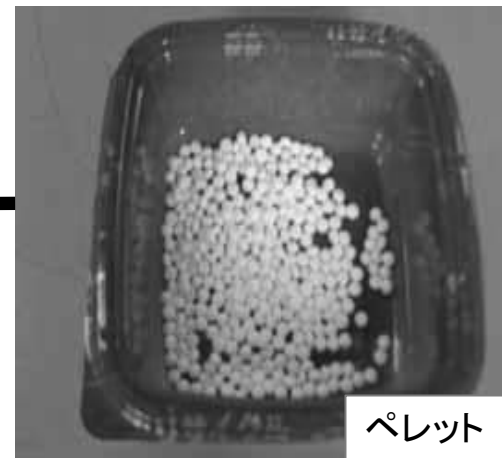
中間処理



再生トレー



トレー製造



ペレット

事業所より一言

食品トレーリサイクル科の他、家庭科(縫製)、印刷科、加工科(造花・弱電)、園芸科など、いろいろな作業があり、どの作業も利用者が意欲的に取り組んでいます。

本事例の事業所紹介

社会福祉法人 友愛の里

障害福祉サービス事業所(多機能型) **友愛園**

〒996-0054

山形県新庄市大字仁間字野際285

TEL 0233-23-4516 FAX 0233-23-7322

カテゴリ【6】震災復興

【ふくしまから元気を発信！障がいを持つ「なかま」と震災復興プロジェクト】

Point

- 被災地での生活基盤の立て直し
- 8つの事業所（南相馬ファクトリー）での共同作業による仕事おこし
- 被災地福島からの情報発信



- ・カンパッジの製造
- ・ひまわりの種を添えて販売
- ・被災地福島の情報発信

- ・カンパッジの購入
- ・ひまわり栽培



・種の回収

・ひまわり油を搾油してニスに加工

全国の「なかま」

事業実施のきっかけ、経緯

- 東日本大震災により、それまで下請け作業等の発注先であった企業等が被災したため、各事業所における下請け作業が激減した。
- 購入者であった企業や個人も被災し、避難したことにより、震災前の販路が縮小した。
- 壊滅的な被害を受けた福島県沿岸部の事業所の安定的な工賃の確保する必要があった。

事業概要

- 南相馬市の7つの事業所と楡葉町の1つの事業所の共同作業による「復興支援カンパッジ」を製造し、ひまわりの種を添えての販売
- 被災地福島の声伝えるため「南相馬ファクトリー日記」としてブログ更新
- 年4回の「南相馬ファクトリー通信」の発行

成果

- 「復興支援カンパッジ」の作成により、8つの事業所における仕事おこしとなり、工賃が確保できた。
- インターネットでの販売を通じ、全国に販路を拡大することができた。
- カンパッジにひまわりの種を添えて販売し、購入者がひまわりを育て、また、その種を回収することでひまわり油の搾油の仕事を生み出した。
- カンパッジ購入をとおり、全国各地の「なかま」との交流が生まれた。

今後の展望

- 全国の「なかま」と一緒に共同製品の開発、販売
- 被災地福島から障がい者施設製品を通じた更なるメッセージの発信



事業所より一言

バッチを買ってくれて、ひまわりプロジェクトに協力してくれた皆さんが、応援してくれています。バッチは工賃になり、全国でひまわりの種から芽が出て、花が咲き、種が採れる。それは、思いやりの気持ちです。全国の皆さんとつながり、思いやりのある社会を作ります。

本事例の事業所紹介



南相馬ファクトリー

〒975-0032
福島県南相馬市原町区桜井町1-278

TEL 0244-23-4550 FAX 0244-23-4550



カテゴリ【1】農業との連携

【農と食をとおして誰もが安心して暮らせる地域づくり】

Point

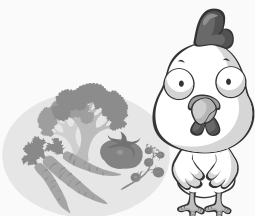
- 地域の生産農家との連携による商品販売
- 地域の食材や自家栽培の野菜や鶏肉を使った6次化産業への取り組み



原料提供
技術指導

B型事業所
ころん

・養鶏、農業
・地域の野菜等を使った食品加工



消費者

店頭販売
ネット販売



直売所、カフェの運営

新鮮野菜の
委託販売

事業実施のきっかけ、経緯

- 「1日3回の食事をきちんと食べる」という当たり前のことが大切にされなくなり、生活習慣病やストレス障がい等を抱えた人が増えている中で、「食」の大切さの再認識が必要とされている。
- 「食べること」をとおして地域の方々とコミュニケーションを持ち、障がいを持つ方の社会参加、就業支援の充実を目指す。

事業概要

- 直売所カフェ「ころん」を運営し、地域の農産物や加工品等の販売、店内のカフェで野菜を中心としたヘルシーランチ、スイーツ&コーヒーの提供。
- 養鶏（約2,000羽飼育）、農業（有機農業8反部）
- 自家栽培や地域の農業生産者が生産した野菜を使用してのお菓子やレトルトカレー等の製造、販売
- 高齢化の進む団地や仮設住宅へ、野菜や加工品の移動販売（注：有機JASは取っていません）

成果

- 地域の農家との連携により、廃鶏鳥と地元の食材を使ったレトルトカレーを開発し、新しい事業所の製品を開発することができた。また、地元の酒蔵元との農商工連携事業により卵酒を開発しヒット商品となった。
- 自家栽培や地域の新鮮な野菜や果物を直売所カフェで提供することで、味や品質が評判となり、売上が伸び、利用者の工賃を向上させることができた。
- 地域とのつながりを大切にする中で、精神障害者への理解が進み、利用者が地域にとけこむことができた。

今後の展望

- 東日本大震災の影響が大きく、売り上げが40%減少したが、現在は震災前の水準となった。
- 放射能測定をしっかりと行い安心、安全、おいしい食品の提供を続けていきたい。
- 人の体と心の健康は、豊かな食生活からということを念頭におき、農業、食育に関わる取り組みを進めたい。



事業所より一言

障害のあるなしにかかわらず、誰もが安心して暮らせる地域社会を目指し、障がいのある人も無い人もお互いに、尊重しあい、共に生きる社会の実現が私たちの願いです。

本事例の事業所紹介



社会福祉法人 **こころん**

〒 969-0101

福島県西白河郡泉崎村川畑37-1

TEL 0248-53-5568 FAX 0248-21-8553

E-mail : cocoroya@cocoron.or.jp

(事業所写真)

【牡丹の街のボタンづくり！】

Point

- 須賀川市内9つの事業所による共同作業
- 地域資源を活かした仕事おこし
- 事業所や利用者の特徴を活かした丁寧な物作りで
全国へ販路を拡大

規模も美しさも世界最大級の国指定名勝
須賀川牡丹園を有する須賀川市

メーカーでカバンの
飾りとして加工、販売

須賀川B型事業所
ネットワーク

牡丹からイメージして
ボタンを開発



メーカーに納品



事業実施のきっかけ、経緯

- 須賀川市内の9つの就労継続支援B型事業所が集まり須賀川B型事業所ネットワーク（略称：SBN）を結成。
- 東日本大震災以降、下請け作業等が減り、事業所の仕事の確保のため、何か地域資源を活かした新商品が作れないものかと考え、市の花でもある牡丹から、木製製品「ボタン」を発案し、試作開始。

事業概要

- 須賀川市内の9つの事業所の共同による木製ボタンの開発。

成果

- インターナショナルギフトショーへの出展を機に大阪のカバンメーカーから2,000個のボタンの注文を受ける。
- 発注先の大阪のカバンメーカーが、「ものづくりで笑顔を届けたい」という思いからSBNのボタンを飾りに使った復興支援ブランド「manga knapp（モンガ・クナップ）」を立ち上げ。大手百貨店等の展示販売等で1週間で約50万円の売上があり、インターネットでの販売も開始。
※ manga knapp（モンガ・クナップ）
スウェーデン語でたくさんのボタンという意味
- ボタン作りの作業を通して、利用者一人一人の個性が現れ、効果的な作業の流れを構築。

今後の展望

- 障がい者が丁寧につくるあたたかみのある作品が高く評価されており、今後も、安定的に発注が続く見通し。
- ボタンは、カバン以外の洋服等にも広く使われる素材であるため、用途に合わせた新しいボタンの開発も検討し、広く発注先を開拓する。



須賀川共労育成園



須賀川共労育成園



工房アミーコ



百貨店の販売の様子

事業所より一言

須賀川のボタンは、多くの工程に多くの方が係わり、一つ一つ手作業で丁寧に作られています。バックとして製品化され、百貨店などで販売していることは、作業を行う皆さんのやりがいになっています。また、安定した発注が続いていることで、生産技術が向上し、自信を持って作業に取り組んでいます。

本事例の事業所紹介



(事業所写真)

社会福祉法人牧人会須賀川共労育成園

〒962-0059

福島県須賀川市吉美根字金子田14-2

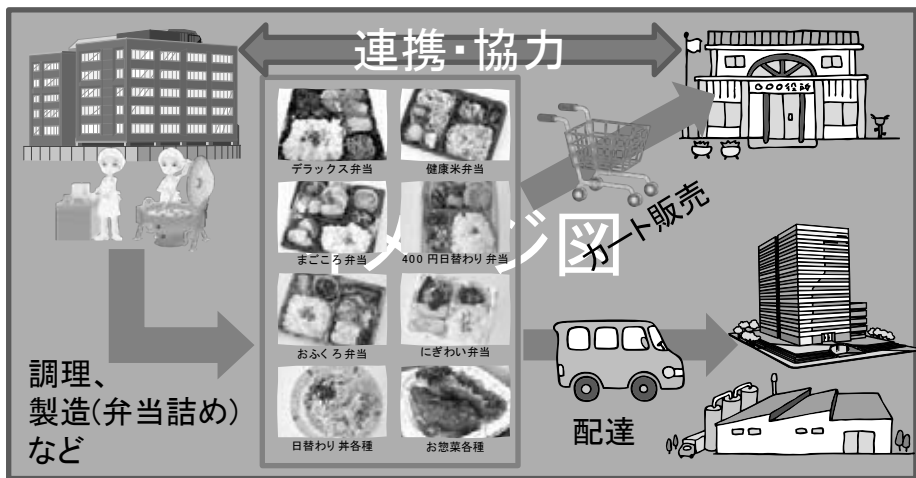
TEL0248-76-4155 FAX0248-76-4156

【自分にできること、ひとつでも多く】

— 関係団体と連携した販売促進を図り高い工賃を —

Point

- 地域の中で関係団体との連携による販売促進
- 利用者の能力を信じて任せることによる効果
- 効率の良い営業スタイルやアイデアを現実に



事業実施のきっかけ、経緯

- 運営母体の社会福祉法人ユーアイ村は、もともと水戸市役所の障害福祉課長を務めていた高橋康暉氏（現・理事長）が早期退職してグループホームを設立したのがそもそもの始まりです。
- グループホームに入居した利用者（障害者）の働き場所を確保するために「ユーアイ工房（現・ユーアイキッチン）」を開設しました。

事業概要

- 障害者の就労支援施設として、消費者視点に立ったお弁当（防腐剤や添加物なし）やお惣菜の製造・販売を行っています。
- 利用者は個別の役割をもって仕事をしており、主に調理補助や製造（弁当詰め）、配達、販売（店頭・デリバリー）、レジ業務を担当しています。
- 販売先は県総合福祉会館内の各事業所、近隣企業への配達、県庁舎2階売店「福祉ショップまごころ」での県職員向け弁当、行事等の予約弁当の販売です。

成果

- 自分の働くフロアまで手づくり弁当を届けていくランチデリバリーサービスを開始したことにより県職員の心を掴み、配食数は徐々に増えていった。また、コミュニケーションの充実を図ることで、潜在顧客の把握につながった。
- 過去の販売実績の統計データを取るとともに、県庁のお客様からイベント等の情報収集に努めることにより販売数の安定化につながった。また、割り箸袋の裏面にアンケートを実施し、商品や調理方法等サービスの改善が図られた。
- 事業所向けの配食弁当に特化し、「時間」をランチタイムに「商圈」をクルマで10分圏内に集中させたことで、極めて営業効率がよくなった。

今後の展望

- 利用者たちが立派に巣立っていくこと。
- 働く場所がないから選ばれる施設ではなく“ユーアイキッチンで働きたい”と心から望まれる施設にすること。
- さらに工夫や効率化を図り、販売促進やもっと良いものを作り、売上を伸ばして高い工賃を目指していく。



事業所より一言

ユーアイキッチンが大切にしていることは、障害をもつスタッフが働く喜びを感じられること。お客様から「ありがとう」と言われること、職場では個別の役割があり必要とされる存在であること、仕事を通して誰かの役に立っている実感があること、だからこそ責任を持って仕事に取り組むことができます。障害をもっているも社会の一員として当たり前に関わるからこそ、得られる喜びです。

本事例の事業所紹介



社会福祉法人 ユーアイ村
ユーアイキッチン

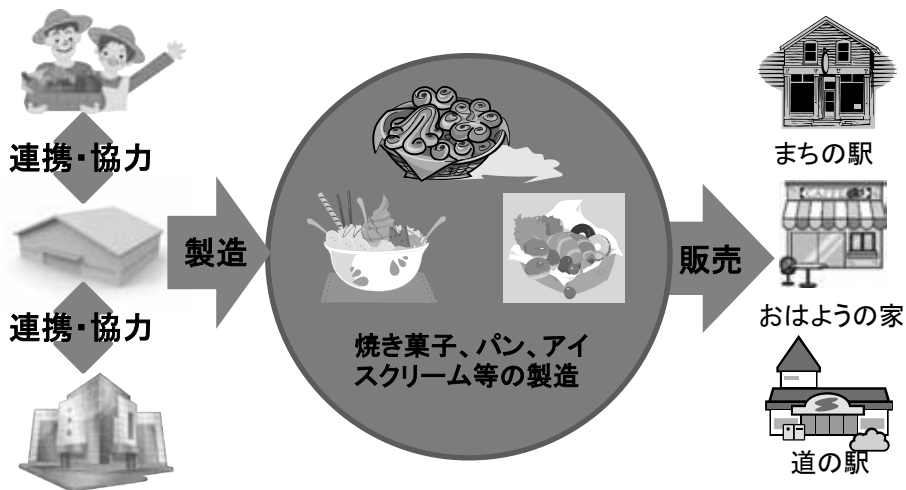
〒310-0851
茨城県水戸市千波町1918
茨城県総合福祉会館1階

TEL 029-212-3775 FAX 029-212-3776

【「加工品開発」に仲間たちと挑戦】

Point

- 地域の6次産業化に向けた取り組み。
- 農業者と連携した商品開発。
- 自主生産の商品力強化。



事業実施のきっかけ、経緯

- えいぶるの里は、9年間の小規模作業所を経て、2003年4月に通所授産施設としてスタートしました。現在は、60名（生活介護事業就労継続B型事業）と日中支援事業50名の障がいをもつ方々が利用しています。授産科目として、焼菓子・パン・EMボカシの自主製品づくり、さらに4年前からは、アイスクリームを本格的に始めました。
- 農援団（県内若手農業者グループ）代表亀田さん達から「自分の農産物を加工してみたい！」又フードライター西村さんから「世界一おいしいトマトのシャーベットを作りたい」の依頼を受けました。この事がきっかけとなり、当施設小林・鳥水指導員の技術と仲間たちの力を結集してお手伝いする事になりました。

事業概要

●焼菓子、パン、アイスクリーム製造やボールペン組立て作業、EMボカシ製造作業などを通して、社会の一員として自己実現していけるように支援します。『おはようの家』内の店舗スペースである『アイスとおかしとパンのいえ』では、まごころをこめて手作りしたアイスクリーム、焼菓子、やきたてパンなどをご用意しています。とくに栃木県内産の新鮮な牛乳を使ったアイスクリームは、季節限定商品を店頭のみで販売しています。

成果

- 農園団とのゼロからのチャレンジは試行錯誤の繰り返しでした。一年目は開発会議・試作・試食を重ね2年目について農援団スイーツ第一弾の誕生となりました。又、トマトシャーベットの取り組みはプロのシェフの力をお借りし「櫻とトマトのソルベ」が完成しました。現在、販売の準備中です。それぞれの専門性を生かしつつ同じ夢に向かって実現していく喜びを利用者と共に経験しています。
- 企画・製造・販売等プロのノウハウを真近で学ぶ事が出来、今後も連携して取り組める事となり授産事業に大きなプラスとなりました。
- 試作の段階から仕事として請け負う事ができ利用者への工賃に反映できました。

今後の展望

- 今後、完成した加工品の製造はもちろんの事、販売促進にも協力していきたいと思っています。（プロの販売を学びつつ）
- 利用者の仕事として、有機野菜や果実等の加工技術を生かし「えいぶるの里オリジナル菓子・パン・アイス等の自主製品づくりに取り組んで行く予定です。
- 一般企業・農作業・販売・製造等プロの技術を学んでいく事でさらに利用者の工賃向上を目指します。
- 私達小規模事業所が地域の中で貢献できるものを積極的に進めていく事、又障がいをもつ仲間達の頑張っている姿をしっかりと見せていける事業所でありたいと思います。



事業所より一言

おはよの家の工場の手作りアイスクリームと、えいぶるの里で製造している焼き菓子や焼きたてのパンに加えて、かわいい手芸品も販売しています。緑と四季折々の花々と元気な仲間が、ありがとうございますの気持ちを込めてお迎えいたします。店内には、ほっと一息の美味しいコーヒーコーナーもあります。



本事例の事業所紹介



社会福祉法人 ソフィア会
社会就労センターえいぶるの里

〒323-0003
栃木県小山市東島田2403-2

TEL:0285-22-4561 FAX:0285-22-4581

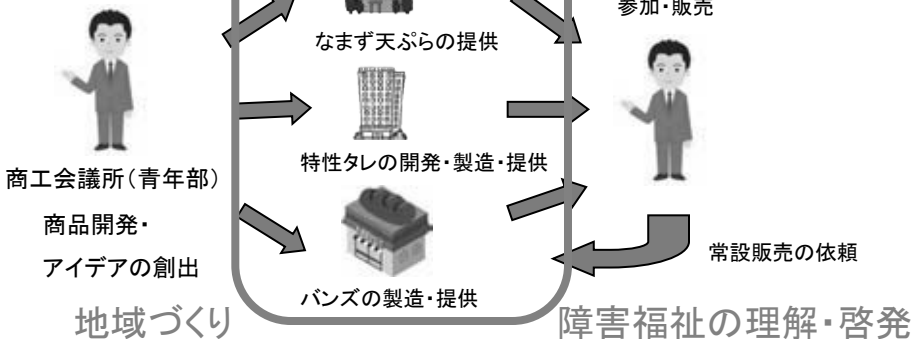
【地域活性化と地域連携における地域グルメの創出】

Point



- 館林商工会議所（青年部）との協力関係
- 地元企業とのコラボレーションで地域活性化
- 「なまずバーガー」での地域連携・事業所広報促進と障害者理解の促進

地域連携



事業実施のきっかけ、経緯

- 館林商工会議所（青年部）より地元食材を生かした「バーガー」をつくり、広く食べてもらうことで地元食習慣の継承と地域の活性化を図りたいと協力依頼を受け了承する。
- イベントのみの企画販売の予定であったが、イベント販売におけるお客様の要望に応え、常設販売をしたいとの依頼を受け了承しふらっぐ店舗で限定販売を開始する。

事業概要

- 館林商工会議所（青年部）
週末等に行われるイベントや地域のお祭りに「なまずバーガー」を出店販売。
「なまずバーガー」の中心的役割を果たす。
- ふらっぐ（障害福祉サービス事業所）
イベント等の販売に向けなまずバーガーの「パンズ」を焼き提供する。
常設の販売店として営業日に数量を限定して販売する。

成果

- 商工会議所との関係構築・連携強化
- 地元企業・商店との関係構築・連携強化
- 地域におけるふらっぐ店舗の広報と障害福祉についての理解が広がった。

今後の展望

- 地域社会に根ざした事業運営をおこない、自らの運営だけでなく地域（地元企業・商店街）との協力関係を深め協働によりその促進を図っていく。
- 地元の地域食材を生かした商品の開発と販売をおこなう事で地域社会とのつながりを深め、人間関係づくりや社会関係づくりを行っていく。
そのことが地域を活性化し、地域の一員として、自分らしく暮らせることにつながっていくと考えている。



事業所より一言

「なまずバーガー」だけでなく、数多くの地元食材を使って、毎日50～60種類のパンをご用意しています。

障がいがあっても自分らしく働き暮らせる地域づくりを心がけています。

本事例の事業所紹介

社会福祉法人 館邑会 障害福祉サービス事業所 ふらつぐ

(就労移行支援事業・就労継続支援(B型)事業)

〒374-0016

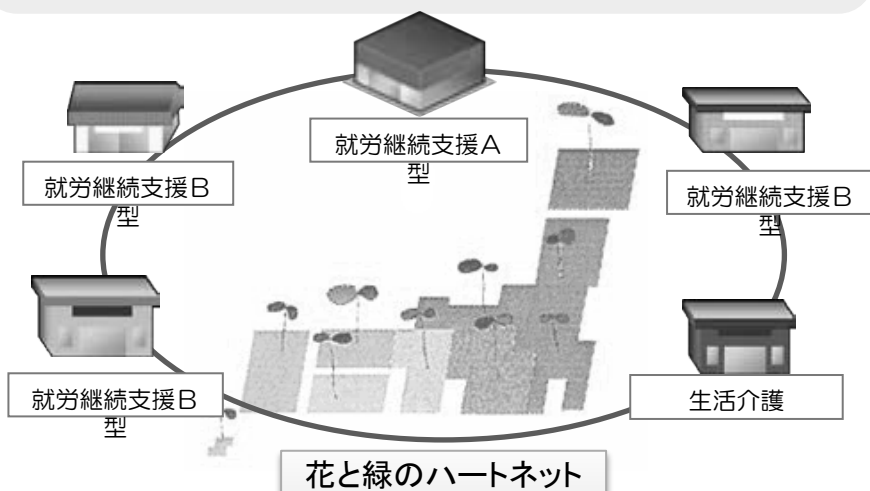
群馬県館林市松原二丁目22-16

TEL0276-76-7899 FAX0276-76-9877

【障害者就労施設で生産した『花』を 豊かな街づくりに】

Point

- ネットワーク全体で補い合い可能性を広げる。
- 各施設の生産体制をサポートし、一定の品質、安定した生産量を確保。
- 仕事の分業化による施設外就労。



事業実施のきっかけ、経緯

- 障害者を多数雇用している事業所や就労継続支援事業所等の障害福祉施設での仕事の確保について、経済団体や企業も協力すると共に、国や地方公共団体に於いても率先垂範して官公需の発注増を図るため、地方自治法施行令を改正し優先発注での随意契約の対象を、従来の物品のみならず役務の提供にまで拡大して、「発注促進税制」の創設がなされた。
- 更に国会に於いて、障害者就労施設などへの更なる官公需等の発注促進策として、「障害者優先調達推進法」が施行された。

事業概要 (花と緑のハートネット)

- 「花と緑のハートネット」では全国の社会福祉施設で生産した植物を直接お客様へお届けするシステムとなっている。購入に際しても、地産池消、地域からの購入の点から、全国の福祉施設が地域に根ざした販売窓口として展開している。地域で生産しているものは地域で、それ以外のものは全国の仲間と連携して販売する。
- 国、地方公共団体及び企業等多様な発注先からのニーズに応える為に、新しい商品情報の提供、安定した品質、数量の確保、納期の厳守、価格の適正さ等が求められるため、インターネット等を有効に活用し、生産管理や技術支援を総合的且つ、一元的に行うことのできる受注組織を設立している。
- 国・自治体・企業・一般園芸愛好家等他分野にわたる発注先からの要望等に応えられる受注組織の一つとして、グランドカバープランツ及び地域特性に適した農園芸植物並びに関連商品の生産・製造・販売・生産管理・技術支援を総合的・一元的に行っている。

成果

- グランドカバープランツ・農園芸植物並びに関連商品の生産・製造・製造管理を一元化し、障害者の就労の場の確保と拡大が実現している

今後の展望

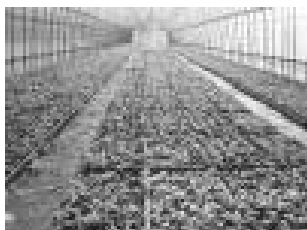
- 現在も農家と会員事業所との連携で仕事を分業化することで、事業所から施設外就労を実施している。この活動を地域の方とも連携し、もっと広く展開していきたい。



一般社団法人

花と緑のハートネット

<http://www.ai-hana-net.com/>



本事例の事業所紹介



社会福祉法人埼玉福祉会

〒352-0023

埼玉県新座市堀ノ内3-7-31

Tel.048-481-2181(代)

Fax.048-481-0752

共同受
注窓口

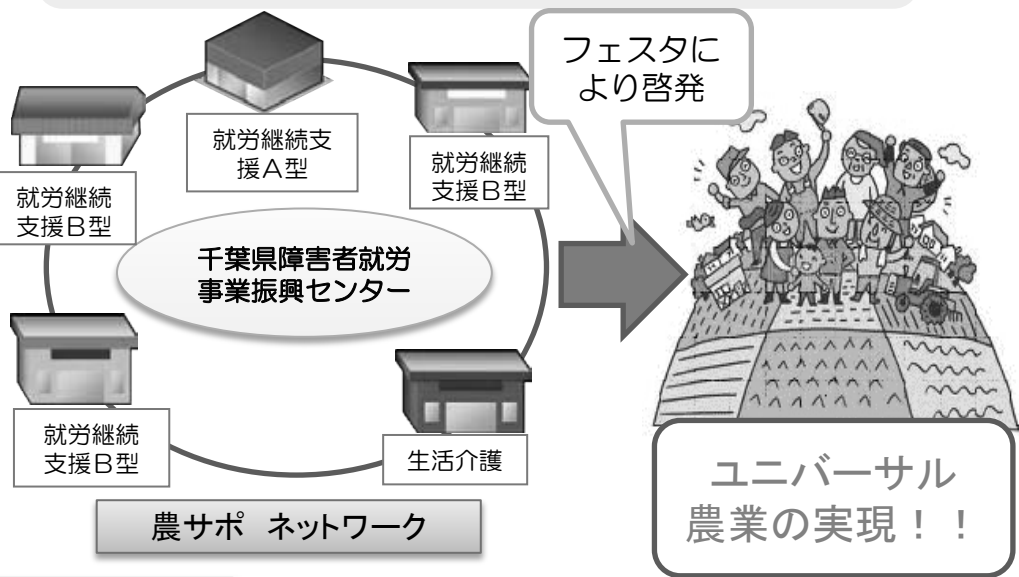
障害者
就農

農業技術のサポートネットワークの形成と フェスタによる障害者就農の促進

Point



- 農サポにより技術支援
- フェスタを企画して県内の意識啓発
- 農業による障害者の働く場の確保・工賃向上



本事例の背景

- 振興センターによる調査（2010/6月実施）によると、千葉県内で農業を実践している障害者福祉施設・事業所は100を越えており、それらの多くで技術向上と販路の拡大を課題としている。
- 千葉県障害者就労事業振興センターは、『千葉県内の福祉施設の授産活動の活性化と、そこで働く障害者の自立を支援します』というミッション・ステートメントを掲げ、千葉県と県内の福祉作業所や授産施設、当事者団体が協同して2005年9月に設立された。

本事例における事業所の役割

千葉県障害者就労事業振興センター

- 振興センターでは障害のある人もない人も、だれもが農業に参加する仕組みをつくることを目指す。「ちばユニバーサル農業ネットワーク（代表 岡田勝氏）」とともに、「農の持つ可能性」「農の価値」を社会的に発信する活動に参画しています。農業にたずさわる多くの施設・事業所の皆様とご一緒に課題解決に取り組んでいる。
- 農業に携わる千葉県内の就労系障害者施設・事業所の皆様を対象に、農業生産及び農産加工品に係わるあらゆる疑問に専門家（ちば農業支援ネットワーク指導員）が農業技術に関する質問に回答している。
- 農業を通じて、出会い、交流し、はたらきあう、新しい農業のかたち「ユニバーサル農業」の考えを広め、農業生産県である千葉県から、「農業の持つ可能性」や「農の価値」を社会に発信するため多くのフェスタを企画している。

本事例における効果

- 農サポの技術支援により就労系障害者施設の農業技術が向上
- フェスタの企画により障害者就農の理解が促進

「千葉県障害者就労事業振興センター」の事業所紹介



千葉県障害者就労事業振興センター
 〒260-0856
 千葉県千葉市中央区亥鼻2丁目9番3号
 TEL：043-202-5367
 FAX：043-202-5368
 E-mail：center@jusan-assei.or.jp

農業技術のサポートネットワークの形成とフェスタによる障害者就農の促進

おいしいたのしい

ちば
Chiba

ユニバーサル
Universal

農業
Agricultural

フェスタ
Festa

2013
2013

出展者募集

●ユニバーサル農業・みんなで楽しむ農業

さまざまな人々が農業を通して、楽しい、交流し、つながり、新しい農業のカタチ「ユニバーサル農業」の考えを広め、出会いの場を提供するために「ちばユニバーサル農業フェスタ」を企画しました。農業生産者である生産者から、「農業の持つ可能性」や「農の価値」を社会に発信します。

●メイン会場
四街道市文化センター
センター前広場・駐車場（東4号線沿）および室内
駐車場の確保：地下駐車場・屋内で実施

10月26日(土) 10:00-15:00

出展者募集中

「ユニバーサル農業フェスタ」の開催に賛同して参加する団体
(福祉施設、NPO、農業関係者、生産者等)

出展内容
農作物、農産加工品、福祉施設等の紹介、
ワークショップ、パネル展示等

出展料
2,000円（ただし売上高1万円以上の場合は、10,000円）

出展申し込み受付中

8月26日(水) 開始 14:00 終了 16:30
四街道市文化センター

●サブ会場
西千葉 第三土曜市(千葉中央駅)
9月21日(土) 10:00-18:00
御伊勢山(津市)
10月25日(土)
船橋アクトシティホール(船橋)
10月25日(土)
オパールアイン青葉(千葉市若葉区)
11月9日(土)
※開催内容・出展料は、各会場毎に異なります。

夢かなえます。
ちば農業支援ネットワーク

農業のこともっと知りたい！ 農業に取り組む障害者福祉事業所を継続して支援します。
経験豊かな農業技術指導員による、地域・品目に応じた生産技術の出張指導の予定です。

●目的：農業にかかわる障害者福祉事業所への農業生産技術の継続した指導、また付加価値を高める加工及び販売等の提案により安定した生産を確保し、利用者の工賃向上に寄与する。
●対象：千葉県内の農業にかかわる障害者福祉事業所。応募数が多い場合、就労支援系事業所を優先する。
●協力：特定非営利活動法人 ちば農業支援ネットワーク
◇支援内容：①農業生産技術研修：経験豊かな農業技術指導員が、現地（応募事業所）に出向き、地域・品目に応じた生産技術の指導を行います。作物選定から加工販売まで提案、協議しながら事業所の生産活動を支えます。②農産加工品相談：ジャム、米粉、干し芋、豆菓子等々の農産加工品の加工、販売の相談。◇期間：1ターム=播種・植え付け～収穫（必要に応じ、作物選定、収穫後の加工販売等の相談にも応じます）◇出張回数：5回/1ターム（4月～翌年3月までの間に品目に応じて訪問指導）◇時間：2時間程度/回◇募集：10事業所（地域・品目に応じた指導員を派遣します。地域・品目に対応する指導員がない場合は応じられないこともありますので、あらかじめご了承ください）◇応募期限：4月15日（月）◇費用：会員1,000円/回、非会員2,000円/回及び指導員の交通費30円/kmただし、5回を越えた場合、5,000円/回を事業所にご負担いただきます。

●お問い合わせ先
ちば農業支援ネットワーク
〒270-0211 千葉県中央区キルベ1-1-1 農業技術センター
TEL: 0476-21-0271
FAX: 0476-21-0272
E-mail: chiba@chiba-agri-support.jp



農サポ
障害者福祉事業所への農業技術支援事業
販路センターの経営支援

農業のこともっと知りたい！ 農業に取り組む障害者福祉事業所を継続して支援します。
経験豊かな農業技術指導員による、地域・品目に応じた生産技術の出張指導の予定です。
NPO法人ちば農業支援ネットワークの協力のもと、ユニバーサル農業を実現します。

●目的：農業にかかわる障害者福祉事業所への農業生産技術の継続した指導、また付加価値を高める加工及び販売等の提案により安定した生産を確保し、利用者の工賃向上に寄与する。
●対象：千葉県内の農業にかかわる障害者福祉事業所。応募数が多い場合、就労支援系事業所を優先する。
●協力：特定非営利活動法人 ちば農業支援ネットワーク
●期間：2013年度

●お問い合わせ先
ちば農業支援ネットワーク
〒270-0211 千葉県中央区キルベ1-1-1 農業技術センター
TEL: 0476-21-0271
FAX: 0476-21-0272
E-mail: chiba@chiba-agri-support.jp

■【2013年度 農サポ（農業技術支援事業）】利用施設募集
農業のこともっと知りたい！ 農業に取り組む障害者福祉事業所を継続して支援します。「農サポ」とは、経験豊かな農業技術指導員による、地域・品目に応じた生産技術の出張指導の予定です。NPO法人ちば農業支援ネットワークの協力のもと、ユニバーサル農業を実践します。

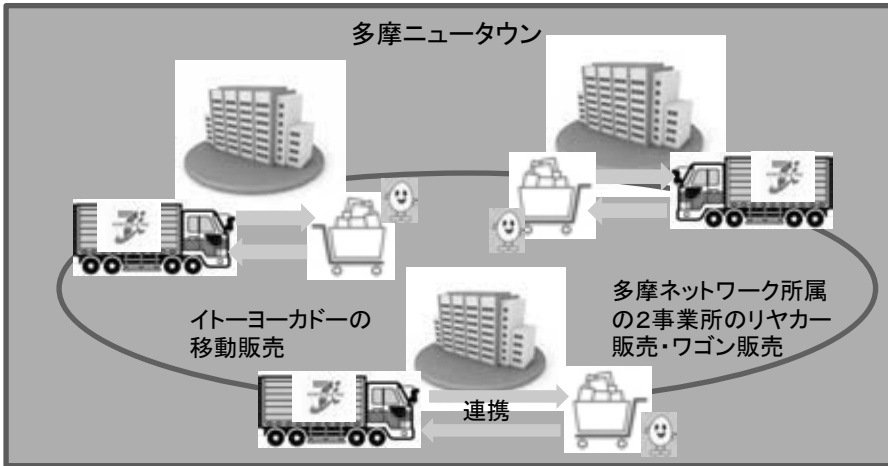
◆目的：農業にかかわる障害者福祉事業所への農業生産技術の継続した指導、また付加価値を高める加工及び販売等の提案により安定した生産を確保し、利用者の工賃向上に寄与する。◆対象：千葉県内の農業にかかわる障害者福祉事業所。応募数が多い場合、就労支援系事業所を優先する。◆協力：特定非営利活動法人 ちば農業支援ネットワーク
◇支援内容：①農業生産技術研修：経験豊かな農業技術指導員が、現地（応募事業所）に出向き、地域・品目に応じた生産技術の指導を行います。作物選定から加工販売まで提案、協議しながら事業所の生産活動を支えます。②農産加工品相談：ジャム、米粉、干し芋、豆菓子等々の農産加工品の加工、販売の相談。◇期間：1ターム=播種・植え付け～収穫（必要に応じ、作物選定、収穫後の加工販売等の相談にも応じます）◇出張回数：5回/1ターム（4月～翌年3月までの間に品目に応じて訪問指導）◇時間：2時間程度/回◇募集：10事業所（地域・品目に応じた指導員を派遣します。地域・品目に対応する指導員がない場合は応じられないこともありますので、あらかじめご了承ください）◇応募期限：4月15日（月）◇費用：会員1,000円/回、非会員2,000円/回及び指導員の交通費30円/kmただし、5回を越えた場合、5,000円/回を事業所にご負担いただきます。

カテゴリ【8】その他

大手量販店と地元事業所が移動販売でコラボレーション。高齢化の進む多摩ニュータウンを救う。

Point

- 地域の買い物弱者対策事業を民間企業と共同で実施
- 社会貢献、利便性の向上を目指す取り組み意向で一致
- 同じ場所・時間の販売で相乗効果が期待できる



事業実施のきっかけ、経緯

●多摩市内の事業所ネットワーク「たまげんき」では、「高齢化の進む多摩の街を元気にするとともに、利用者の工賃向上を図る」ことを目的に、共同販売事業等を実施してきた。平成25年度は、東京都の助成を受け、たまげんきに所属する事業所2ヶ所が、多摩ニュータウンの買い物弱者支援事業を企画し、準備を進めていた。

●同時期、同エリアで(株)イトーヨーカ堂（以下、イトーヨーカドーとする）が専用車を用いた移動販売事業「イトーヨーカドー あんしんお届け便」サービスを開始することがわかり、連携しての販売を提案した。多摩市の協力も得て実現に至った。

事業概要

- 平成26年1月より、多摩ニュータウン内を巡回し、販売活動を行う「イトーヨーカドー あんしんお届け便」に事業所が同行し、同じ時間・場所で自主製品や仕入れ商品の販売を行う。
- イトーヨーカドーは、PB商品をはじめとする生活必需品（生鮮品、日配品、調味料、生活雑貨等）を販売。一方、事業所は、高級豆腐、豆腐加工品、焼き菓子、惣菜、野菜等を販売。品揃えが増えることで、お客様に買い物の楽しさを提供している。

成果

- 事業所は、イトーヨーカドーの販売員から、商品、陳列、販促等に関するアドバイスを受けることができています。
- 販売トラック到着に合わせ、リヤカーが団地内を巡回。引き売りのラップで集客の促進を図っている。地域住民に対する認知度が徐々に上がってきており、今後の売上増が期待できる。

今後の展望

- 現在は、たまげんき所属の2事業所が実験的に販売を行っているが、今後は参加事業所を増やし、「たまげんきキャラバン」と企業との共同販売も提案・展開できればと考えている。
- 販売コストを考えると、1ヶ所あたりの売上拡大が欠かせない。高齢者を中心とする地元住民の買い物の一手段として認知度を上げ、定着を図りたい。



イトヨーカドーの移動販売車。URの許可を得て団地内の駐車場で店開き。



空き店舗が目立つニュータウン内の商店街



引き売りしながら、ヨーカドーの移動販売車到着を知らせる



販売車の様子



事業所の販売



ヨーカドーでの買い物後、事業所のリヤカーに立ち寄り、豆腐を購入する女性客

市の協力を得て、イトヨーカドーさんと一緒に販売する体制ができたことを嬉しく思います。販売のプロから学びつつ、こちらでも協力できることをしながら、地域のお客様に喜ばれる販売システムにしたいです。

本事例の事業所紹介

特定非営利活動法人障害者自立支援センター多摩

ワークス多摩(工房れすと)

〒206-0025 東京都多摩市永山4-2-3-103

TEL 042-356-3601 FAX 042-356-3601

ワーカーズコレクティブ風(ふう)

〒206-0011 多摩市関戸4-72 ヴィータ・コミュニネ 7F

TEL 042-355-2107 FAX 042-355-2107

多摩市障害福祉ネットワークたまげんき

〒206-0011 多摩市東寺方1-16-3

TEL 042-372-3015 FAX 042-372-3015 (ちいろばの家)

【農業法人内の作業請負】

Point

- 利用者へ除草、収穫、洗浄、袋詰め作業などの単純作業を委託
- 生産（圃場）での作業は施設外就労
- 農業法人と事業所で相互補完的な関係



事業実施のきっかけ、経緯

● 農業法人内で障害者を雇用していたのがきっかけ。雇用していた障害者が高齢化し一般就労が困難になった。合わせてフルタイムの就業が困難になり、体力や状況に合わせた受け入れ先として開始した。

● 判断が簡単な作業、単純な作業を委託している。「全部収穫する」、「全部切る」、「全部運ぶ」などの作業がある作物を農業法人が用意する。

事業概要

- 農業法人は施設外就労を受け入れ、一般就労に向けた訓練の場を提供する。
- 農業法人は生産活動を単純化する。作業の繁忙を失くすことで利用者が作業しやすい環境をつくる。
- 作業には安全性を高める。雨天時や危険箇所、機械での作業には十分配慮する。
- 事業所は利用者に対しサポートする人を配置し、利用者の就労に向け計画的に訓練を行う。

成果

- 利用者の事業所に通う時間や日数が増えている。
一般就労に向けA型事業所でも働ける能力を開発された利用者も出てきている。
- 利用者の中に資格の取得訓練や車での通勤など今までできなかったことが、できるようになっている。
- 工賃が全国平均より高い。

今後の展望

- 農業法人は農産物の品質の向上と事業所が利用しやすい作業をつくり、単純化することで拡大が見込める。
- 事業所は利用者の農業法人内での就労や他の一般就労に向け資格の取得など訓練を実施していく。



大根の収穫



大根の洗浄



大根の箱詰め



人参畑での除草

事業所より一言

- 虹の橋はその人の能力に合った仕事を用意することに努めています。
- 働くことで社会の一員としての自覚を育て、生きる力を養うことを事業としています。

本事例の事業所紹介



株式会社 虹の橋

〒238-0103

神奈川県三浦市南下浦町金田1877

(事業所写真)

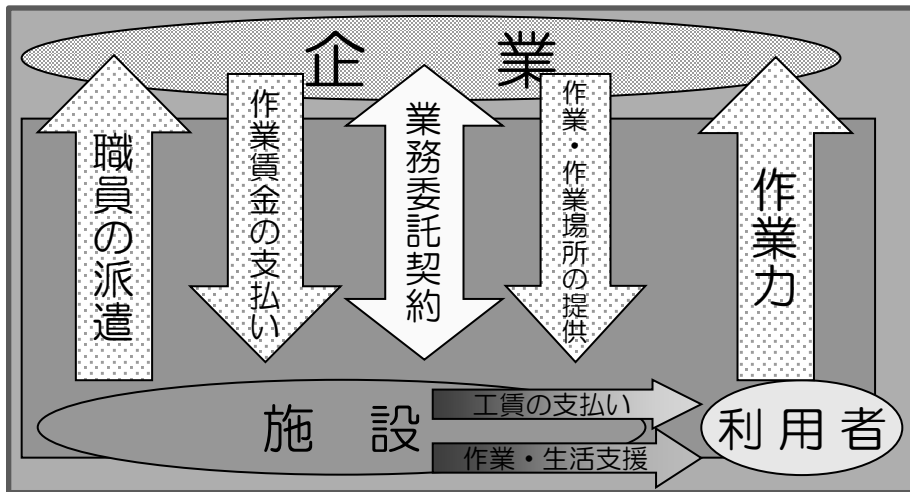
TEL 046-888-1017 FAX 046-888-1017

カテゴリ【4】企業連携

法人全体で地元企業に多数の施設外就労先開拓し、工賃アップとともに就労訓練の場を提供

Point

- 法人として多数の施設外就労先企業を開拓している
- 就職へのワンステップとしての施設外就労
- 企業と対等な関係を結ぶ事業所の体質が高工賃を実現



事業実施のきっかけ、経緯

●制度が確立される以前から、地域の企業の協力のもと、企業工場内での生産工程の一部を法人の職員と利用者が請け負っていた。この企業内での実践がきっかけとなり、法人として障害者が就職するための支援を本格的に展開することとなった。以降、法人として積極的に施設外就労を取り入れている。

●グリーンハウスとしては、長年下請け作業を請け負っていた企業に対して、何年にもわたって施設外就労の双方のメリットを伝え、打診し続けた結果、施設外就労の機会を得ることができた。

事業概要

- 法人内の5事業所で、計11企業へ施設外就労を行っている。なかでもグリーンハウスでは、地元の有力企業の下請け業務を請け負っている清水一産業株式会社へ週5日間、職員1名に対して利用者4名で施設外就労を実施。
- 梱包作業や商品の圧着前作業など30~40種類の仕事がある。職員が現場から仕事の切り出しを行うことで、作業の幅が広がっていった。
- 業務委託契約を結ぶ際には、利用者の業務フォローを職員が行うことを伝え、最低賃金を基準に受注額の交渉を行う。契約後も、出来高次第で値交渉を重ねていく。

成果

- 事業所の平成24年度の平均工賃は、28,394円。施設内時給210円に対して、施設外就労では時給300円支給している。法人の設立当初より、企業から仕事を請け負い、高い品質や生産性を重視してきたため、施設外就労においても企業から高い評価を得ている。
- 施設外就労を高工賃の手段として捉えるだけでなく、就職に向けたアセスメント及び訓練の機会としても活用している。昨年度の法人全体の就職者35名のうち、約半数は施設外就労を経験している。

今後の展望

- 長期に渡って施設外就労に携わっている利用者もいるため、就職を視野に入れたサポートを続けていきたい。
- 企業数を増やすことで、より多くの利用者が関われるようにしたい。



職員が検品作業をする様子



作業前の資材



作業をスムーズに行うための工夫



作業の様子

事業所より一言

すずらんの会では、障害のある人たちの自立を支援する様々な活動を行っています。法人設立以来、活動の柱として、障害のある人たちが様々な形で仕事に就き、社会的な自立が叶うように支援をしています。

本事例の事業所紹介



社会福祉法人すずらんの会
グリーンハウス
〒252-0328
神奈川県相模原市南区麻溝台7-1-7

TEL 042-749-8881 FAX 042-749-8808

再資源化

工賃向上

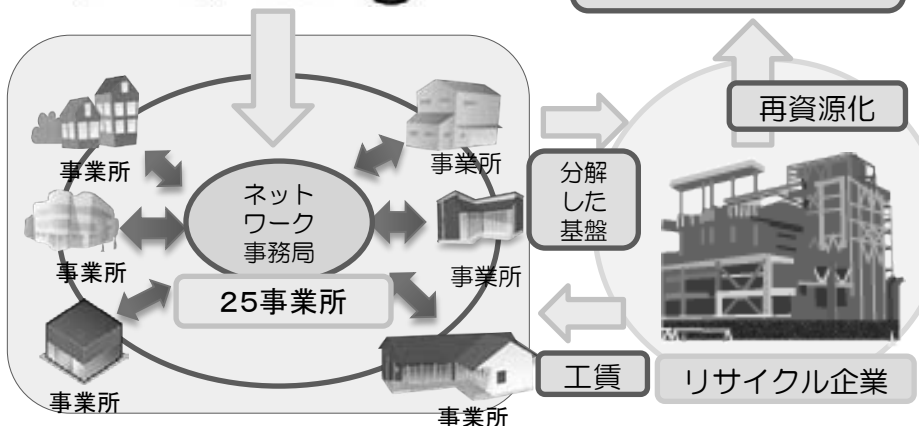
パソコン基盤から鉱物を再資源化するリサイクル！ネットワークを構築し全体で工賃向上

Point

- リサイクル事業による工賃向上
- 重度障害者の福祉的就労・やりがいの確保
- ネットワークを組み県内25事業所で取り組む



再資源を活用し新たな電化製品製造



本事例の背景

- 2012年3月に「使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律案」が閣議決定されたのを受けて、全国の市町村で次々と「使用済小型電子機器の回収実験」が動き出した。
- 新潟市も市内に12箇所の回収拠点を設置し、家庭の使用済家電（携帯電話・デジタルカメラ・ビデオカメラ・CD&MDプレーヤー・ゲーム機・カーナビ・電卓・電話機等）を回収するという取り組みを始めた。
- 数万円で買った金属部品のくずも、きちんと仕分けするだけで倍以上の価値ある商品に変えることができる。

本事例おける、それぞれの役割

新潟県基盤ネットワーク

- スケールメリットを有効に活用し、事業所が解体した基盤を、まとめて企業に納入する（そのことで、より高い価格で販売する）。
- スケールメリットを生かし、家庭用小型電気機器を一括して購入し、安定した作業量を各事業所に提供する。
- より広域において、本事業が展開されるよう普及活動を行う。

参画する事業所

- 小型電気機器の解体作業を行うため、施設内の利用者の支援にあたる。また、機器等の解体作業を責任を持って行う（各事業所が取り組める範囲において）。

本事例における効果

- ネットワーク全体で工賃の向上が図られる。
- 工賃例：NPO法人のんぴーり青山（就労継続B型）2万円～3万円
- 重度の知的障害者も取り組める。
- 例：重度の自閉症である利用者が、本作業は集中して取り組んでいる（解体作業に面白味がある）

「基盤ネットワーク」会長の事業所紹介

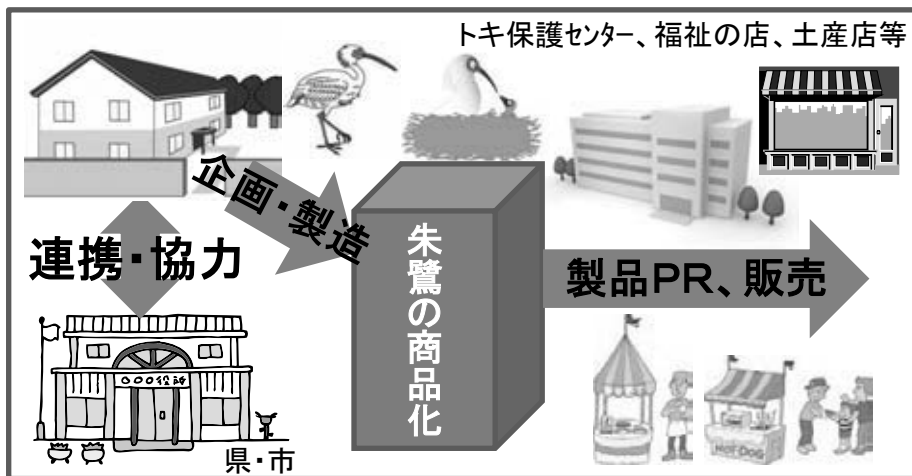


つどいの郷
〒949-3112
新潟県上越市大潟区九戸
浜388-8
TEL.025-534-3972

【佐渡観光の重要な資源である「朱鷺」を活かした授産品の開発による工賃アップ】

Point

- 観光の目玉である「トキ」の商品化
- 関係機関と連携した地域へのPR活動
- 地域をPRすることによる地元産業や観光業の活性化



事業実施のきっかけ、経緯

●佐渡市では観光の重要な資源の一つとして、『朱鷺』をアピールしており、「人工繁殖、雛の誕生、自然界への放鳥」と順調に佐渡観光の目玉となっている。そうした中で、当施設も利用者の工賃アップを目指して朱鷺関連グッズを開発して販売することとした。

事業概要

- 県（地域振興局）、市の協力による授産製品のアピール及び催し物での販売。
- トキ保護センターや市内の土産店での委託販売。
- 地域及び各種市民団体が主催する催し物等での出店販売。
- 県社会福祉協議会が運営する「福祉の店」での委託販売。
- 施設見学者（団体）への販売。

成果

- トキ関連の手工芸製品の売り上げが倍増し、工賃アップへと繋がった。
- 「島外観光客からお土産で買った」「広報（テレビ放送、法人ホームページ、県授産ホームページ等）を見て購入したい」など島外からの注文が入るようになった。
- 佐渡市や県（地域振興局）からアピール（施設及び授産製品）の機会（催し物等）を以前に増して設定して貰えるようになった。

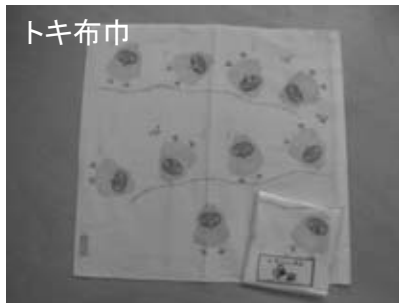
今後の展望

●トキ保護センターなどの観光客が立ち寄る場所では、順調に販売実績が上がっているが、販売実績としては島内での販売（各種催し物等において）が主なものであり、販売の対象者も島内の一部地域に限られ、同じ製品ばかりではいずれ売れなくなっていく事が予想され、常に新商品の開発が求められているものの、なかなか良いアイデアが浮かんでこないのが課題となっている。

トキストラップ



トキ布巾



トキマグネット



トキぼんぼん



トキのしおり(大)



トキコースター



トキハット縦



事業所より一言

まつはらの家は穏やかな真野湾に面した海岸に位置しており、佐渡の特産である裂き織りを使った製品や、朱鷺関連のかわいいアクセサリ、縁起物のマスコット等、利用者と一緒に日々新商品の開発に取り組んでいます。

本事例の事業所紹介



社会福祉法人 佐渡福祉会
障害福祉サービス事業所 まつはらの家
(就労移行支援事業、就労継続支援(B型)事業)

〒952-1313

新潟県佐渡市八幡町303番地2

TEL:0259-52-4744 FAX:0259-52-4566

トキ人形

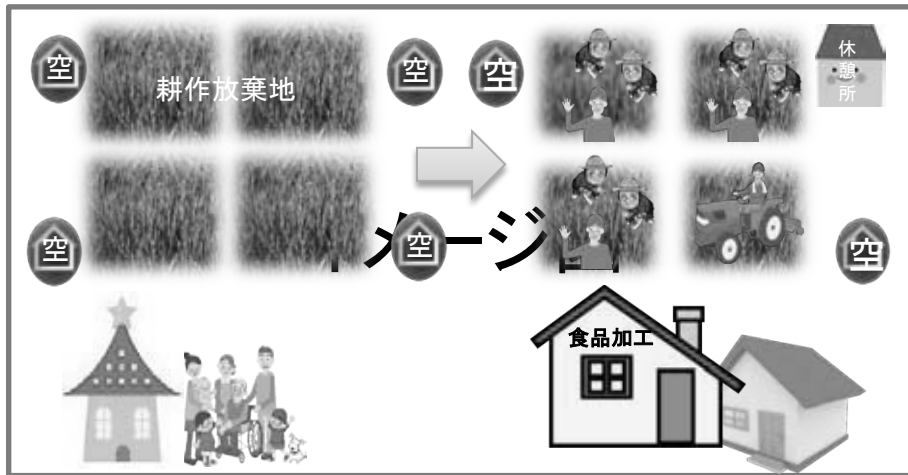


【カテゴリ1】農業との連携

豊かな地域生活と地域農業への貢献を実践する
障害者就農の推進

Point

- 福祉施設が地域農業の担い手として認識される
- 障害者の社会貢献と地域参加が地域から認められる
- あらゆる能力幅の利用者が就業できる



事業実施のきっかけ、経緯

- 日本全体の農山漁村では過疎化・高齢化が進行しており、農業の担い手不足による、耕作放棄地の増加が深刻な問題となっている。
- 本会は、中山間地域に位置する無認可の小規模作業所を運営していたが、障害者自立支援法施行を契機に利用者が増加。指定障害福祉サービス事業所としての安定性を活かし、農場の規模拡大を進める内に、地域農業の担い手としての認識が地域内で形成され始める。

事業概要

- 農産部門では減農薬・無農薬コシヒカリ、農薬・化学肥料を使用しない野菜作りを行う。平成25年度実績、水稻230アール、畑作150アール。
- 食品加工部門では自家栽培コシヒカリを100%使用した団子、山菜や漬物加工製造、予約制の野菜レストラン「山の食堂・農歩」等を運営する。
- 富山環境整備（株）の下請け作業としてリサイクル作業や清掃作業を行う。

実践と成果

- 本会が、耕作放棄地を農地として利用することで、障害者の社会貢献と地域参加が地域から認められ、必要とされる存在であると実感できる。
- あらゆる能力幅の利用者が就業できる点を活かし、触法障害者の支援を実践している。

今後の展望

- 認定農業者資格を取得する。
- 栽培品目を収益部門と障害者の就労支援重点部門に区分し、農業経営と支援を両立させ、利用者工賃の向上につなげる。
- 増加する耕作放棄地及び後継者不在農地の受託規模を拡大する。



山の食堂・農歩



惣菜班



農業班



菓子班

事業所より一言

①経済的自立・向上、②生活スキルの向上、③社会参加スキルの習得、④情緒の安定と健康管理、⑤地域・国際貢献、以上の5つの方針のもと、障害を持つ人が、人として成長していけるように支援をしています。

本事例の事業所紹介

特定非営利活動法人愛和報恩会



〒939-2417
富山県富山市八尾町西川倉23番地1

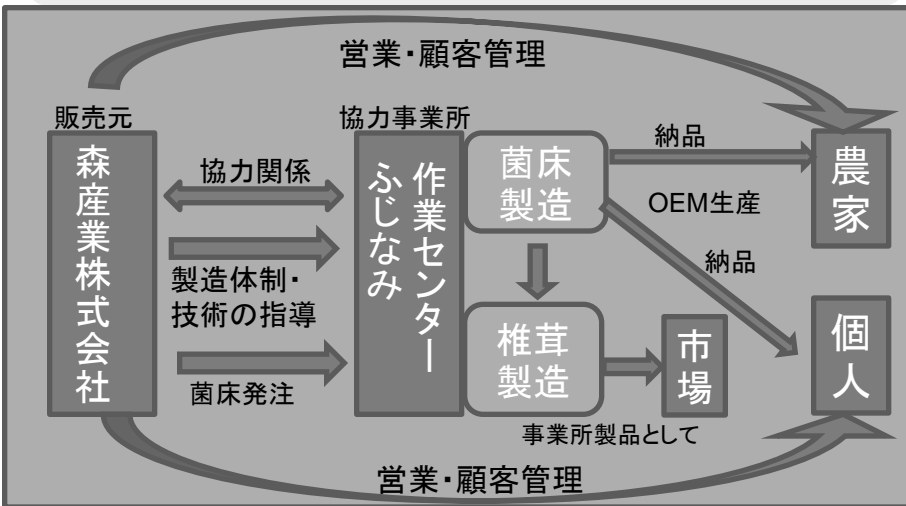
TEL 076-455-0597 FAX 同左

【カテゴリ4】企業連携

菌床販売企業との連携で菌床づくりから椎茸生産までの一貫生産、販売を実現

Point

- 菌床販売会社の協力事業所として連携
- 製造体制から技術指導まで企業がバックアップ
- 事業所内の生産管理には民間企業経験者を配置



事業実施のきっかけ、経緯

●自閉症の人たちに仕事の提供をという思いと、売れ続ける商品作りをしたいという考えのもと、北海道函館市にある多機能型事業所「おしま菌床きのこセンター」を園長が訪れたことがきっかけとなる。そこで行われていた菌床づくりから椎茸生産までの一貫生産を事業所に取り入れるために、富山県圏域を統括する菌床椎茸のOEM生産の販売元である森産業株式会社を紹介され、業務提携を結んだ。「おしま菌床きのこセンター」訪問後、森産業株式会社のサポートのもと6年の歳月をかけて生産体制を整え、平成17年に作業センターふじなみを事業所として立ち上げた。

事業概要

- 販売元企業の指導のもと、製造・生産体制が整えられた。菌床は、企業からの発注に応じて出荷を行っている。製造した菌床での椎茸栽培もっており、事業所製品として地元の市場に卸している。一括買い上げ方式のため、毎日の価格変動はあるが、確実に売上をあげることができる。
- 栽培技術面は企業からのノウハウを取り入れ、事業所内部では生産管理を民間企業経験者に任せ、利用者支援を福祉施設経験者が担当することで、効率的な生産体制を整えた。
- 販売元企業の担当者が週2・3回訪問し、生産・品質管理のアドバイスを適宜行っているため、品質の安定に繋がっている。

成果

- 菌床の仕込みから椎茸の収穫、販売までを職員と利用者がともに働ける仕組み・環境を整えることで、働き手としての利用者の力を最大限発揮させ売上を伸ばしている。
- 製造システムを作り上げることで、利用者が主体的に仕事を行い、高工賃を得るだけでなく、働く喜びややりがいに繋がっている。
- 昨年度の売上実績は、菌床で4,000万円、椎茸で4,000万円。このうち、1,000万円を工賃として還元。

今後の展望

- 現在は、設備投資の返済や管理コストがかさんでいるため、生産技術を向上させることで、1菌床当たりの椎茸収穫量のさらなるアップと、椎茸栽培のハウスを増やし年間売上1億円を目指したい。

【カテゴリ4】企業との連携

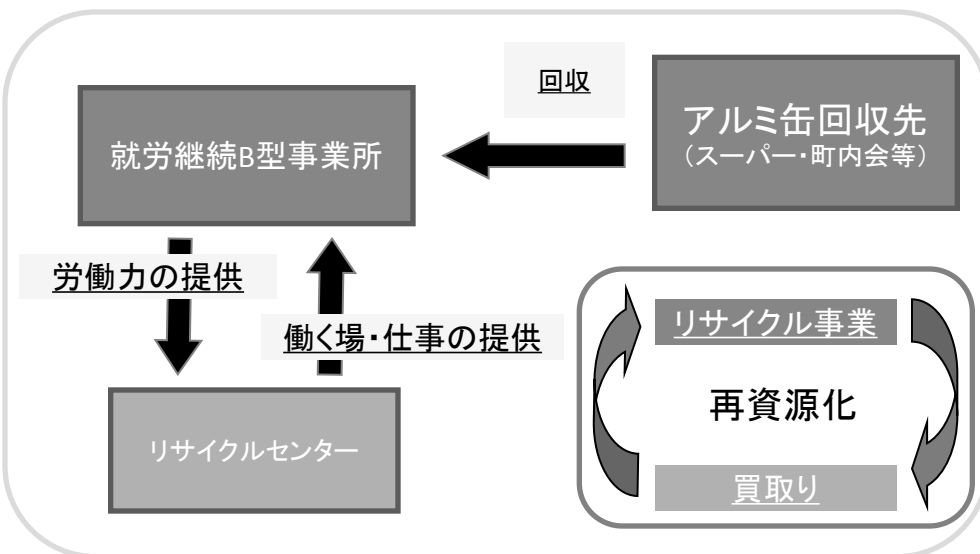
【リサイクルセンターと連携した施設外就労】

Point



施設外就労の活用

アルミ缶リサイクル事業との連携



事業実施のきっかけ、経緯

事業所でアルミ缶リサイクル事業に取り組んでおり、アルミ塊を買い取ってもらうようになった。その後、試験的に施設外就労に取り組み、人材を育成し、参加日数や人数を増やしていった。

事業概要

リサイクルセンター内で飲料容器(缶・ペットボトル・ビン)の分別作業

事業所で成型したアルミ塊の買取り

成果

時給で請負契約を行うことで、高い工賃支給に貢献している。

民間企業で働くことで、利用者の労働意欲の維持・向上に寄与する。

社会との関わりを持つことで、社会性を身につけることができる。

今後の展望

人材育成をすることで、参加人数の増加を目指し、高い工賃を受け取れる利用者を増やす。

雇用に繋がるような人材を育成する。



本事例の事業所紹介

社会福祉法人 富明会

〒921-8834

石川県野々市市中林1-1-1

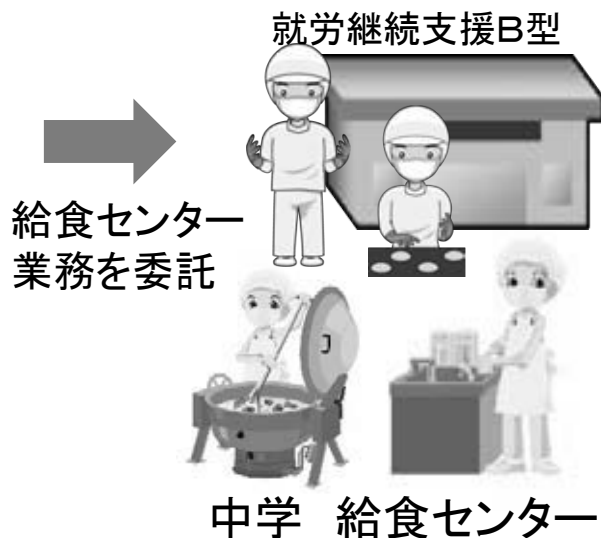
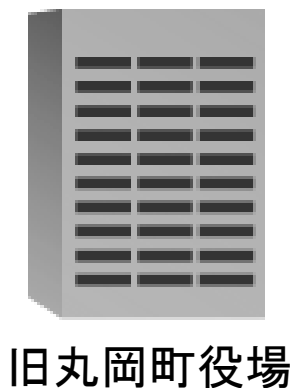
TEL 076-248-4871 FAX076-248-4893

【一筆啓上。わが校の給食はおいしいです。そして楽しいです(給食センターの業務委託)。】

Point



- 給食センターでの優先発注事例
- 給食センターにて業務委託を行う
- 障害者就労施設からの食物の購入等の波及期待



本事例の背景

- 丸岡町長が就労継続支援A型に給食センターの業務委託を行う。
給食センター内で盛り付け、簡単な調理、配食等を委託しており、33名の知的障害者がそれら教務を行っている。
- 461人(生徒428人、職員33人)が一堂に会しての給食業務をおこなっている。
- A・B2種類のメニューから、自分が食べたいものを選ぶカフェテリア方式で配ぜんされている。

本事例おける、それぞれの役割や経過

就労継続支援A型

- 朝8時半出勤。中学に隣接した丸岡南中事業所に出勤した社員はユニフォームに着替え、一人ひとり体調や衛生チェックを職員から受け、それぞれの持ち場につく。
- 提供する給食の主なものは、事業所内のセントラルキッチンで下処理、加熱調理されるため、調理されたものはクックチル方式で保存され、翌日提供している。そのため、利用者が簡単な調理(再加熱処理等)は行えるよう環境改善されている。
- 前日調理された料理が翌日、学校のサテライトキッチンに配達される。

給食センター

- 優先調達推進法の施行に伴い、給食センターの業務委託に加え、更に地域の障害者就労支援施設が作る農作物の購入も行うようになった。

本事例における効果

- 給食センターの業務委託の成功から更に発展し、農作物の購入等のさらなる発注につながっている。

「C・ネットふくい丸岡南中事業所」の事業所紹介



C・ネットふくい丸岡南中事業所
〒910-0355
福井県坂井市丸岡町高瀬15字11-1

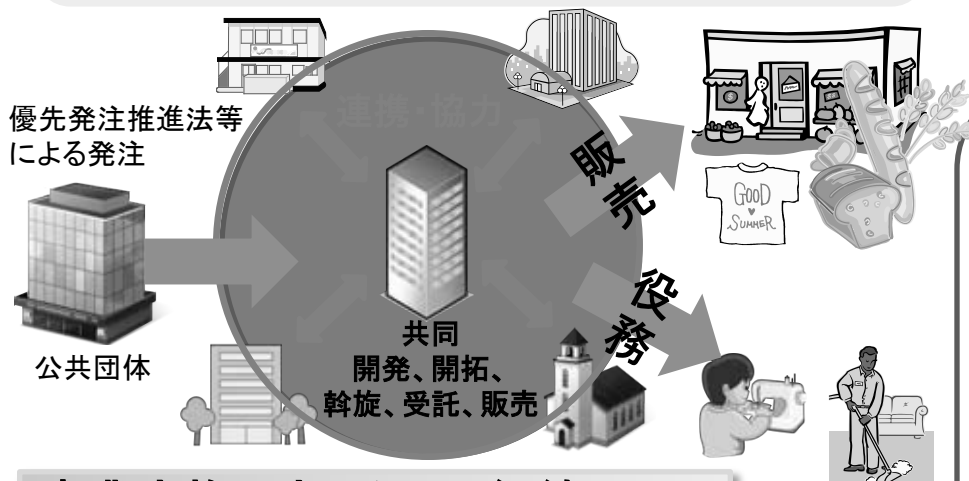
越前市内障害者施設連携 越前市社会就労センター協議会の

取り組み

Point



- 障害者の社会就労事業の振興
- 障害者福祉の増進
- 地域における就労の確保、自立促進



事業実施のきっかけ、経緯

- セルフショップえちぜんでの授産製品の販売をしたが、効果が薄く、営業活動を強化して授産製品の拡大に努めることにした。
- 公共団体からの優先発注推進法の窓口としての強化路線に切り替え

事業概要

- 授産製品の共同販売・販路拡大・斡旋
- 作業の共同開発、開拓、斡旋
- 施設外就労の範囲拡大、斡旋

成 果

- 福祉フェスタに参加し、授産製品の販売、授産施設の紹介、また当日のスタッフ弁当を受注、来場者のための記念品としてエコバッグ・ペットボトルケースの受注をうけた。利用者と来場者が直接触れ合うことで利用者の自立と自信、喜びにつながった
- 絵本作家かこさとし展を市の施設で開催するにあたり、作者と授産施設が共同制作した、Tシャツ・シール・パンなどを利用者が販売。市内の施設で協力し合い参加した結果施設間のつながりが強化された
- 公共団体からの優先発注推進法の実施に伴い市などから授産製品や役務の受注が増加しつつある

今後の展望

- 公共団体からの優先発注推進法の実施に伴い市などから授産製品や役務の受注が増加しつつある



事業所より一言

新しい作業の受注発掘をめざしています

本事例の事業所紹介

越前市社会就労センター協議会

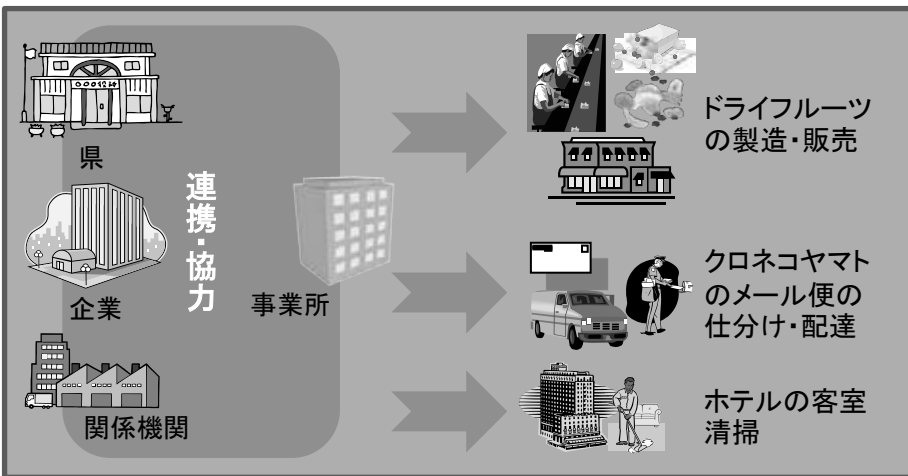
〒915-0051 福井県越前市帆山町5-31-1

TEL & FAX 0778-23-6855

【障害者の働く場の提供】

Point

- 施設外就労の活用
- ドライフルーツ店の市場進出
- 企業との連携による商品開発



事業実施のきっかけ、経緯

- 精神障害者及び回復者を様々な面からトータルで継続してサポートしていくために、今までの任意団体の活動から、法人として責任をもって運営していく体制が必要となり、平成19年4月2日に設立した。
- 利用者の工賃を上げていくため、社会性を身に着けるためにクロネコヤマトのメール便の配達、仕分け作業、ホテルの客室清掃などを行う。
- 利用者の工賃を上げていくためドライフルーツの製造、販売を行う。

事業概要

- 地域のなかで暮らしやすい環境を作るために各機関と連携を持ちながら、障害者が地域で安定して生活していくための支援を行っています。
- 働く場の提供（クロネコヤマトのメール便の配達、仕分けやホテルの客室清掃）
- ドライフルーツ製造の立ち上げ
企業と連携しドライフルーツの製造を開始。また、独自のドライフルーツ製造及び販売ルートの開拓。

成果

- 精神科に入院していた人や病院のDCを利用していただいていた人が当事業所に通ってくることで地域で安定して生活している。
- クロネコヤマトやホテル清掃の外部の仕事をする事で社会性が身についた。
- 企業や関係機関と連携・協力することによりドライフルーツ製造等にかかるノウハウを習得し新たな商品開発が行えた。

今後の展望

- ドライフルーツの製造、販売を軌道にのせていく
- 日売品の開拓



事業所より一言

利用者の工賃収入アップの為、利用者と職員の連携により、独自事業(ドライフルーツ製造・販売)を展開しています。

本事例の事業所紹介

特定非営利活動法人 かしのみ

〒400-0034

山梨県甲府市宝1-29-9

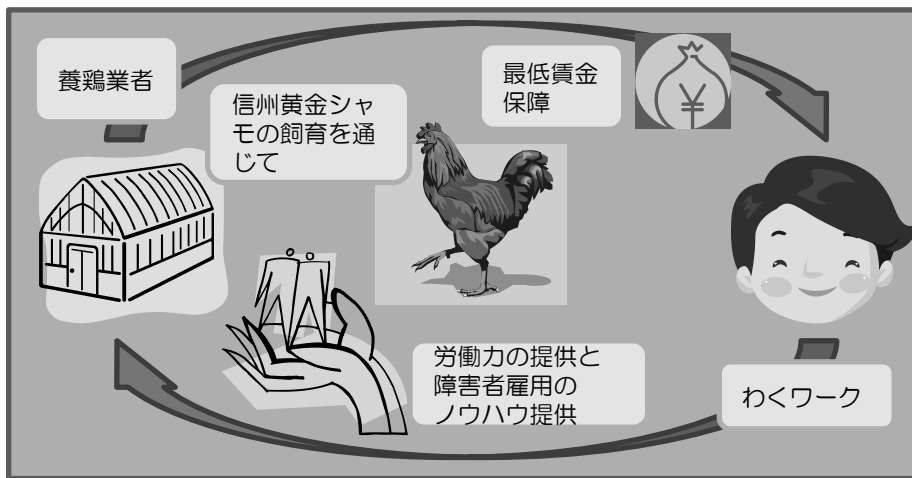
TEL 055-232-6613 FAX055-206-1681



【信州黄金シャモの飼育】

Point

- 長野県が定めた地鶏「信州黄金シャモ」の飼育
- ユニットによる施設外就労で工賃アップ
- 障害者就労支援に対する理解を深めつつある



事業実施のきっかけ、経緯

●地鶏の飼育を通じて地域の活性化に取り組む養鶏業者から、障害者雇用の相談を受け、テストケース的に職員同行のユニット就労を開始した。時期によって出荷数に変動がある事に加え、鶏舎が山間部にあって公共交通機関が不便なため、雇用には至っていないが、最低賃金が保障されることにより、利用者さんの工賃アップに繋がる施設外就労となっている。

事業概要

- 長野県独自の地鶏「信州黄金シャモ」の飼育。主にエサや水の管理、鶏舎内の環境維持、出荷など。
- 利用者さん2名、職員1名のユニットで、養鶏業者に赴いて実施する施設外就労。
- 最低賃金の保障を受けながら、週3日従事。

成果

- 作業を通じて、衛生管理、計数、効率追求などの実業系経験を獲得し、就労に対する責任感を身につける事ができた。
- 最低賃金の保障により、工賃が向上した。
- 経営者や従業員に対して、障害者雇用のノウハウとポイントを伝える事ができ、啓蒙活動の一環となった。

今後の展望

- 農場HACCP推進農場認証を目指し、更に安全と効率を追求した事業を目指す。
- 作業従事者数と従事日数の増加を求め、工賃アップを目指す。



緑豊かな山間地に
鶏舎があります。



エサの残量を計算しな
がら補充しています。



新鮮な水のチェックと
補充は欠かせません。



私たちが育てた、信州黄金シャモです。

事業所より一言

養鶏だけでなく、畑作業や清掃作業、販売の他にも、
企業から委託された様々な事業を行なっています。
楽しみながら働くことで、自分に自信を持てる人にな
れるように...「共に生き、共に暮らす」を体現していく。
それがわくワークなのです。

本事例の事業所紹介



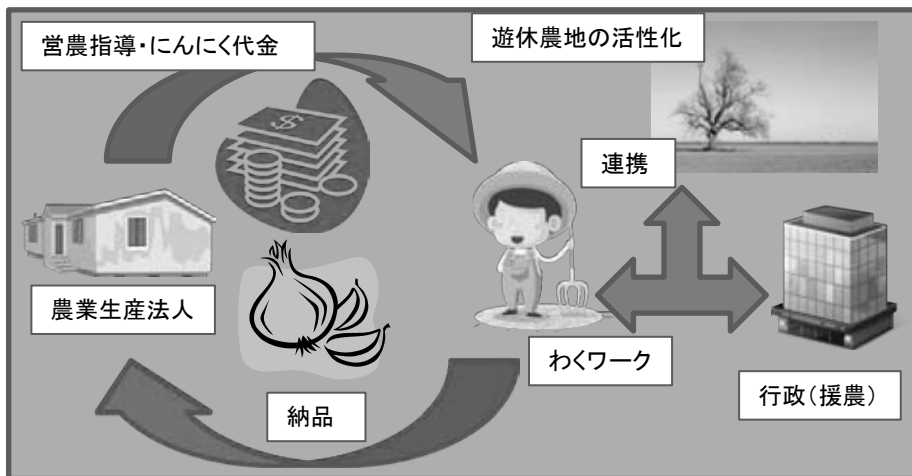
社会福祉法人 花工房福祉会
就労継続支援B型事業所わくワーク
〒380-0803
長野県長野市三輪8-51-36
アサバハイツ宇木2F-8

TEL/FAX: 026-233-5210

【無臭にんにくの栽培】

Point

- 営農指導と作業の補助を受けながら実施
- 障害者就農の一環として
- 遊休農地の活用により、地域に貢献



事業実施のきっかけ、経緯

- 障害者の就農に取り組む活動の中で農業生産法人の代表と知り合い、作業の打診があった。障害者が取り掛かりやすい品目であることや、展開が可能な事から事業開始を決定。畑候補地の選定には、県農業開発公社や市農業公社と連携し、遊休農地の再利用を図りつつ、今後を見据えて地域や農業委員会などとの関係づくりも行なっていた。営農指導や作業機械の貸与を受けながら、出来る範囲で取り組める事業として、実践している。

事業概要

- 農業生産法人有限会社との契約で、無臭にんにくを栽培、収穫、分球、納品。
- 種子は貸与、肥料や機械使用料などは実費負担。
- 収穫したにんにくは全て農業生産法人が買い取り。

成果

- 30aの遊休農地を借り受け、8000粒のにんにくを種植。収穫後の納品金額は1kgあたり400円との契約を結び、見込収穫量を算定して事前に代金を受け取った。実数による差額は、収穫後の清算となっている。
- 屋外での作業が増え、「畑に行きたい」と希望される利用者さんの健康増進にも一役買っている。
- 収入昨年度比、約8パーセントアップ。

今後の展望

- 収穫量と作業比率を考慮して、より効果的な栽培を探っていく。
- 平成26年度は同規模(20~30a)の農地獲得による増産を予定。



にんにく種子植え作業



一粒ずつ丁寧に...



覆土してできあがり！



苗は順調に育っています。

雪が解けたら追肥作業。

収穫は7月を予定しています。

事業所より一言

畑作業だけでなく、清掃や販売、養鶏作業の他にも、企業から委託された様々な事業を行なっています。楽しみながら働くことで、自分に自信を持てる人になれるように...「共に生き、共に暮らす」を体現していく。それがわくワークなのです。

本事例の事業所紹介



社会福祉法人 花工房福祉会
就労継続支援B型事業所わくワーク
〒380-0803
長野県長野市三輪8-51-36
アサバハイツ宇木2F-8

TEL/FAX:026-233-5210

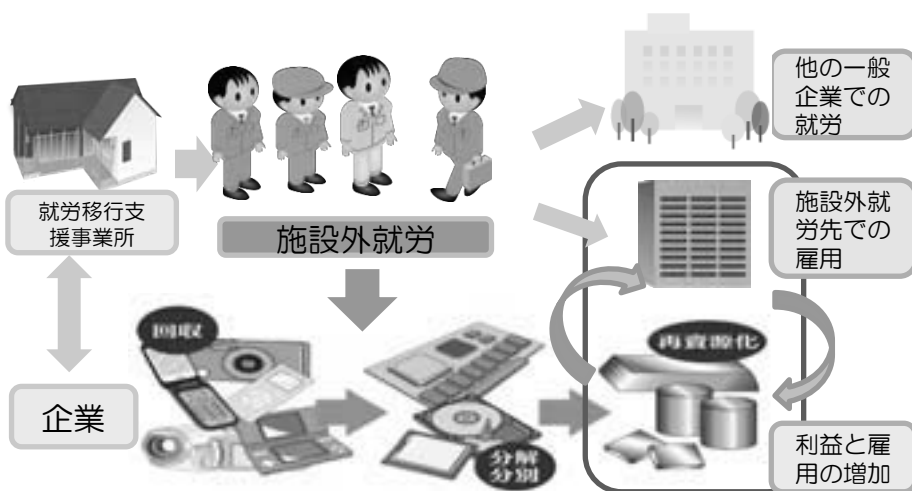
【カテゴリ4】企業連携

リサイクル企業と連携した施設外就労による 障害者雇用の促進

Point



- 施設外就労の活用
- 一般就労の訓練としてのリサイクル作業
- リサイクル企業での障害者雇用の促進



本事例の背景

- パソコン・携帯電話・ゲーム機などの機器には、多様な鉱物（金・レアメタル・銅・ステンレス等）が使われているが、現在までは、機器は廃棄されるか、または廃棄された機器を諸外国が輸入する状況が続いていた。
- 基盤を廃棄せず、鉱物を精製すると国内の資源確保につながるが、精製するためにはパソコンや携帯電話等を分解し、精製が可能な状態にしておく必要があるが、分解は手作業で行うため、根気のある人材を多数確保する必要がある。

本事例おける、それぞれの役割

リサイクル企業

- 就労移行の施設外就労を受け入れ、一般就労のための訓練の場を提供する。
- 再資源化により、企業の収益を向上させ、受け入れている就労移行支援事業所を含め、地域の障害者を雇用に貢献する。

就労移行支援事業所

- 施設外就労の人材を確保し、請負契約によるパソコン機器等の解体作業を責任を持って行う。
- 利用者にパソコン機器等の解体作業によって得られる、一般就労にむけた実践的な訓練を継続する。
- 施設外就労を経験した利用者を就職させる。また、施設外就労先の求人に希望する利用者を送り出すとともに、定着のための支援を行う。

本事例における効果

- 本事例による企業は、現在の障害者雇用の他に新工場を設立し、更に10名の障害者を新たに雇用する予定。企業の目標としては、ホールディングス内（5市町村に工場有）で100名以上の障害者雇用を行いたいと希望している。
- 障害者の雇用に拡大する新たな事例。

本事例の事業所紹介



株式会社 しんえこ

〒390-0852

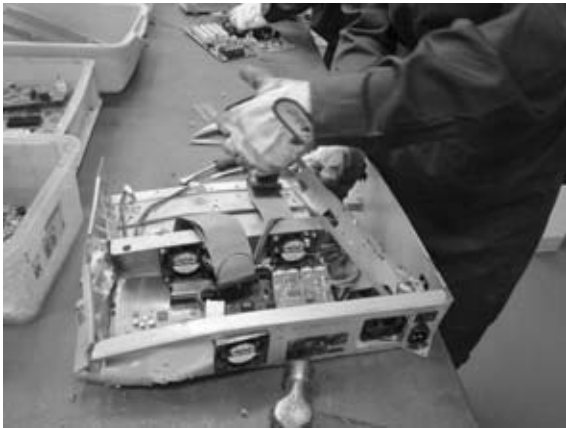
長野県松本市大字島立2346番地

TEL 0263-47-3211 FAX 0263-47-3213

(株)しんえこ 建物風景



(株)しんえこ内 就労移行 施設外就労 風景



【 農福連携

Point

- 遊休農地の有効活用
- 地域の農家、学校、ボランティアと当事業所の連携
- 地元企業と当事業所の連携、商品化



事業実施のきっかけ、経緯

●2年前、「遊休農地があるので、エコーンさんで何か作りませんか？」と土地利用のお話があり、どうしたらよいかと思案していた折に、「大豆を作ってくれたら買い取りますよ」というお醤油屋さんがいることを知り、マッチングすることとなる。早速、ボランティアとして「食育」と「障害者理解」を兼ねて、地域の小学生と、ボランティアの方々、NPO法人グリーンケアながのの方々、マル斗醤油さんの協力を得て、長野市若穂川田の遊休農地に大豆の種まきをした。秋には皆で収穫し、良質の大豆を得ることができた。そして丹精込めて作ったお醤油を販売する運びとなる。

事業概要

- 醤油会社が醤油を仕込むのに必要な大豆を契約栽培している。
- 栽培中の作業は、地元の高齢者・小学生・アグリジョブサポーターの研修を受けた皆さん等、多くの方々の力をお借りしている。
- 地域の小学生には、作業体験・障害者理解の場になっている。

成果

- 年間約500kgの大豆収穫をし、醤油会社に買い取ってもらった。
- 企業のお力をお借りして信州産 丸大豆醤油 『みんなで作ったおしょうゆです。』を商品化した。
(内容量：250ml 希望小売価格：400円)
- 出来た醤油を販売することで新たな売り上げを上げられ、工賃アップにつなげられる。

今後の展望

- 多くの方の協力を得て大豆の契約栽培を毎年行ない、継続した事業として展開していく。
- 信州産 丸大豆醤油 『みんなで作ったおしょうゆです。』を、量販店などでも販売できるようにし、販売ルートを広げていく。



みんなで大豆を蒔きました



大豆栽培に関わった皆さんです



大豆の刈取りをしました



完成した『みんなで作ったおしょうゆです。』

事業所より一言

「生きるしあわせ」「はたらくよろこび」「地域といっしょに」を合言葉に、パン、豆腐の製造・販売・配達、花卉、野菜の育苗、委託作業など多岐にわたる事業を展開しています。

本事例の事業所紹介

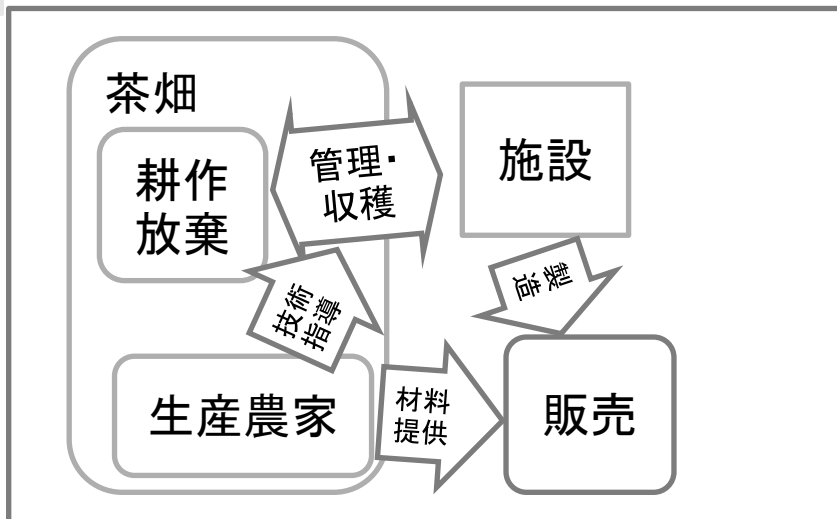


社会福祉法人 花工房福祉会
〒381-2226
長野県長野市川中島町今井1 387-1
TEL 026-283-8787 FAX 026-283-8703
E-mail: ecorn87@mx1.avis.ne.jp
<http://www.avis.ne.jp/ecorn/>

【社会福祉法人の就労支援活動による地場産業（茶）の活性化】

Point

- 休耕茶畑の活用
- 高齢化等に伴う地域の労働力不足の解消
- 施設の仕事づくりと地場産業の活性化



事業実施のきっかけ、経緯

- 高齢などの理由で耕作放棄された茶畑が地域に多数ある
- 地場のお茶パウダーを使った商品開発をきっかけにお茶関連の仕事のやりとりや茶畑の管理を始める

事業概要

- 休耕茶畑を借り受け、生産農家より技術指導を受けながら、畑の管理とお茶の収穫販売を行う。
- 生産農家とともに地域のお茶関連商品を共同開発し、施設で生産するとともに販売を行う。

本事例おける効果

- 休耕地を活用することで低コストで事業開始ができる。また技術指導を得ることで、施設の仕事づくりとして安定して運営ができる。
- 地域は不足しがちな労働力を確保できる。また、生産農家は施設の菓子製造業を利用して、自主製品を作れる。
- 農家の販路と施設の販路両方を活用できる

今後の展望

- お茶の時期(4~10月)以外の通年の活動を検討中
- 茶畑の管理の拡大と利用者の工賃アップ

揖斐茶畑風景



作業風景



どんな障害者も生き活きと暮らしていける社会の実現を目指し、障害者自身とその家族、職員、地域の人々が、力を合わせて活動しています。

また、障害者に対し、障害の種別、程度に応じた適切な支援方針によって療育的な面を配慮しながら作業訓練を行い、集団における協調性を養い、社会の中で自立していけるように支援をします。

本事例の事業所紹介



社会福祉法人 いぶき福祉会
いぶき

〒502-0907

岐阜県岐阜市島新町5番9号

TEL: 058-233-7445 FAX: 058-232-9140

【与えられたもの一つ一つを大切にしようとする 試みが実を結び。】

Point

- 安全な食の追求が職を生む。
- 型にはまることなく私達ならではの活動を推進。
- 想いを共有しあえる仲間とのネットワークづくり。



事業実施のきっかけ、経緯

●代表が福祉大学を経て就職した知的障害者の更正施設での、純粹無垢な「人たち」との衝撃的な出会いが発端となり、健常と障害の区別、障害別で区切らない、お互いを認め受け止め支え合う場を夢見てきました。

また、ある友人から知的ハンディを持つAさんのことで相談があり、何とかならないかと思い軽作業を始めました。スタッフはすべてボランティアで、さまざまな支援を実践していました。

2001年、数名の有志と共に、三方原町に土地と家屋を購入し、トータルケアセンターと名をうって立ち上げました。1年半はボランティア運営で、すべて持ち出しであったが浜松市の認可事業としてスタートすることができた。

事業概要

- 農業のベテランをスタッフに迎え、1200坪の畑で無農薬野菜づくりやイスラエルの天然天日塩の精製、インドのスパイスの製粉等。
- 無添加の薬膳カレー・ナチュラルハンバーグなど、自然素材の味を生かした豊富なメニューを揃えています。50種のハーブも魅力。
- ブレックファーストレストラン街にとんかつ屋をやっています。高齢者向けの宅配弁当事業をえん配食サービスを展開。縫製事業では、東南アジアからの輸入事業も手掛けています。また、2台の移動販売車で温かいカレー販売やインターネットショップも開店。日本のトップパティシエとコラボして福祉事業所で作られた手作り焼き菓子、自然化粧品、手作りジャム等の販売をしています。

成果

- 独自の就労システム（継続支援B→移行支援→継続支援A）の中で、よりストレスの少ない環境の中で雇用に結びついたメンバーさんが生まれた。現在、9万円～20万円近くの給与で働く方が、20人弱いる。
- 地元の企業の方からの要望に答えるために、自分たちの生産能力の枠を超えて、海外の製造輸入ルートを開拓し、簡易作業・パッケージを収入に結び付けた。（継続的な大量受注を実現した）
- 高齢者の宅配弁当を進める中で地域の方との管が生まれた。（地域の福祉的ニーズをより近い所で知ることが可能）
- 市役所、保健所、大学病院等での弁当販売は、自分たちの取り組みを知ってもらった大きな広報活動の場ともなっている。
- 移動販売の中で培った能力を災害支援でも生かす事ができた。

今後の展望

- 小規模作業所『グレース工房』の拡充。施設の整備及びハンディを持つ方々の雇用拡充。
- 喫茶店や店舗を持ち、一般社会で当たり前障がい者も働いている職場作りを行うと同時に、社会の認知を促進し、浜松市の福祉促進の一助となることを目指します。
- 今後、共に支え合う場として市民のボランティア活動の場を提供することや、障がい者（児）・子ども（託児所）・お年寄りが共生できるグループホーム建設を目指しています。



事業所より一言

私たちは正しい自尊心を持つことを学び、人を大切にすることを学んで来ました。この価値観に生きると決めた仲間がいたからこそ今のトータルケアセンターがあります。

グレースグループは、「与えられたものを大切に」を合言葉に自然で安全な食を追究しながら、人を大切にする仲間の輪を広げていきたいと考えています。

本事例の事業所紹介



NPO法人トータルケアセンター

〒433-8105

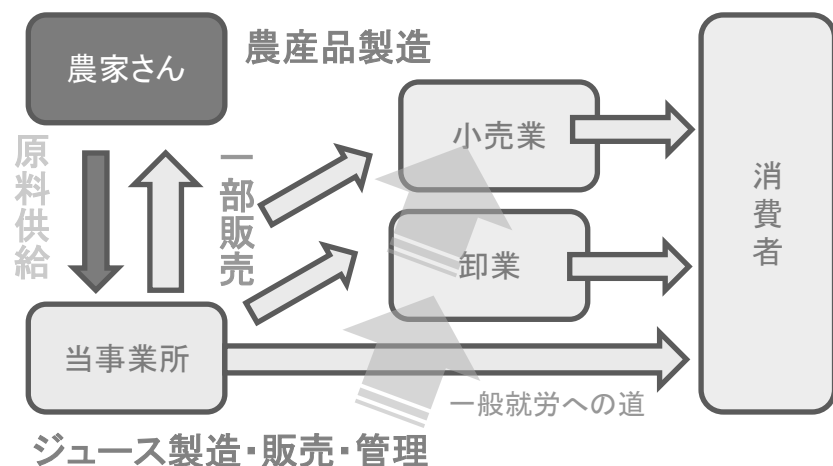
静岡県浜松市北区三方原町2041-3

TEL:053-414-5202 FAX:053-414-5202

【農家・企業と連携したジュースの製造販売の製造販売】

Point

- 個性ある就労継続B・就労移行事業
- 6次産業化の促進
- 地域活性化



事業実施のきっかけ、経緯

●地場産業である自動車・バイク・楽器の下支えを福祉事業所は長年担ってきたが、産業構造の変化により、地場産業への依存脱却を行う必要が生じた。

●野菜や果物の生産が盛んであるにもかかわらず、B級・C級品の付加価値を上げるための加工工場（飲料）がなく、農家さんは遠方の工場へ委託していた。また、工場がないため、B級・C級を捨ててしまうケースが散見した。

事業概要

- コンセプト：素材感・新鮮さ・懐かしさ・安全・衛生
- 「急速温製法」を可能とした果実飲料工場を設備し、品質の高いジュースを製造し販売する。
- ジュースの製造設備等を工夫し、オペレーションのほとんどの工程に利用者が関わることができるようにし、働く機会を拡充する。
- 物流過程や管理過程に利用者が関わることができるようにし、流通業や小売業への移行を行う。

成果

- 利用者の働く機会や役割の拡大（職員・利用者という区分での配置ではなく、適材適所の配置）。
- 野菜や果物のB級・C級品を適正価格で購入できることから農家さんの収入の安定。
- ジュースの品質に徹底的にこだわり、ニッチなニーズへの商材に仕上げたことから、卸業者・小売店・ブローカー等からのオファーが増大。
- 商品戦略（ターゲット・品質・価格他）を明確にすることで、農家・製造者（当法人）・販売者双方がwinにすることができる。

今後の展望

- 工場隣地に物流兼店舗棟を建設し、利用者の働き方・移行支援の在り方を確立する。
- 販売力・マーケティング力を強化し、製造量を増大させること=6次産業化への貢献力を向上する。



農家さんとの原料供給協定



工場充填ライン



綺麗な工場も大切なこだわり



地元鉄道会社とのコラボレーション



静岡地方のみかんの起源・・・家康公が駿府城に植えたものとされている

事業所より一言

こだわりの支援、こだわりのジュースを通して、障がいのあるなしに関係なく、意欲と誇りをもって利用すること・働くことができる事業所を目指しています。
工場見学もできます。

本事例の事業所紹介



社会福祉法人 復泉会

〒433-8101

静岡県浜松市北区三幸町124-7

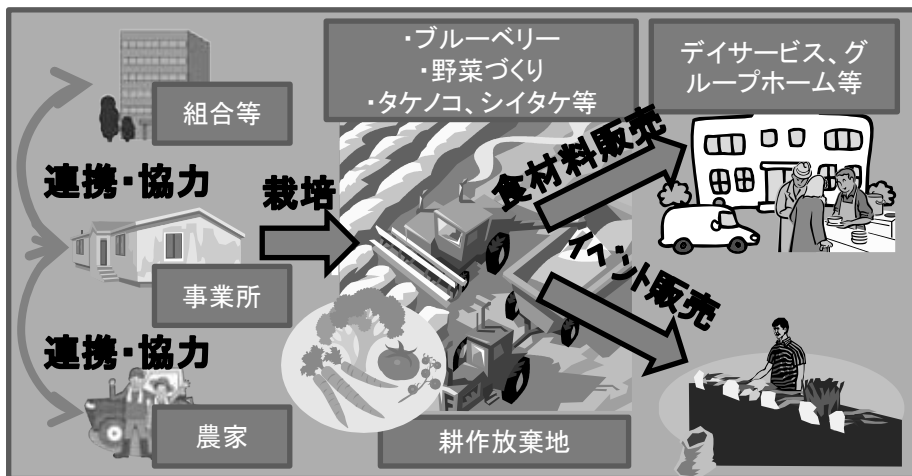
TEL 053-420-1556 FAX 053-523-7718

カテゴリ1【近隣農家との連携】

【農園作業をしながら地域の方々とのコミュニティづくり】

Point

- 農作業は、地域の耕作放棄地を活用
- ほのくにの特色をイメージできる商品づくり
- 近隣農家の協力により、楽しんでできる魅力的な農園造り
- 地域の方々にはほのくにへの理解を深めてもらうきっかけづくり



事業実施のきっかけ、経緯

●常日頃、ほのくにの特色となる商品作りをしたいが何をしようかと考えていました。そこで、この地域でブルーベリーを栽培する農家に栽培方法等を相談することにしたところ、この地域の気候や土質が適していることまた無農薬でも栽培できることを教えられた。既に1反を無農薬、無化学肥料の野菜づくりをしていた畑の隣が耕作放棄地であったため、そこを整備すれば、ほのくに農園としてのピーアール商品ができるのではと思いました。

●そこで、地域の耕作放棄地を活用し農作業をするため、H23年7月、豊川市による農業委員会のヒアリングを受け、耕作放棄地再生利用補助金が交付されことになり、その年の秋、荒地の伐根、深耕等、果樹栽培のために、20年以上放置された森のようになった荒地が半年間でブルーベリー畑に生まれ変わることができました。

事業概要

- 近隣の耕作放棄地2反畑を整備し借り上げ、1反を無農薬、無化学肥料の野菜づくり、もう1反にブルーベリーを植栽、そして事業所の敷地内にある1反の竹林を整備し、タケノコ、原木シイタケ栽培をしています。
- 近隣の農家の方々からは、苗を分けてもらったり、肥料や米ぬかを頂いたりする協力が得られています。収穫した作物は、近隣の福祉サービス（デイサービス、グループホーム）で食材料として活用してもらったり、事業所のイベントにて販売してもらうこともあります。
- 近隣のブルーベリー農家で作る東三河農産加工販売協同組合が、六次産業化法に基づく総合化事業計画の認定を受け、加工販売に着手しており、当事業所も一昨年から、この組合に所属するブルーベリーガーデン豊川の山本さんにご教授を頂き、100本の苗木を植えました。

成果

- 3名の知的障害者が農園作業に関わっています。作業の説明に時間はかかりますが、一つの作業に集中したり練りの強さが必要な仕事が得意な方もいて、屋外での汗を流して農産物の収穫は喜びと達成感を味わうことが自信につながり、精神的に与える影響もあるのではないかと思います。
- 今後の作業収益向上も期待されます。地域の周辺農家からも迷惑な耕作放棄地がきれいに整備されたことについて、喜びの声があがっています。目標としていた自家農園で収穫された野菜や果実を加工販売する計画も進んでいます。四季折々の無農薬野菜をはじめ、春はタケノコ、夏、ブルーベリー、秋はシイタケ、そして冬干し芋と季節に応じた商品を扱っております。

今後の展望

- 将来的には地域の農産加工の一端を担えるよう、日々連携を図りながら活動しています。
- ほのくに独自の販売方法の確立をしていきたい。



事業所より一言

大きなアーチと優しい色使いの外観が、あたたかく迎えてくれる「ほのくに」は、障害者の方々が我が家のように通所できる、アットホームな多機能型事業所です。

社会・経済参加のためのクリーニング作業場をはじめ、バリアフリーに配慮した多目的室など、障害者の方々の立場に立った、数々の施設であり、地域福祉の大きな役割を担う事業所として、豊川市一宮町に生まれました。

皆様とともに、大切に育んでいきたいと願っております。

本事例の事業所紹介



社会福祉法人阿吽会 ほのくに

〒441-1231

愛知県豊川市一宮町上新切33番260

TEL:0533-92-1515

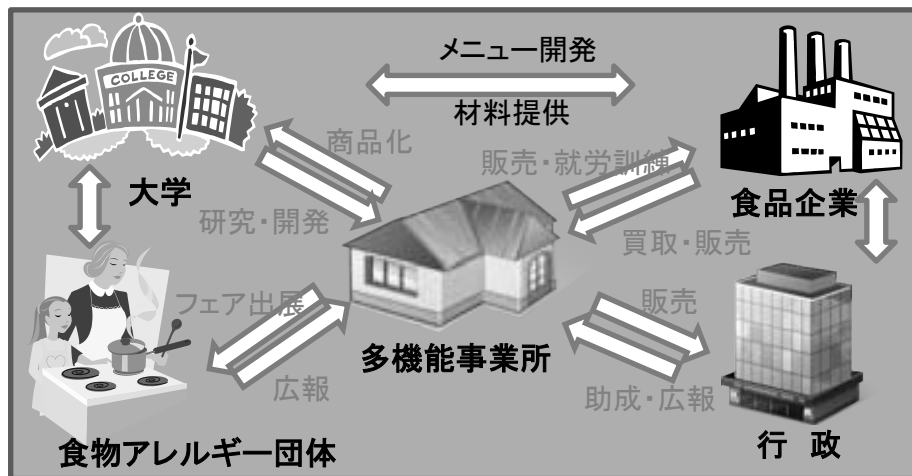
FAX:0533-92-1520



【産官学と福祉の連携による作業の創造と就業トレーニングの機会の創出】

Point

- 大学の研究を商品化
- 企業の協力で工場作りと販路開拓
- 食品会社での就業トレーニング



事業概要

- 大学-学内の研究を障がい者支援のために活用するために、食物アレルギー対応商品のレシピの研究開発をする。
- 企業-商品開発の指導・食品工場の建設指導・製造・販売の指導を担当する。施設内の向上で衛生管理・製造業務ができてきた利用者については、企業内で就労トレーニングを受け入れる。
- 行政-機械設備の購入に関して助成する。市内の保育園等で授産製品を購入する。
- 事業所-安心安全な商品を製造販売するとともに、施設内工場で訓練した人を企業内での就労トレーニングに結び付け、一般就労へつなげる。

成果

- 焼き菓子製造販売部門の立ち上げにより、授産収入が年間700万円程度だったものを、4年で年間2,300万円程度まで押し上げることができた。
- お菓子部門立ち上げまで、一月の平均工賃が1万円程度だったものが、4年間で1万5千円超まで引き上げることができた。
- 述べ26人が就労トレーニングし、内1名が就職する。

事業実施のきっかけ、経緯

- 地域の基幹産業である自動車関連の下請け作業が中心だったが、トヨタショック、東日本大震災、タイの大洪水などのたびに作業が無くなり、工賃の維持が難しかった。
- 利用者さんの工賃維持のためリスク分散を考え、自動車とは全く分野の違う食品分野への進出を考えたが、事業所にまったくノウハウが無かった。
- 大学に研究開発を依頼し、地元企業に工場の建設から製造販売のノウハウを教わり、行政には資金的な援助と購入を依頼し、産官学での支援体制を構築した。

今後の展望

- 協力大学から、新たな商品のレシピ開発を申し出ていただいております、商品化を勧める。
- 協力企業から、商品のデザイン・パッケージ・販路等についての提案があり、商品の付加価値を上げる。
- 行政より、子どもの食育活動の拠点的活動を求められ、食物アレルギーに関する講座を開設する。

施設内焼き菓子工場



施設内チョコレート工場



企業内での実習



事業所より一言

「できないことはできる人と組んで仕事を創り出す！」をコンセプトに産官学と福祉が融合して、短期間に全国展開する事業を創り出すことができました。協力企業には、今後特例子会社を作る計画があり、事業所とタイアップして障がい者の就労の機会をより拡大していけたらと考えています。厳しい食品業界ですが、利用者さん・スタッフ一同誠実に頑張っています。

本事例の事業所紹介



社会福祉法人 昭徳会
授産所高浜安立

〒444-131
愛知県高浜市向山町6-1-1

TEL0566-53-8551 FAX0566-53-8553

(株)おとうふ工房いしかわ 建物風景



【カテゴリ4】企業との連携

商工会加盟事業所との連携により、地域事業所が製造する商品を施設オリジナルギフト商品として販売し地域連携を図る。

Point



- 商工会加盟事業所の協力を得て、オリジナルギフトセットを企画・販売
- 伊勢神宮奉納商品の開発



地域の製造販売業者

菰野町
商工会議所



伊勢神宮ギフトセット

オリジナル牛肉しぐれ煮ギフト

わかば夢工房



わかば作業所



地域の活性化／産・福の共存／双方の売上向上と口コミなどによる広報

事業実施の背景

● 障がい者作業所を運営する社会福祉協議会へ、町長から「地域の地場産品を活用して、障がい者作業所でオリジナル商品の企画・販売などができないか？」と働き掛けがあり、商工会の協力を得て、商工会加盟食品等製造販売業者の中の有志や他関係者等が参加していただき、企画を立ち上げた。約15事業者が商品を持ち寄り、「わかば夢工房」ブランドとして「伊勢神宮奉納セット」をはじめ、作業所のオリジナルギフトセットを開発・販売。

事業内容

わかば夢工房

- 開始当初は15事業所の協力を得、現在は11事業所がと連携。わかば作業所の利用者で箱作りからはじめて、それぞれの事業所自慢の商品の箱詰め作業を行っている。
- 地域の陶芸家の指導と協力を得て、わかば作業所オリジナル陶玉ストラップを作製し、ギフト商品に添えて販売し、作業所のオリジナル性を出している。

商品紹介

● 菰野町自慢の美味しいもの（中華・麺・お菓子など）をギフト商品化。1800～3500円程度のギフトセットで、コンセプトは「菰野町の色んなおいしいものが詰まったギフトセット～美味しいもの巡り～」です。

本事業における効果

- オリジナルギフトを企画したことによって、地域の異業種事業所の交流が深まったとともに、障がい者福祉に関する理解も深まった。
- わかば作業所利用者とともに販売の付添をする中で、利用者自身の製品への関心や販売意欲が高まった。
- オリジナルギフトの立ち上げ開始から2年間は、お中元とお歳暮の2回販売していたが、通常内職作業等の中での時間の確保が困難な事等々により、今はお歳暮のみの企画・販売となってしまったのが残念。

本事例の事業所紹介



(社福) 菰野町社会福祉協議会
菰野町わかば作業所

〒510-1233

三重県三重郡菰野町菰野1227-1

TEL 059-394-3421 FAX 059-394-3426

わかば夢工房の取り組み

わかば夢工房 2013
冬のオリジナルギフト

ご予約期間：11月1日(金)～11月29日(金)

各セットに、わかば夢工房オリジナル「お返し」がはいります。(送料は別途です。)

菰野
自然豊かな
菰野町の自然の恵み
一室に備えられた
美味しいもの巡り

① 黄金セット 3,500円
特大サイズの黄金あん(1個)・手作りおしとろしゅつマイ(10個)・手作りのお菓子(20個)パンがえり(2個) (送料別途)

② 大黒屋セット 3,500円
徳島スライス(150g)・さくら餅(10個)・おぼろ餅(10個)・おぼろ餅(10個)・おぼろ餅(10個) (送料別途)

③ 菰野産セット 3,000円
本生芋(1kg)300g(1個)・本生芋(1kg)300g(1個)・本生芋(1kg)300g(1個)・本生芋(1kg)300g(1個)・本生芋(1kg)300g(1個) (送料別途)

④ 菰野のお菓子巡り 1,800円
高円寺おまんこ(10個)・ワッフル(1枚)・おまんこ(10個)・おまんこ(10個)・おまんこ(10個)・おまんこ(10個) (送料別途)

商品価格はすべて税込みです。
販売元：菰野わかば作業所(菰野町社会福祉協議会) 三豊郡菰野町1227-1 TEL:059-304-3421 FAX:059-304-3426



わかば作業所自主製品



商品梱包作業の様子



わかば夢工房パッケージステッカー



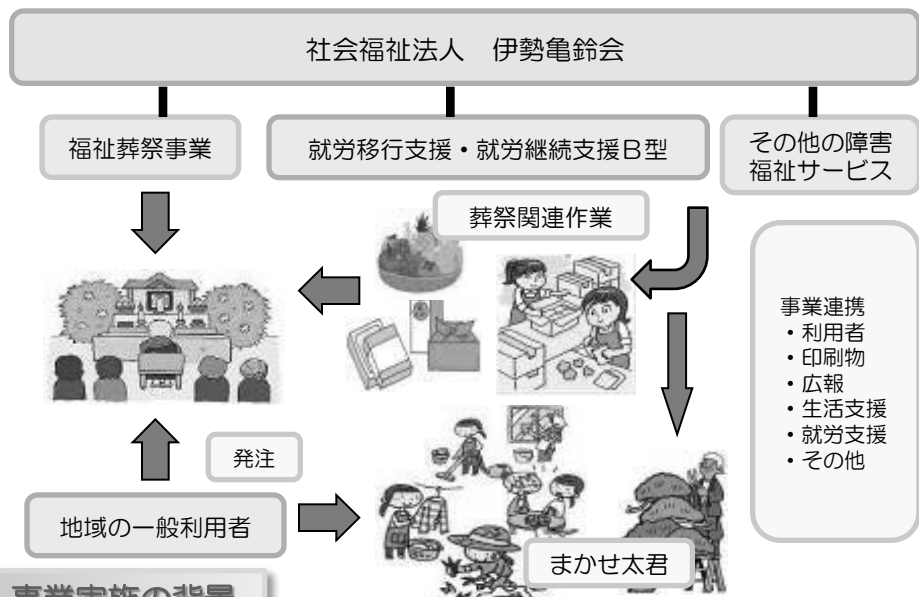
【カテゴリ8】その他

独創的な事業展開で地域との共存を図る。また、将来、これらの事業でニート等の課題を抱える方へのサービス提供の仕組みを確立する。

Point



- 葬祭業と福祉サービスを融合することで、地域との共存を図るとともに、利用者に高い工賃を支給
- 地域の様々なニーズを聞く便利屋。様々な経験により作業スキルの向上につなげる



事業実施の背景

●法人設立者の前身が葬祭業を経営。作業種が豊富にあること、季節や景気に左右されることなく、安定した仕事量、作業量が確保できることから福祉サービスの事業として実施することとした。

●葬祭契約を受けたお客様からの依頼に基づき行ってきた、遺品整理の付加サービスを発展させた「まかせた君」事業。

事業内容

福祉葬祭事業

●鈴鹿市内2か所、伊勢市と津市内にそれぞれ1か所の葬儀会館を設置。病院やご自宅などから会場までのご遺体の搬送から、葬祭、出棺、初七日法要までの一連の業務の中で、利用者の方々には、葬祭式典の裏方作業（会場設営・清掃、籠盛りや菓子盛りの製作、返礼品の製作と包装）を行う。

まかせた君事業（便利屋）

●葬祭事業の付加サービスとしての遺品の整理、植木の剪定、各所の清掃作業や日曜大工、その他お客様からの依頼に応じて出張し作業を行う。

●就労移行及び就労継続B型の利用者が車に乗りご依頼のある家庭などに出向き作業を行う。

本事業における効果

●年間を通じ安定した仕事量により、利用者の作業スキルの向上が期待できる。また、葬祭利用がない時に返礼品の包装を在庫品としてストックしておくことができる。

●まかせた君事業は、お客様からのニーズに合わせて様々な作業を体験することができるため、利用者の作業スキルの向上につながる。

●三重県単独事業による社会的事業所の設置に向け、今後は、若者サポートステーションとも連携し、ひきこもりやニート等の方に対する支援策としてつなげ、サービス利用して頂けるような仕組み作りを検討する予定。

本事例の事業所紹介



社会福祉法人 伊勢亀鈴会
きれいサポートステーション

〒510-0236
三重県鈴鹿市中江島町7-21
TEL 059-388-0864 FAX 059-388-0864

福祉会館（葬祭会館）鈴鹿市2カ所、伊勢市、津市に各1カ所を就労移行支援と就労継続支援B型で運営）



会館玄関



式場全景・会場の設営



ご親族休憩室の清掃



祭壇等の設営

返礼品の製作と包装（タオルたたみ→箱作り→包装→収納・陳列）



籠盛り・菓子盛りの製作



まかせ太君事業



中日新聞
2010年2月1日



屋根の補修依頼を受けて作業する「まかせ太君事業」の利用者の方

【 移動商店街ぎょうれつ本舗 】

Point

- 地域の課題（買い物難民・障がいのある人の働く場）をぎょうれつ本舗のしくみで解決
- 福祉サービスを受ける側から、高齢者サービスを提供する側へ



事業実施のきっかけ、経緯

- 過疎・高齢化が進む地域では買い物に困っている人が多い。移動販売を通して地域の人と仲良くなり、地域の役に立つ働きができるようになり、障がいのある人たちが地域で働く機会が増えると考えた。
- 事業の現時点で採算は合わないが、過疎地流通の必要性の高まる将来においての事業成立の可能性は高いと考えている地域からの期待度も大きく、社会福祉法人の公益性という視点から考えてもやりがいのある事業であり、地域になくってはならない事業となっている。

事業概要

- 事業全体 過疎・高齢化が進む地域へ移動販売車がぎょうれつを組んで出向き、買い物の機会・コミュニティの場の提供を行う。
- 障害者の担う仕事 地域の高齢者への接客・話し相手、パン・焼菓子・惣菜等の製造、洗車など
- 地域への貢献 買い物が不便な地域の高齢者の喜びや楽しみが増えている。

成果

- 雇用・工賃向上の成果 地域に役立つことを続けていくことで、工賃向上につながるベースができつつある。
- 本人のスキル向上 挨拶やお客様対応が上達。人に必要とされることで自信につながり、働く意欲が向上し、生き生きと働くスタッフが増えている。
- 地域への貢献 「緑濃い 行列本舗 品決めて 音楽流す 過疎の里庭」90歳の女性から届いた喜びの手紙

今後の展望

- 地域に役立つ「ぎょうれつ本舗」を継続していくために、物販だけでなく便利と安心をお届けできるサービスを組み合わせしていく。
- 行きは商品を乗せ、帰りは高齢者が作った農産物を仕入れてくる。食材として活用し再びお客様へお届けし、循環させるしくみを作っていく。



事業所より一言

高齢化率28.8%、過疎化が進む高島市。スタッフは地域に役立つ「ぎょうれつ本舗」目指して、挨拶の練習や「商」の学習もしています。人から必要とされることが自信につながり働く喜びを感じています。

本事例の事業所紹介



社会福祉法人 虹の会
社会就労センターアイリス

〒 520-1521
滋賀県高島市新旭町北畑45

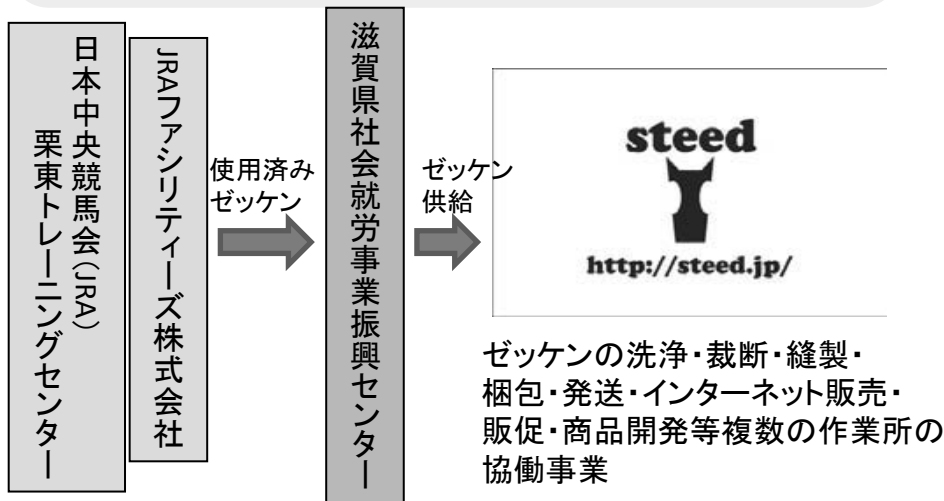
TEL (0740) 25-5315 FAX (0740) 25-5315

【カテゴリ4】企業との連携

競走馬使用済みゼッケンを活用し
複数の作業所でバッグを製造・販売“steed”

Point

- 複数の作業所によるブランディング
- 「廃棄される競走馬のゼッケン」
他では手に入らない商材の活用
- CSR、廃棄物削減、地域ブランド



事業実施のきっかけ、経緯

●日本中央競馬会（JRA）栗東トレーニング・センターのメンテナンスをしている企業に知的障害のある人が採用されたことがきっかけに滋賀県社会就労事業振興センター（共同受注窓口機能）が印刷やノベルティ商品を受注。そのなかで競走馬の調教で使用するゼッケンが毎年数千枚廃棄されることを知り、使用済みゼッケンをバッグに製造・販売することに。

● 複数の作業所が洗浄や縫製、印刷・デザイン等強みを活かして連携。

事業概要

- JRA栗東トレーニングセンターから廃棄される使用済み調教用ゼッケンを再利用して、滋賀県内の複数の作業所が、洗う、ほたく、縫う等分担してオリジナルバッグを製作しています。JRA栗東トレーニングセンターで使用される調教用ゼッケンは年間5000枚。その中から再生可能なゼッケンを使用。ゼッケンは馬齢により色分けされており、番号は各馬に割り当てられている番号と世界に一つだけのオリジナルバッグ。インターネットでの販売がメイン。北海道等の観光地でも販売。

成果

バッグ製造だけでは、縫製をしている作業所しか関われないところを、洗浄やほたく作業、デザイン等を分担することで多くの作業所による協働が可能。

2012年度の売上は約450万円と未だ小さいものの、商品アイテムの増強や宣伝広告等販売促進の強化により、さらなる売上アップが可能と考える。

今までは廃棄されていたものを、アイデア、デザインの工夫でバッグにすることにより、リユースを実践し、環境負荷低減にもなっている。

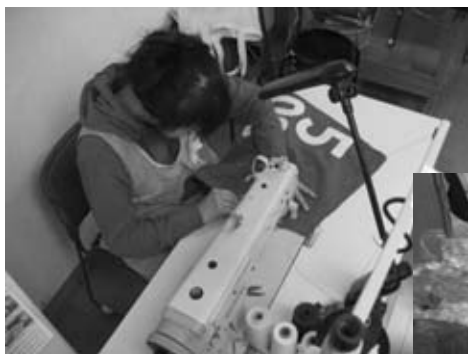
使用済み調教用ゼッケンということで、市場には他にない商材を使用。競馬ファンのみならず、多くのお客様が商品を求めてくださっている。

今後の展望

- 企業や他県の作業所とのコラボ企画。
- 工賃向上から雇用の創造へ。



<プロジェクト会議>



<製造風景>

事業所より一言

「steed」事務局を担っている障害福祉サービス事業所「びわこみみの里」です。以前、一般の縫製工場で働いていた聴覚障害の方を先頭にこの事業を進めています。今年は午年ということもあってか新しい層のお客さんが増え、販売を伸ばしています。よろしく！

本事例の事業所紹介



steed
<代表>
社会福祉法人聴覚障害者福祉協会
びわこみみの里内
〒524-0102
滋賀県守山市水保町165-1
TEL 077-514-9078 FAX 077-585-7144

【湖のくに生チーズケーキ

Point

～滋賀の酒蔵きき酒粕～

- 地域の名酒六蔵とのコラボレーション
- 商品の持つブランドの高さ
- 商品を各専門家チームでブラッシュアップし作業所だけではできなかった事を実現化した。



事業実施のきっかけ、経緯

● 地産地消をテーマにあゆみ作業所（東近江市）が独自レシピで発案した商品をより売れるよう、より高い工賃を目指せる製品にしたいとの相談が特定非営利活動法人 滋賀県社会就労事業振興センターにあり、専門家との協働で開発した。

● 発売後は地域の方・団体等の力をかり、多くの展示会や品評会に出展する事によりメディアからも注目されるようになり、高い評価を受け収益をあげる事となる。

事業概要

- 事業全体
商品の製造から販売。
- 障害者の担う仕事
製造全般
- 地域への貢献
風土をもって生まれた酒粕を利用し、県民が誇れる滋賀県ならではの贈り物としての定着化。

成果

- 雇用・工賃向上の成果
 - ・ この事業に係る利用者の工賃30%増
 - ・ 就労への意欲
- 本人のスキル向上
メディアに取り上げられたり、商品が売れている実感で、お給料を頂き自立がしたいとの夢を語っている。
- 地域への貢献
県民が誇れる滋賀県ならではの贈り物として、定着しつつある。

今後の展望

- 湖のくに生チーズケーキを軸とし、高工賃を支給できる事業とし、その先に雇用を作る事を目的とする。
- 世界にも通用するお土産で日本酒の発酵文化を国内外に広め福祉を元気に！海外進出への夢に向かってます。



事業所より一言

福祉と蔵元とデザイナーとのコラボ商品です
滋賀の自然と文化を守り、その魅力を大勢の人に伝えていきたいと思いま
す。この商品を通して、人と人との絆を束ね、障害のある人を雇用できる場
に発展させていきたい

本事例の事業所紹介

社会福祉法人 あゆみ福祉会

〒 527-0087

滋賀県東近江市平田町717-1



TEL 0748-23-6483

FAX 0748-22-7188



【三井寺環境整備事業】

Point



- 多様な方々の就労準備のための事業
- 貴重な観光資源の保全
- 観光資源の活用を通じた地域の活性化



事業実施のきっかけ、経緯

●各利用者の方々の「はたらき」を直接たくさんの方々に見て頂けるようにしたい、という考えがあり（雇用を考えて頂けるきっかけになる）、お客様のところに向く事業を作る必要があると思っていた。

●たまたま三井寺様が、広大な境内の整備についてのお悩みがあるとのことだったので、協議のうえ、試行期間を経て、市内を中心とした5つの就労継続支援施設B型でお受けさせて頂くこととなった。（2011年10月～）その後、ご本人のステップアップ、観光資源としての三井寺の活性化を狙い、春期・秋期に観光サービスを行う。

事業概要

- 事業全体
三井寺敷地内の環境整備及び観光振興
（就労継続支援施設B型5カ所分担当）
- 障害者の担う仕事
整備全般【抜根除草から機械（フロア、刈払機）整備まで】 及び、参拝のお客様への接客サービス
- 地域への貢献
貴重な観光資源である三井寺の保全と活性化

成果

- 雇用・工賃向上の成果
（本事業だけの成果とは限らないが）参加事業所である、就労継続支援施設B型2カ所より2名の就職者
全体工賃向上額＝約300万円
※今春繁忙期のアルバイトとして、5～6名の求人も頂いている。
- 本人のスキル向上
大きく個人差はあるが、職業準備性のピラミッドにおける【基本的労働習慣】【対人技能】の向上が見られる。多数の参拝客、僧侶・職員の皆様からの「作業に対する感謝や評価」のお声をその場で頂けるという要素が大きい。
- 地域への貢献
歩行が不便なお年寄り向けの観光サービスを展開し、年間約500名の観光客誘致。その他別紙参照

今後の展望

- 環境整備の範囲拡大（可能であれば重機の使用による、森林整備まで）による各参加者の職業能力向上
観光サービスの通年化による各参加者の職業能力向上
- 上記に伴う、各参加者ステップアップの「見える化」



事業所より一言

お客様と直接触れ合いながら仕事をさせて頂く事で、
一人一人の仕事に対する意識が高まり、
やりがいに繋がっています。
また、継続して訓練する事により技術がアップし、効率性を意識したり、
もっと質のよい仕事ができるように努力していきたいと思えます。

本事例の事業所紹介



社会福祉法人 美輪湖の家大津
瑞穂

〒520-0844
滋賀県大津市中庄2-2-11

(事業所写真)

TEL 077-525-9520 FAX 077-525-3290

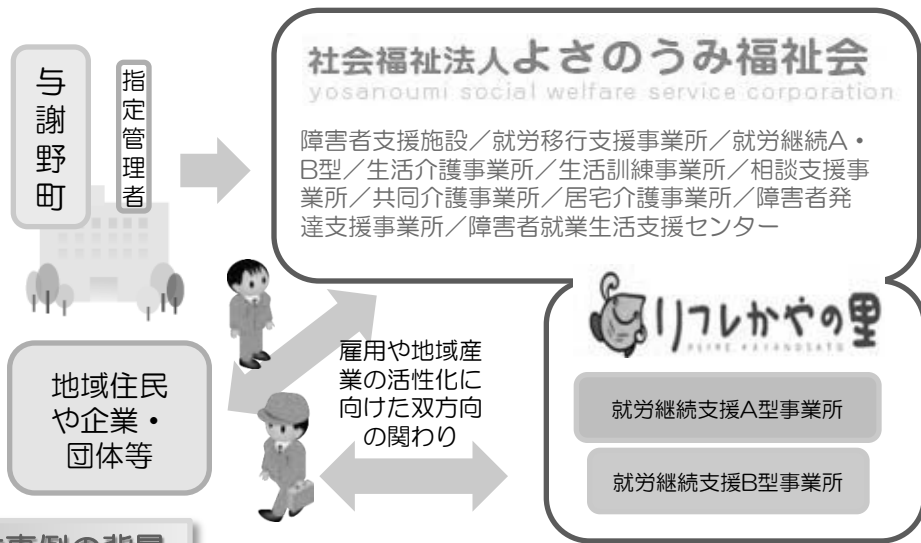


福祉がつなぐ地域再生への挑戦 町立宿泊施設「リフレかやの里」の管理運営

Point



- 地域連携（官民連携・農福産の連携）による地域再生
- 障がいのある人の雇用の場
- 一般就労に向けた就労支援の促進



本事例の背景

- 経営破たんして閉鎖に追い込まれたリフレかやの里の早期再開と地元との連携に対する地域の強い願いがあった。
- 30数年前まで障害者施設が何もない地域において、無認可共同作業所を立ち上げ、障害者の総合施設建設を実現し、様々な仕事おこしを地域と共に取り組むよさのうみ福祉会に対する行政の信頼と期待があった。

リフレかやの里ホームページ <http://www.kyt-net.ne.jp/refre-tango/>

事業概要

就労継続支援A型事業所

- 地元産農産物をふんだんに使った森のレストランのランチビュッフェが人気を呼び、リニューアルオープン後2年半で延べ約15万人を集客。
- 森の宿・森のレストランの事業運営を担当。障がいのある人、ない人がともに働き、最低賃金以上の高収入を得る体制が整備できた。

就労継続支援B型事業所

- 厚生労働大臣賞受賞が追い風となり、開設された農産加工所で製造する「丹後産果実野菜100%ジュース」、パン工房こだわりの地元産こしひかりの米粉と北海道産小麦粉で作る米粉パン、ピザをレストランや外部販売している。
- 地元農産物の販売加工を担うことで、地域産業の活性化・地産地消の一翼も担っている。また、利用者には月に約3万円という高い工賃を支給している。

本事業における効果

- 無認可共同作業所からの法人事業開始。これまでに幾多の試練（住民への理解、利用者への工賃向上、生活基盤整備）を乗り越えサービスを拡充してきた中で、更なる利用者の所得向上を図るために、法人自ら「雇用」に踏み切ることとなった。現在は地域住民の雇用や地域産業の活性化に不可欠な産業となっている。

本事例の事業所紹介



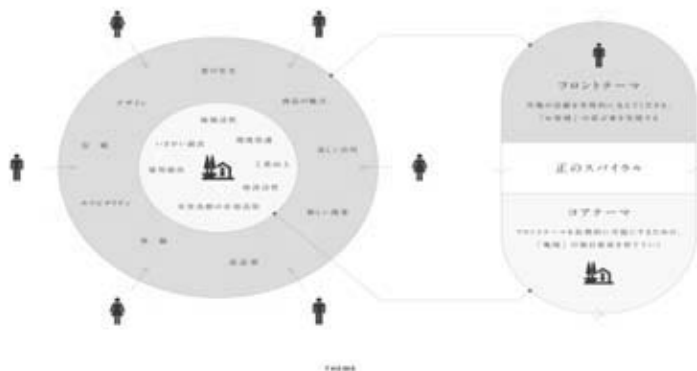
社福)よさのうみ福祉会
リフレかやの里
〒629-2421
京都府与謝郡与謝野町字金屋1730番地
TEL 0772-43-1730 FAX 0772-43-1733

かめおか作業所 ～地域の食文化をまもる佃煮屋～ 「地域へのお役立ち」から生まれた鹿肉の佃煮

Point

- 「何のために」の理念の掘り下げ→SWOT分析→
地域課題の把握→地域へのお役立ち → 鳥獣被害 →
鹿肉の活用→「地域の食文化を守る佃煮屋」
- 地元醤油メーカーや行政、猟銃会等地域とともに

フロントテーマとコアテーマ



事業実施のきっかけ、経緯

- 作業所内の食品加工グループで取り組んでいた「亀岡牛のしぐれ煮」の売上向上を目的に京都府工賃向上事業に応募。コンサルタントの「何のために事業をするのか」「作業所の強みは何か」「作業所緒の地域での固有のお役立ちとは何か」を問われ、事業を一から見直すことに。
- 作業所の地域での固有のお役立ちを考え、地域の課題として、鳥獣被害が深刻であることを知る。
- 鹿肉をつかった商品開発により、障害のある人の仕事おこしと地域へのお役立ちを→「地域の食文化を守る佃煮屋」へ

事業概要

地域の農家にとって、鳥獣被害は深刻であり、地域への固有のお役立ちとして、鹿肉を活用した商品を開発。「丹亀」というブランドを立ち上げ、地元の醤油メーカーや料亭の監修のもと、第1弾として鹿肉のなまふりかけ（山椒・生姜）を商品化。今後は地元の森林組合や商工会議所、酒造メーカーや醤油メーカーとの協働で鹿肉解体加工施設の整備等を目指す。

成果

- 法人として
法人理念や「めざすもの」の再確認によって、作業所としての方向性の再確認することができた。そのうえで、SWOT分析等の実施により、法人の強みや弱みを客観的に把握し、「地域へのお役立ち」を事業化。
- 地域への貢献
農作物への鳥獣被害という地域課題と、障害のある人の仕事おこしをマッチング。また、地域の企業や行政との連携の拠点としての役割を作業所が担う。

今後の展望

- 第2弾の商品開発をきっかけとしてさらなる地域連携・地域協働の創出。
- 地元の森林組合や商工会議所、猟友会等との協働で鹿肉解体加工施設の整備等あらたな働く場の創出。



事業所より一言

コンサルタントの方にアドバイスを頂きながらこの事業を進めてきました。しかしスタートラインに立ったばかりです。
これから「丹亀」が一流ブランドになるようにがんばります！」

本事例の事業所紹介



社会福祉法人 亀岡福祉会
かめおか作業所 丹亀

〒621-0033
京都府亀岡市

TEL

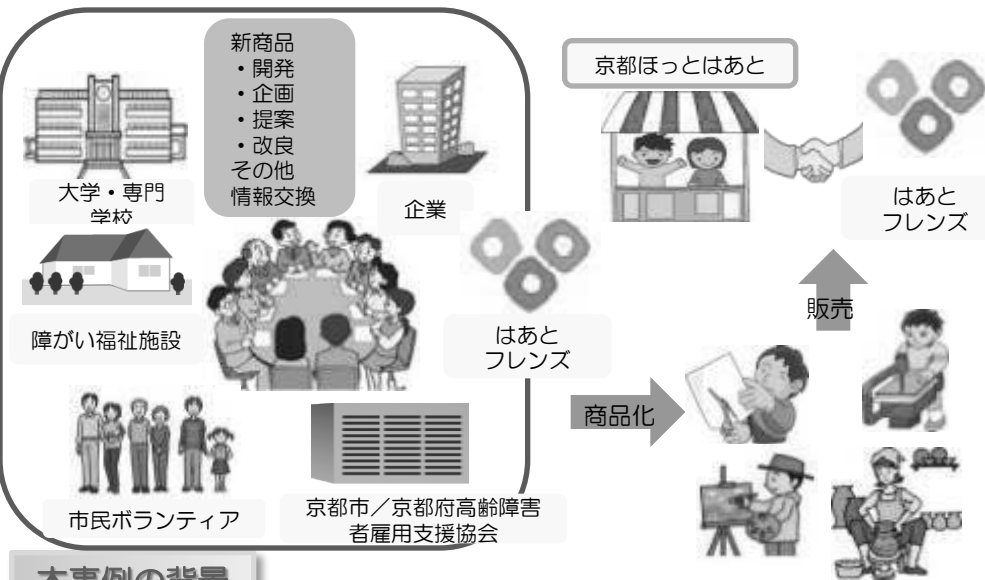
FAX

カテゴリ【4】企業連携

企業や大学などとの連携により、新たな商品を開発。障がい福祉サービス事業所で製造・加工などに関与することで売上の向上を目指す。

Point

- 障がいのある人が関わり作製した製品の販売と普及拡大
- 「京都ほっとはあと」や「新ゆめこうば推進事業」の他、「産官学」との連携により障がい者の社会参加を推進



本事例の背景

● 京都ほっとはあとセンターの商品定義に収まらない、「アート作品」等、障害のある人が様々な形で関わって製品化された物も「ほっとはあと」の仲間「はあと・フレンズ」として位置付け、ほっとはあと商品とともに、販路拡大や品質向上及び商品改良などのテーマについて、福祉サイドだけでなく企業や芸術系大学・専門学校・市民ボランティア等とともに連携して推進する、「障害のある人たちの多様な「働くかたち」を応援する市民協働モデル」として、また、京都ほっとはあとセンターの活動を補完する組織として、京都市主導で組織化し、京都府高齢障害者雇用支援協会に事業委託した。

本事例おける、それぞれの役割

はあと・フレンズ・プロジェクト

- 「京都ほっとはあとセンター」の市内エリアの取組強化策として、また、連携する企業や大学等を「はあと・フレンズ」とし、応援の輪を広げることで障害のある人に対する社会の理解を促進し、自立を支え社会参加を推進する環境づくりを進める。
- 工賃アップをはじめとして、障害のある人の多様な働き方を支援していくため、製品の開発・生産・販売の新しい事業モデルづくりをめざす。
- 障害のある人、福祉施設、企業、大学、市民ボランティア等の新しい連携・協働の「支え合うまち・京都」のかたちづくりを進める。

ダブルディ・デザイン×はあと・フレンズ・ストアセミナー

- 授産事業の振興や工賃向上に関する気づきを喚起し、今後の事業活動の活性化を促進するため、各方面から講師を招きセミナーを開催。

本事例における効果

- 産官学連携のプロジェクトとして「やつはしスティック」「2014年カレンダー」を企画し販売が実現した。
- リボンス ドリームボックスプロジェクトが、様々な洋服の生地をミックスし、組み合わせで作った布製品を出展。2013年度 グッドデザイン賞を受賞した。

本事例の事業所紹介



運営) 京都府高齢障害者雇用支援協会
はあと・フレンズ・ストア

〒600-8009

京都市京区四条通室町東入函谷鉾町80
番地 京都産業会館地階

TEL 075-221-8111 FAX 075-221-8118

はあと・フレンズ・ストア



CRAFT
CALENDAR
2014 カレンダー



はあと・フレンズ・ストア
(阪急四条烏丸駅前：京都産業会館内)

加盟店舗の利用者の方々が作成したクッキーなどとともに、芸術性の高い作品を数多く展示販売している。



注) はあと・フレンズ・ストアのホームページ・フェイスブックより引用しました

【カテゴリ4】企業との連携

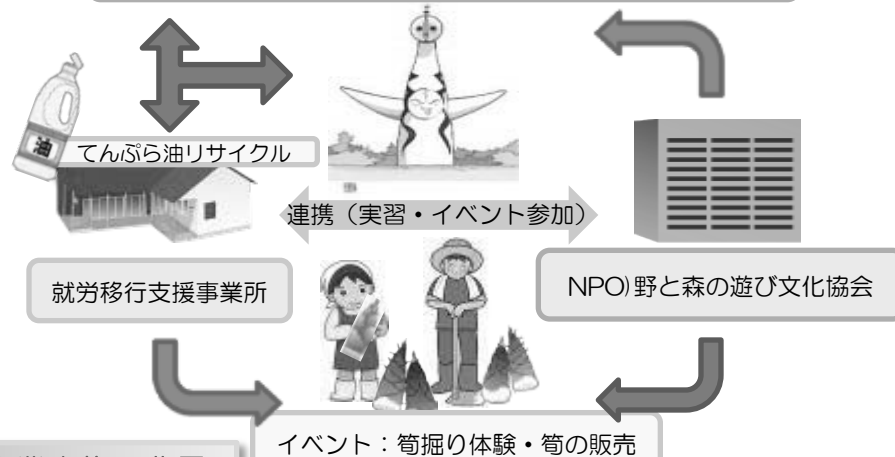
地域のNPO団体と共同で万博公園内の竹林保全とタケノコ販売を行い地域交流の場に参加

Point



- 公園の維持管理団体とのコラボレーション
- 利用者の工賃向上と地域住民との交流
- てんぷら油のリサイクル

地域交流の場：イベント（体力測定・農業体験 その他）



事業実施の背景

●環境ボランティアの育成や環境調査等を行う地域のNPO団体（野と森の遊び文化協会）が、竹林保全の一環として竹の伐採とともに筍を間伐し販売していた事業をさつき福祉会と共同実施することとなった。

●当所は、さつき福祉会利用者が同NPO法人事務所の清掃とともに筍掘りを体験的に行っていたが、地域住民参加型のイベントに定例的に参加する中で、竹の伐採清掃だけでなく、筍の掘り方を習得する利用者が出たことから共同実施と販売を行うようになった。

事業内容

たけのこの間伐と販売（4月初旬から3週間程度）

- たけのこの間伐と販売は、さつき福祉会の「就労移行支援事業所 みち」の利用者が参加する。広大な万博公園内の竹林の保全を目的に、竹の伐採とともにたけのこを間伐し、一部を地域住民に販売する。
- 利用者は、最大で15人程度が参加し、たけのこ掘りと販売を担当する。（売上金の一部は、さつき福祉会利用者工賃として還元）

てんぷら油のリサイクル（通年）

- 万博公園内の売店などで使用済みとなった、「てんぷら油」の回収と、バイオディーゼル用燃料として使用する油へのリサイクル作業を行う。

本事業における効果

●就労移行利用者を主な参加対象者としているため、筍掘りの技術習得よりも、販売技術（接客対応・金銭收受など）を高めることを期待し事業を行ってきた。結果的に、筍掘りや金銭收受についてはやや困難な場面が多いが、接客対応や商品説明等については、予想以上の効果が表れ、利用者の自信と社会性の向上が図れた。

●NPO)野と森の遊び文化協会の農業体験やスポーツ教室等のイベントに参画することで、地域のボランティアの輪と地域住民との交流が広まり、障がい者の就労に対する意識が高まってきている。

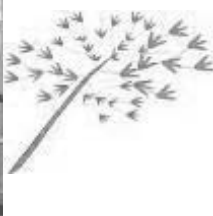
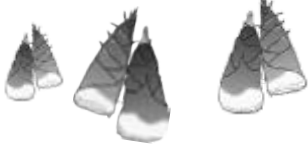
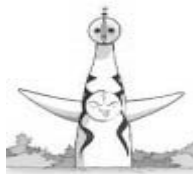
本事例の事業所紹介



社会福祉法人 さつき福祉会
〒564-0072
大阪府吹田市出口町19-1
TEL 06-6389-0614 FAX 06-6389-0627



田植え体験その他のイベントに参加



NPO)野と森の遊び文化協会 事務所などの清掃

【カテゴリ4】企業との連携

天然植物の香りを利用した自然療法（Healing & Health: アロマセラピー）と、お墓参り代行業の取り組み

Point

- 福祉的就労の場
- 企業からの技術指導
- 新たな職域の開発
- 事業所間ネットワーク



つながり
生活介護
事業所

アロマセラピー事業



高齢者施設
や保育所そ
の他に出張



技術等営業
ノウハウ指導

お墓参り代行業業



福祉サービス事業所間の
共同受注ネットワーク

企業

本事例の背景

●アロマ）事業所立ち上げに際し、利用者の福祉就労メニューに「他にない先駆的事業の導入を図ること」として、アロマセラピー事業の実施を決定。企業からの技術指導を受け、喫茶部門に併設したアロマセラピーサービスを開始した。

●お墓参り代行）核家族化や就業形態の多様化により、墓地管理が困難な墓地所有者に向けて、企業との事業連携の中で「お墓参り代行サービス」を共同企画。企業の事業経営ノウハウを基に福祉サービス事業所のネットワーク化に向けて平成26年度より事業を開始する。

事業概要

アロマセラピー事業

- 100%天然素材のアロマオイルを使用し、お客様の手や足にトリートメント施術することで、心地良い香り成分が全身をめぐり、癒し効果とともに心身の健康に働きかける。
- 生活介護事業の利用者の就業体験として、アロマ施術とともに接客技法の習得を目指す。

お墓参り代行業業

- おおさか地域創造ファンド重点プロジェクト事業助成金を受けた事業で、企画広報関連企業と連携し、「隙間産業」である「お墓参り代行サービス」を行う。
- 地理的条件や高齢などにより「お墓参り」が困難な墓地所有者に代わって、生活介護利用者とともに清掃・管理・お参りを行う。
- 短時間の清掃作業を行うことで、「仕事に慣れる」ことを目指すとともに、高工賃の獲得を目指す。

本事例における効果

- 「アロマ事業」においては、アロマ施術する利用者を指名するお客様が増えてきたことにより、利用者自身の意欲向上につながっている。
- 「お墓参り代行」は、平成26年度からの事業。お客様のニーズに応じて、市外エリアの墓地にも対応できるよう、他法人事業所の同事業への参入が必要。

本事例の事業所紹介



社福）つながり サニースポット
〒569-0814
大阪府高槻市富田町4丁目7-16
TEL 072-697-7080 FAX 072-697-7086

アロマセラピー事業

サニースポット内でのアロマトリートメントの様子



アロマメニュー

- ☆足のぬくもりコース
(30分 ¥1,000)
- ☆手のしっとりコース
(30分 ¥500)
- ☆のんびりくつろぎコース
(50分 ¥1,300)



お墓参り代行事業

作業手順：礼拝→作業前写真撮影→清掃（除草・花立等の掃除・墓石の掃除）→お花・線香をあげる→作業終了写真→礼拝（終了）



サニースポットの付帯事業（生活介護・就労継続B型）

喫茶 クローバー



弁当製造・配達



ものづくり青空工房



チャレンジドショップ



その他事業

- ☆ビルメンテナンスサービス
- ☆高齢者宅への配食、見守りサービス
- ☆飲食業者との共同メニュー開発
- ☆授産スイーツ共同ブランドの設立
- ☆共同浴場（銭湯）の清掃

等 . . .

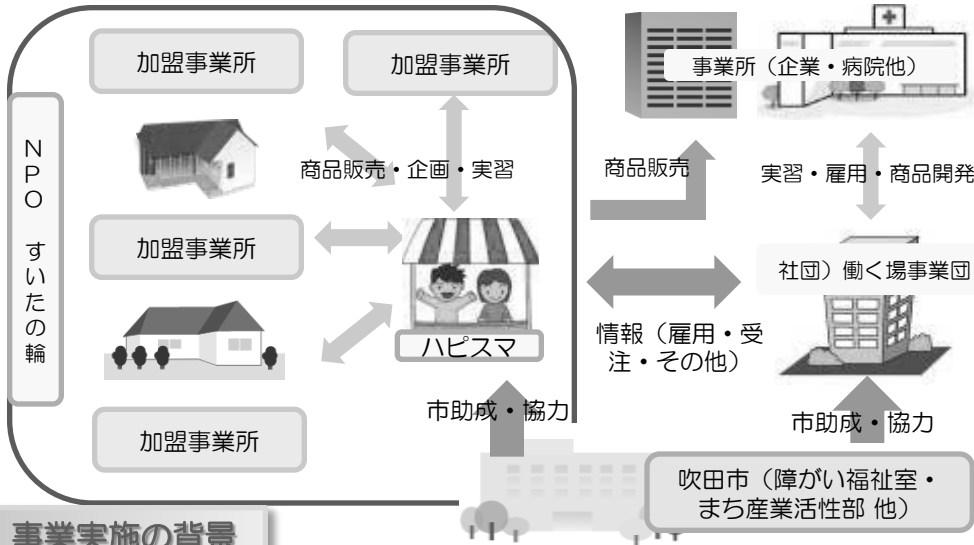


【カテゴリ7】共同受注システム

市内30事業所が加盟するNPO法人が各事業所で製造する自主製品の販売と共同受注を行う

Point

- 授産製品常設展示販売運営協議会から発展した常設店舗と加盟事業所の連携
- 5事業所が「共通レシピ」を基にクッキーを製造
- 30事業所の共同受注窓口



事業実施の背景

- 障がい者授産製品常設展示販売運営協議会の設立とともに、吹田市よりふるさと雇用再生基金事業費の助成を受け、障がい者授産製品常設展示販売事業を受託。加盟事業所自主製品の物販・共同受注を目的にJR吹田駅前で店舗事業Happy&Smileの事業を開始した。
- 吹田市助成終了の後、NPO法人すいたの輪を設立。現在、同NPOに吹田市内30事業所が加盟し各事業所の製品販売とともに大手スーパーの協力を得て「ええもんフェスタ」を開催。障がい者就労の啓発と工賃向上を目指している。
- 自立支援協議会工賃検討部会から、大量注文に対応できる体制整備として、各事業所で行うクッキーや印刷事業の企画統一化を図りHappy&Smileにて運営企画を行うこととなる。

事業概要

常設店舗販売

- 加盟事業所が製作する自主製品を集約し、JR吹田駅前常設店舗「Happy&Smile」で販売。加盟事業所利用者の販売実習の場としても活用。一般就労に向けた訓練の場としても活用。（障がい者雇用も行っている）

出張販売

- 大手小売店催事コーナーを借用した「ええもんフェスタ」での販売企画や、季節を通じた地域イベントでの販売とともに、老人ホーム、大学、病院、市役所での販売も行っている。

商品開発

- 吹田市のイメージキャラクター「すいたん」をパッケージデザインとし、プロのパティシエ指導の下、市内5事業所で共通レシピにて製造する「すいたんのおやつ」を企画。
- 北摂地域授産商品パッケージデザイン研究共同企業体への参画

本事例における効果

- 市キャラクターを使用できたことで商品や店舗の知名度がアップ、障がい者の就労にも貢献できた。
- 市内事業所の連携が強化できるようになった。
- 今後は、地元企業との連携を推進するために設立した「一般社団法人吹田市障がい者働く場事業団」とも連携し、雇用拡大に向けて情報発信する。

本事例の事業所紹介



NPO法人 すいたの輪

Happy & Smile

〒564-0028

大阪府吹田市昭和町10-20

TEL/FAX 06-6317-1231

吹田市イメージキャラクター「すいたん」と「すいたんのおやつ」



イズミヤ催事コーナーでの「ええもんフェスタ」



すいたんがHappy & Smile(店舗)に来店

大阪日日新聞H23.7.26 と 吹田市役所内販売

【カテゴリ8】その他

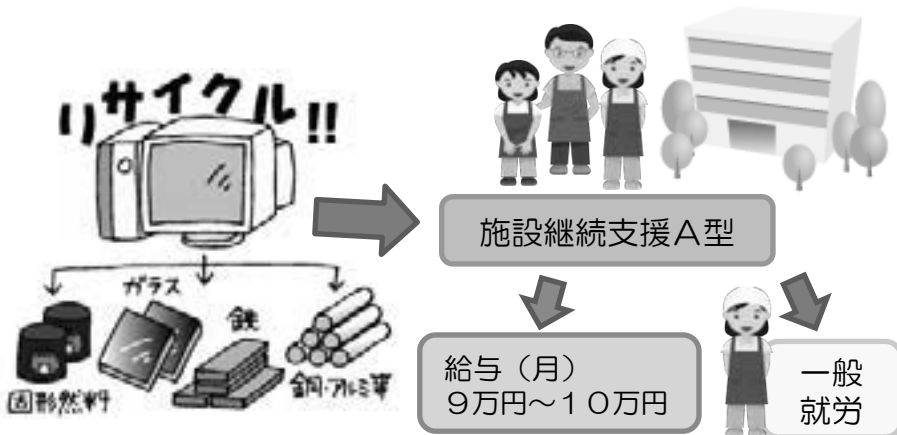
再資源化

就労の場確保

リサイクル事業で、就労継続A型事業を設立 重度障害者の就労の場の確保に貢献

Point

- 市場の大きいリサイクル事業でA型を設立
- 重度障害者の就労の場の確保
- 自信のついた障害者は一般就労へ



本事例の背景

- 現在、リサイクル/再資源化されている割合
金：20~25% 銀：28% 銅：13% 鉛：50% 亜鉛：17%
ニッケル：0.1% 錫：2% カドミウム：9%
(原典：2006 JOGMECマテリアルフローデータ メタルマイニングデータブック2006 JOGMEC)
- まだまだ、再資源化出来ていない鉱物の割合は高く、成長の余地があるとともに市場は規模も大きい産業である。
- 就労継続A型事業所の設置数は増加している。
(H25年8月 1770か所 国保連データ)
- 就労継続支援A型事業所の平均賃金額は下がっている。
(H23年度平均賃金 月額 71,513円 障害福祉課)

本事例おける、それぞれの役割

就労継続A型

- 重度障害者の雇用の場を確保する。
- 就労の場を確保し、最低賃金以上の給与が確保されるよう経営を行う。
- 一般就労が可能な利用者については、一般就労が、かなうように支援を行う。
- 利用者の就労能力が向上するよう、挨拶・返事等の練習・講習を行うとともに、交通機関の利用、買い物の経験等、社会生活を向上させるための支援も行う。
- パソコンの解体の他に電線の皮むきを行う。
(銅線を取り出すリサイクル作業)
- 個々の能力に合わせた労働時間の配慮等(原則として社会保険適応・週30時間以上勤務) 個別支援計画に基づき支援・指導をしていく

関連リサイクル企業

- 提携する就労継続支援A型事業所について、リサイクルの仕事を提供する。

本事例における効果

- 一般就労に進んだ利用者がある。
- 新たに、工場を新設し、雇用の場を増やしていく予定。

本事例の事業所紹介



ワークワーク大阪

〒578-0984

大阪府東大阪市菱江2-4-10

TEL 072-961-6043

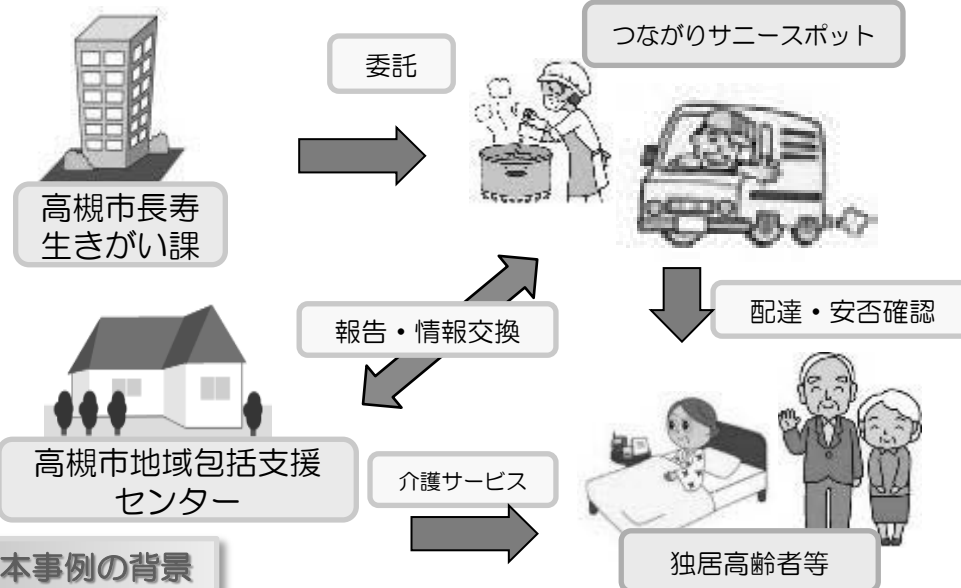
FAX 072-961-9359

カテゴリ【2】高齢者への買い物や配食サービス

心を込めて作った栄養バランスのとれた食事を高齢者宅に宅配する「つながり」

Point

- 安心・安全な栄養管理の行き届いた食事提供と安否確認
- 高槻市からの委託事業



本事例の背景

- 高槻市より給食サービスを提供する事業所に対し、高齢者宅への食事宅配サービス(安否確認)の実施に関する打診があった。
- サニースポット利用者の作業拡充、職域拡大のため、サニースポット内での厨房作業訓練を拡大するため、高齢者宅への食事の宅配サービスを開始した。

事業概要

給食配食喫茶訓練

- サニースポット利用者の作業能力向上と就労に向けた職域拡大のため、施設内利用者や職員のほかに外部からの弁当注文などを請け負い、調理補助業務や配達業務などの作業を行う。
- 施設内に喫茶部門も併設。サニースポットへの来客や一般客の憩いの場とともに利用者の接客訓練にも活用している。

給食配食サービス

- 高槻市から委託を受け、独居高齢者や心身の障がい等により自分で調理することが困難な高齢者(概ね65歳以上の方など)の自宅に栄養のバランスのとれた食事を、月～土曜日の週6回を限度に夕食を配達。その際、安否確認も行い、健康状態に異常があれば関係機関に連絡するなどの対応をしている。介護保険を適用されている人も低栄養状態を改善する目的で利用してもらっている。

本事例における効果

- 給食の食数が増えたことで、サニースポットの利用者の作業種が増え、利用者の作業能力と意欲の向上に加え、職業適性の把握がしやすくなった。
- 障がい福祉分野の機関だけでなく、地域の高齢者や関係機関との連携を図ることができ、サニースポット利用者で高齢の方のサービス連携がしやすくなった。

本事例の事業所紹介



社福) つながり サニースポット
〒569-0814
大阪府高槻市富田町4丁目7-16
TEL 072-697-7080 FAX 072-697-7086

高齢者宅配食サービス

独居高齢者や心身障がいにより、自力で調理が困難な高齢者宅に宅配



高槻市より委託：高齢者宅から注文→調理→宅配→体調や様子、安否の確認を行なう。地域包括支援センターと連携



喫茶 クローバー



その他事業

- ☆ビルメンテナンスサービス
- ☆お墓参り代行業（26年度から実施）
- ☆飲食業者との共同メニュー開発
- ☆授産スイーツ共同ブランドの設立
- ☆共同浴場（銭湯）の清掃

等 . . .



カテゴリ【3】企業から不要となった設備を譲り受け再利用

後継者不在のため会社を廃業。会社設備だけでなく取引先も引継ぎ、小規模作業所として事業を継続。現在は、多機能型事業所として運営。

Point



- 企業就労に向けた再チャレンジの場として
- 企業の受注をそのまま引き継ぐことで高い工賃を支払える体制を整えた

大阪市職業リハビリテーションセンター



NPOワークステージ

就労支援

山下紙器



矢田ステーション

生活支援



ライフステージ

地域の関係機関や施設その他



就職を希望する障がいのある人



生活基盤の危うい就労希望者



本事例の背景

- 障がい者雇用（1名）する会社社長の「廃業する」という一本の電話が、障がい福祉サービス事業所として再出発するきっかけとなった。
- 廃業に伴い、雇用している知的障がいのある社員（1名）を解雇。社長より「本人の再就職支援の依頼」を受けたが、負債を抱えた廃業ではなく、後継者不在による廃業であることから、そのまま無認可作業所として事業運営を継続したいことを交渉し、経営者の変更で事業を継承していくことのできることを得た。障がいのある社員は作業所の職員として雇用継続を行った。

事業概要

山下紙器作業所

● 零細企業として事業運営していた有限会社を、設備・取引先そのままを譲り受け（買い取り）、立ち上げ時は無認可作業所として、（のちに他法人の傘下に入り、小規模授産施設に事業変更）事業運営を開始。紙箱を型抜きするトムソン加工機を使った、本格的な紙工業事業を行うため、有限会社時の社長にそのまま留任を依頼。職員が社長より作業ノウハウの技術指導を受けた。

企業就労を目指す人のチャレンジの場

- 職業能力開発施設と連携し、企業のリストラ解雇や倒産による離職者の再チャレンジの場として活用。
- 「高い工賃を支払うことができたこと」とともに、企業の仕事そのままを引き継いでいることから、「一般の紙工場で仕事をしている臨場感」を演出することができた。

本事例における効果

- 一旦、他法人に所属したものの、事業方針が合わず独自で法人格（NPO）を取得。就労移行事業所として事業開始。また数年後には分場を設置し就労継続B型を立ち上げ「多機能型」として事業を再出発させることができた。
- NPO法人化したことで「働く」を支援する「ワークステージ」と「生活・住まう」を支援する「ライフステージ（グループホーム）」の2本立ての事業に拡大することができた。

本事例の事業所紹介



NPO) ワークステージ

〒547-0014

大阪市平野区長吉川辺2丁目8-58

TEL 06-6706-1022 FAX 06-6706-1125

WOK STAGE

WOK STAGE

特定非営利活動法人
ワークステージ



利用者とともに箱の組み立て作業を行う

高い工賃を生み出す「トムソン機」を使った作業

有限会社として経営していた時の取引先をそのまま引き継ぎ、高い収入を得ている。

ワイヤー止め機による箱作り作業の様子



箱の付属品(仕切り)組み立て作業の様子



トムソン機を使った作業



高い工賃を生み出す「トムソン機」を使った作業

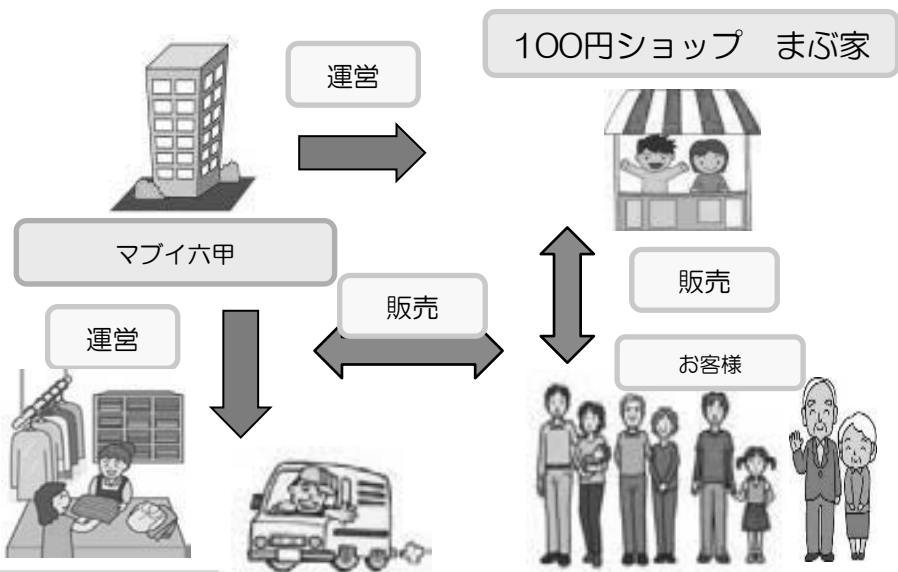
有限会社として経営していた時の取引先をそのまま引き継ぎ、高い収入を得ている。

カテゴリ【3】地元企業から不要となった設備を再利用

地域活動拠点施設から、まちへ、地域の方々へと、障がい者本人が仕事を拡げ、地域社会を豊かに耕す

Point

- 利用者の「販売」「接客」に対する適性確認の場
- 空き店舗を活用し「販売業」と「障がい福祉サービス業」の両立



本事例の背景

- 小規模作業所（無認可）「未来をひらく・マブイ六甲」として事業開始。障がいのある方の工賃向上と社会参加・進出を目標に、大手クリーニング会社の販売特約店の許可を取得。障がい者の福祉サービス事業所がクリーニング事業を開始。
- クリーニング業を行う中で、販売や接客に興味を持つ利用者がでてきたことから、100円ショップの事業を開始した。

事業概要

100円ショップ まぶ家

●“商店街を活気づかせたい”“障がい者が働く姿を、もっともっと地域の人に知ってもらいたい！”を目標に2013年11月よりクリーニング店の向かいに「100円ショップ・まぶ家」を開店。全商品単価を100円に統一することで、地域の方々に利用していただきやすく、また利用者にとっても販売業務に携わりやすくした。知的障がいのある方が、まずは接客・陳列・在庫確認の仕分け作業などを行うことで生活水準の向上にも活かせる場を目指している。

クリーナーズ マブイ六甲（クリーニング業）

●兵庫県の「2011年度・空き店舗を施設の出張所等として活用するモデル事業」の対象に選ばれ、2011年10月より灘中央筋商店街に、出張所として大手クリーニング会社の特約店としてクリーニング事業を開始。就労継続支援B型の利用者と共に、接客や洗濯物の仕分け、集荷車への積み込みや洗濯済み衣服のタグ付けなどの業務を行う。

本事例における効果

- 販売業の活動を通じて、利用者自身が業務の楽しさを実感。就労意欲も向上し作業分担も自然と個々の自己判断で自分の役割を認識できるようになった。
- 地域のお客様からは「一店舗」として認知していただき、商店街振興組合理事にも選出された。

本事例の事業所紹介



特定非営利活動法人) マブイ六甲
〒657-0835
兵庫県神戸市灘区灘北通4丁目6-10-2
TEL/Fax 078-871-1777



大手クリーニング会社の特約店契約：就労継続B型利用者とともに、接客、洗濯ものの仕分け、集荷車への積み込み作業や入荷作業をおこなう。



独自の商品入荷ルートで100円商品を入荷。就労継続B型利用者とともに、販売・陳列・接客などの業務を行う。



カテゴリ【8】その他：地域連携で障害者等の就労を推進

障害者就労継続支援事業A型で地域の若者就労支援機関と連携することにより、ひきこもりの青年等を一般就労として雇用

Point



- 公共施設の清掃、駐車場の管理、福祉施設の給食、レストランの経営、近郊野菜等の販売、パソコン修理などどこにでもある業態で全員に最低賃金通勤手当を保障
- 障害者以上の人数を一般雇用、品質の確保と引きこもりの成年等の雇用につなげる
- 公益財団法人からの施設設備の提供、ボランティアの支援など地域の連携が障害者の社会的雇用の賃金補填を担う

ソーシャルファームの目指すところ

住み慣れたまちから様々な理由で排除される人たちの存在



事業実施の背景

- 1995年阪神淡路大震災のボランティア活動から、福祉コミュニティを目指す公益財団法人プラザ・コムが設立され、ボランティア活動の拠点施設や高齢者・児童・生徒の活動交流施設が整備された。
- 残地4千㎡の活用について、3か年の研究会の成果として就労が困難な人々の働く場、一時的住居支援の場が財団により整備され、運営主体にNPO法人こむの事業所を設立、2010年4月から事業を開始した。

事業内容とその効果

公共施設の清掃・駐車場の管理

- 隣接の公共施設の清掃を受託し、リーダー1人に知的障害者2名のチーム制により円滑な業務が可能になる。
- 登校困難な生徒、ひきこもりの青年を支援する機関からの実習を受け入れたことから雇用につながる。
- 駐車場を完全機械システム導入でなく利用料の收受など人的要素を雇用の場としたことにより、脳性まひの人の就労が可能になる。

給食・レストランから配食サービスの展開

- 福祉施設の給食調理受託とともに地域の高齢者に等に利用しやすいレストランを経営し、障害者の雇用の場としている。
- モデル事業で実施した配食サービスを展開し、団塊の世代のボランタリーワークや若年性認知症の人たちの就労機会とすることを計画している。

近郊野菜等の販売・パソコン修理

- 近郊農家から無農薬・低農薬の野菜を仕入れ販売するほか遠隔地の地域振興グループと連携し、コメの販売や定期市を実施、イベントは登校困難な生徒の社会とのつながりのきっかけになっている。
- 重度の障害をもつ人がシステム開発やパソコン修理の業務をこなしており、自己能力の発揮できる職場を開発している。

本事例の事業所紹介



NPO法人 こむの事業所

〒665-0867
兵庫県宝塚市売布東の町12-9
TEL 0797-87-8330
FAX 0797-267834

清掃チームは仕事もクリーンナップ



レストランはみんな笑顔

おせち料理也大評判



新鮮な野菜が毎日・焼きおにぎりから就労へ・パソコン修理也大繁盛



ボランティアの支援が仕事をささえます



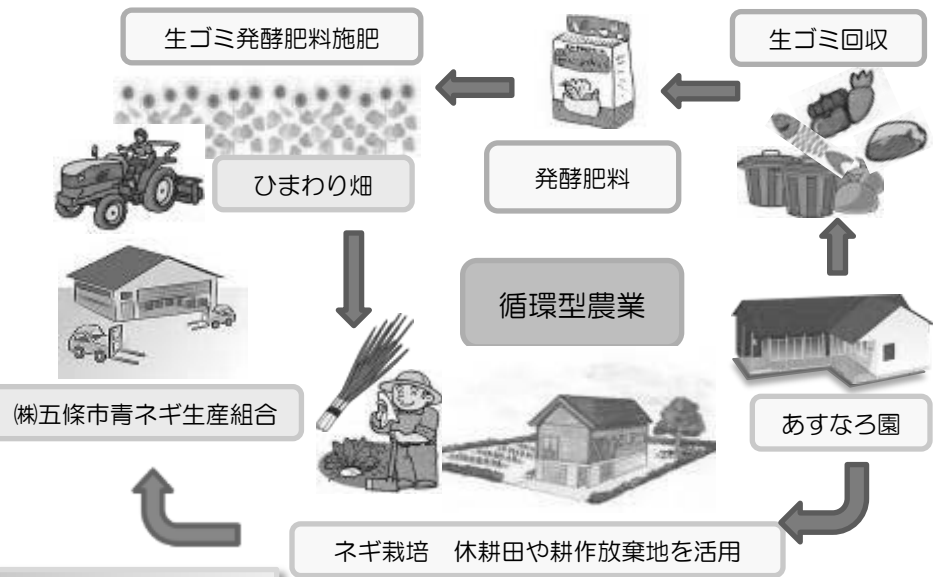
【カテゴリ1】農家や農業法人その他団体と連携

休耕田や耕作放棄地を活用し青ネギを生産。地域の農家とともに「生産組合」を設立し、加工ネギとして販売促進・販路拡大を図る。

Point



- 休耕田や耕作放棄地の活用した農業
- 生ゴミを発酵肥料としてリサイクル
- ひまわりの栽培（景観保護）と循環型農業



事業実施の背景

- 施設（あすなる園）の事業として、休耕田を活用しネギを栽培・販売していたところ、自治体より地域産業として青ネギを加工ネギとして販売することを推奨され、地元農家と共同で(株)五條市青ネギ生産組合を設立することとなった。
- 学校や公共施設等で排出される生ゴミを活用できないか？という自治体からの提案を受け、生ゴミを発酵堆肥として加工し有機肥料として再生する事業を開始することになった。

事業内容

ネギの栽培

- (株)五條市青ネギ生産組合に加盟する農家（約30軒）とともに施設で借り受けた休耕田を活用し青ネギを栽培。
- 播種～収穫までの農作業は、生活介護と就労継続B型の利用者が行っている。
- 収穫した青ネギは、(株)五條市青ネギ生産組合（障がいのある人も採用）で全て買い取って頂き、農産加工品（カットネギ）として販売している。

生ゴミリサイクルとひまわり

- 学校給食や自治体施設から排出される生ゴミを発酵させ質の高い有機肥料を製造。休耕田や耕作放棄地に施肥し「花いっぱい運動」としてひまわりを栽培。
- 地域の各種団体等とあすなる園利用者が共同で、休耕田への施肥からひまわり種植え付けまでの仕事を行う。また、あすなる園では開花したひまわりの花を搾油する作業も行っている。

本事業における効果

- ネギ生産だけでなく、生ゴミ発酵肥料を生産し、休耕田へ施肥し作物栽培する事で、循環型農業の確立と景観保護に貢献した。さらに、奈良県内の障がい福祉事業所の中でも高い工賃を支給することができた。
- 地元農家等と連携を図ることで、生産組合や自治体から、新たな事業の立ち上げに関する情報も得られるようになった。

本事例の事業所紹介



社福 五條市あすなる福祉会
あすなる園

〒637-0043
奈良県五條市新町3丁目-3-2
TEL / FAX 0747-24-2937

休耕田を活用したネギの栽培とひまわり園



あすなる園利用者を含む各関係機関がひまわり畑作りに参加



農業委員会による遊休農地の再生

BDFで動くトラクターでの耕起

地元婦人会参加の生ごみ堆肥化講習会を開催

生ごみ堆肥化セット販売



動き込んだEM生ごみたい肥

EM生ごみたい肥の動き込み

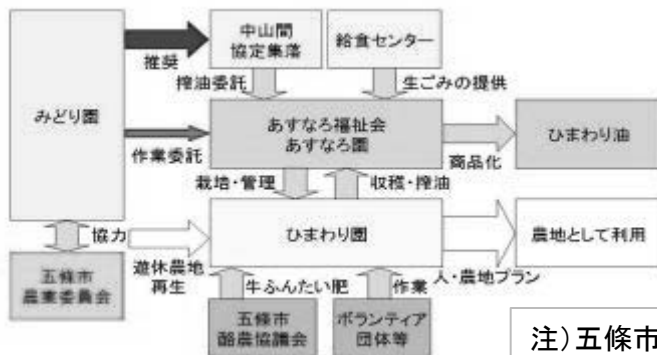
給食センターの生ごみたい肥化



酪農協議会の牛糞たい肥の散布

あすなる園とボランティアによる種まき

各機関連携により遊休農地の再生や堆肥化を推進



更生保護女性会による間引き

開花したひまわり

油搾り機での作業

注) 五條市ホームページ、五條市バイオマス利活用推進協議会資料より引用しました。

【カテゴリ4】高齢者の買い物支援など

「地域の高齢者」を「障がいのある人が支援する」として、地域に向けた新サービス事業を開始。利用者の日中活動の場と作業能力や意欲の向上につなげる。

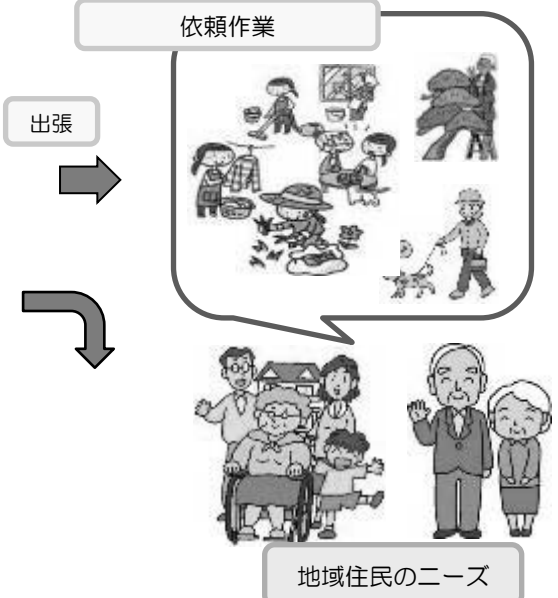
Point



- ほどらいこ（ぼちぼちいこう）の作業種を増やすため、地域の便利屋事業を立ち上げ。
- 高齢者だけでなく、一人暮らしや一般居住世帯に向けたサービス提供



グループホームのニーズ



事業実施の背景

- ほどらいこ（作業所名）の利用者が行う作業種の拡大に向けて、地域住民に向けたサービス提供を行うため、5年ほど前に便利屋事業を企画。
- 事業内容検討の結果、実施が決定。町内全戸住民（2000軒程度）に事業内容の案内チラシを配布したが、住民からは、ほとんど反響はなし。法人内職員の家族や身内から仕事を依頼し実施することで、クチコミの情報により、少しずつ受注が増加してきた。

事業内容

ほどらいこ

●就労継続B型と生活介護事業の利用者で、袋詰めなどの内職作業を実施。また、ならチャレンジ新聞（支援学校学生向け各種支援を行う団体）の折り込みや支援学校等へのポスティング作業も行っている。更に、法人グループホームでの調理サービスや他の福祉サービス事業所への弁当配達サービスも実施。

ほどらいこ お助け隊

- 地域の高齢者や一人暮らし世帯等からの依頼に基づき、数名のグループで依頼先に出向き作業を行う。
- 依頼内容：依頼者宅の草引き、掃除、日用品の買い物、花壇づくり、洗車、犬の散歩・・・など、見積もりを作成し注文を受ける。（シルバー人材よりやや安価）

本事業における効果

- 事業を企画し地域住民にチラシを配布したが、ほとんど反響がなく、止む無く法人職員宅の掃除等からスタートした事業だが、クチコミで仕事が増加。今では、三宅町内だけでなく、奈良県内各所から発注が来るようになった。
- 利用者が作業に出向き、作業の依頼主から「ありがとう」「ご苦労様」と声掛けされることで、利用者の「やる気」「生きがい」「自分の力で生きていくことへの自信」につながっている。

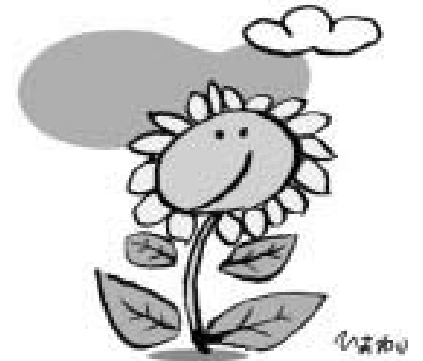
本事例の事業所紹介



社会福祉法人 ひまわり
ほどらいこ

〒636-0213
奈良県磯城郡三宅町伴堂850
TEL 0745-42-2919 FAX 0745-42-2921

ほどらいこ(内職作業と、ならチャレンジド新聞作業)




お助け隊作業の様子(除草・芝刈り・庭掃除・洗車・犬の散歩・グループホームの食事作り・・・)

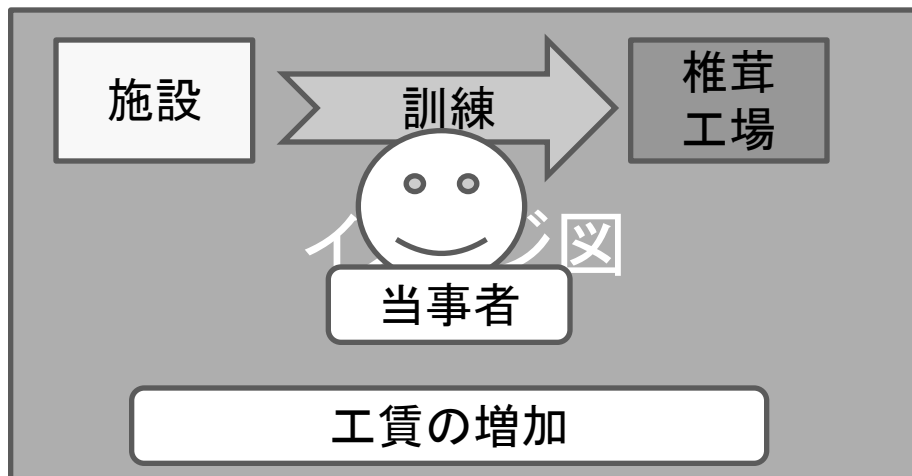


カテゴリ【3、4】

不要施設の活用、企業との連携

Point

 企業での未使用施設の再利用による椎茸栽培・販売。



事業実施のきっかけ、経緯

地元企業で未使用の施設(椎茸の菌床栽培)を賃貸契約し再利用する。販路は地元市場・個人販売などで売り上げ工賃を支給。

事業概要

施設職員が研修受講し、椎茸栽培についてのノウハウを得て当事者に伝達。菌床の入庫から育成・収穫、出荷販売を当事者とともに行う。

成果

野菜の育成による精神安定。
農業的な作業での流通の理解。
企業・地元関係者との連携強化
工賃の増加 など

今後の展望

安定した収穫と出荷。
販路の拡大。
利益向上。

椎茸 菌床栽培 出荷



事業所より一言

椎茸だけじゃなくイチゴもハウスでつくっています。

本事例の事業所紹介



NPO法人 絆

〒

和歌山県田辺市芳養町3216-19

(事業所写真)

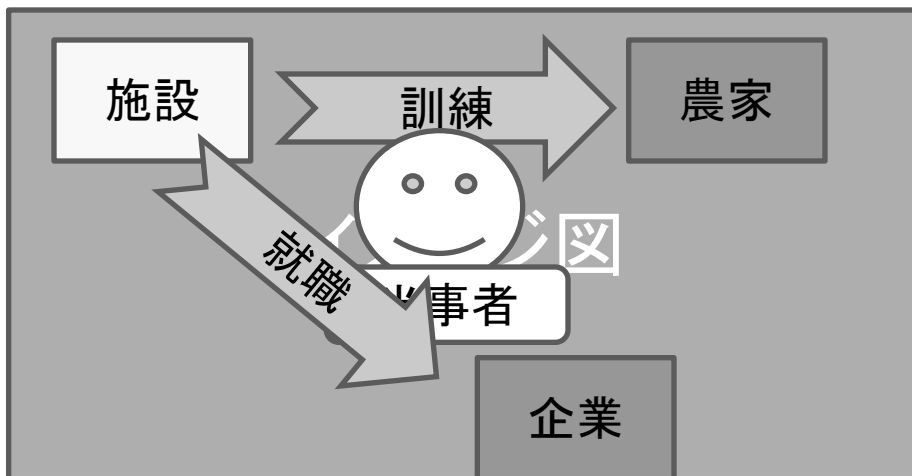
TEL 0739-26-5660 FAX 34-5677

カテゴリ【1】農業との連携

Point

施設外就労の活用

一般就労に向けた農事作業
地場産業での障がい者雇用促進



事業実施のきっかけ、経緯

当地域では基幹作業として梅栽培・加工がある。この業務に関して農事については後継者不足などの問題もあり高齢化での耕作ができていない農家に対しての作業提供を考えた。

事業概要

移行・B型を問わず施設外就労を受け入れ、訓練を提供。
繁忙期等に関しては請負での収穫作業等もおこなう。

成果

事業を通じて同業種への就職となったケースもある。
農業を通じての体力強化、収入を得ることでの就労意欲の向上。

今後の展望

成功ケースの増加により協力農家の拡充

施設外就労

梅取り 梅ひらい 加工補助



出荷補助



事業所より一言

地場産業の取り組みを始め、6年が経過します。開始始めは、当事者の体力不足、一緒に働く方の障害理解等の不安も多くありましたが、当事者のやる気、地域の方達の共生サポートもあり、働き続けています。仕事の安定を図る為、生活リズム、体調管理、金銭管理にも気を配るようになりました(笑)。

本事例の事業所紹介



(事業所写真)

社会福祉法人 やおき福祉会
すまいる作業所
〒645-0002
和歌山県日高郡みなべ町芝265-1

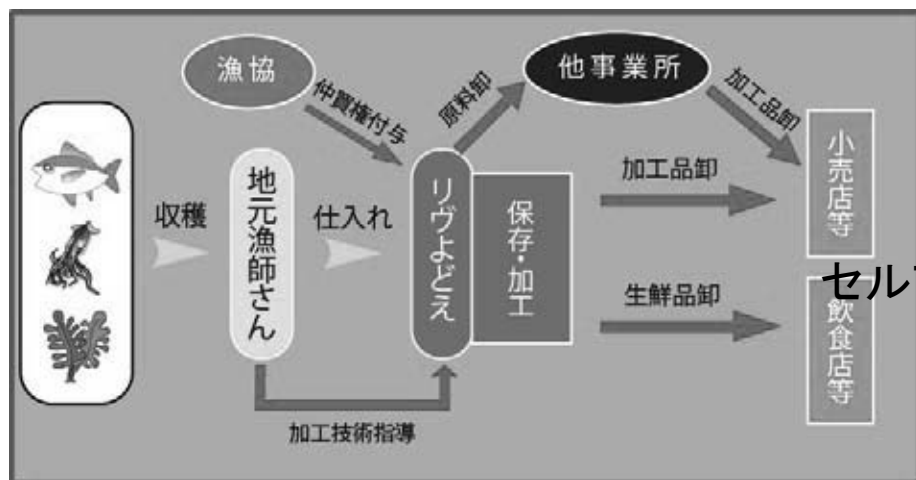
TEL 0739-72-5643 FAX 72-5843

【カテゴリ8】:水福連携

【漁師さんと共に届ける日本海の幸！】

Point

- 地元漁師さん及び地元漁協と当事業所の連携実施
- 地元水産資源の有効活用
- 大都市圏の食品販売企業、地元福祉事業所との連携



事業実施のきっかけ、経緯

- 3年前、地元漁師さんからの依頼を受け「わかめ干し作業」を手伝うこととなり、同時に伝統的な加工方法を教習頂いたこと。
- 鳥取県漁連より「仲買権」を付与され、魚介類の直接仕入れが出来るようになったこと。
- 地元漁師さんの加工のための人員確保と当事業所の就労の機会作りがマッチングしたこと。
- 県基盤整備事業により魚介類等加工施設を設置し、魚介類販売許可を取得したこと。

事業概要

- 地元漁師さんから直接仕入れた「わかめ」「いぎす」「天草」等の海草類を乾燥加工し首都圏、近畿圏の小売店舗への卸売り実施。
- 地元漁師さんから直接仕入れた鮮魚を首都圏の飲食店舗への卸売り実施。
- 地元漁師さんから直接仕入れた「白いか」「あじ」等を乾燥加工し首都圏、近畿圏の小売店舗へ卸売りを実施。また、他事業所へそれらを原材料として卸売り実施。

成果

- 利用者さんと地元漁師さん、漁協関係者さんが仕事を通じ触れ合う場を持つこととなり、障がい者就労に対する理解を得ることが出来た。
- 利用者さんが地元漁師さん、漁協関係者さんより直接教授される加工方法、技術により漁業関連就労に係るスキルUPを図ることが出来た。
- 利用者さんが原料仕入れ→加工→包装・梱包→販売に係る商流理解、それらに係る技術習得が出来、且つ、利用者工賃確保に大きく寄与した。

今後の展望

- 商品販売専用のインターネットサイトを構築して更なる販売増加を目指し、利用者さん工賃増加、地元海産物の販売強化を図る。
- 地元漁協の協力を得、漁港エリアに魚介類販売所を設置して利用者さんの就労機会の増大と、地元海産物の販売強化を図る。



乾燥板わかめ製造風景



漁港での白いか下処理風景



漁港での白いか事前乾燥処理風景



活動拠点「御崎漁港」



生ワカメ処理風景



首都圏出荷用「さわら」



首都圏出荷用「カンパチ」



製品「板わかめ」

事業所より一言

本事業に関しましては、地元漁師さん、漁協関係者さんのご協力、ご支援の下、新鮮な商材提供そして技術指導、更には御崎漁協内への作業施設をご提供頂き、「出来る限り最高の商品を消費者の方へお届けする」という当事業所と漁師さん共通の目標を達成することが出来ました。利用者さんも「海に触れる」「港へ行く」ということが仕事に加え楽しみになりました。関係者の皆様へお礼申し上げます。

本事例の事業所紹介

NPO法人ライヴ（リヴよどえ）



〒689-3424
鳥取県米子市淀江町中間692番地
<http://www.live-y.jp>

TEL 0859-56-5789 FAX 0859-56-5789

【カテゴリー4】農行福連携

福祉のちからを地域おこしに！「天女の梨クーヘン」！

Point

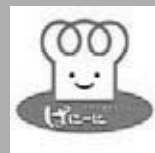
- 障害者施設の人的資源と設備の活用
- 未利用農産資源の活用
- 町おこしとの連携（農業＋行政＋福祉）



フクシノチカラで
町おこし



湯梨浜町
天女キャラクター



事業実施のきっかけ、経緯

● 二十世紀梨の収穫期はたったの3週間。その間選果場では毎日10tの廃棄があり、その廃棄にもコストがかかる。私たちはその話を聞いて、「どーにかせんといけん」。ばにーにが、障害者施設が、仕事として関われないのか？そして、「二十世紀梨を加工しよう」と自然に決まった。

● 弊社のりんごコンポートの製造技術を応用して、二十世紀梨で挑戦した。短期間しか食べる事のできない梨を、年間を通して提供できるような商品を作りたいかった。

事業概要

- 就労継続支援A型、B型、就労移行支援の多機能型作業所。株式会社として県下で初めてA型を設立。全国版「経営革新計画」承認。
- パン、菓子、ラスク、バウムクーヘン等の製菓・製パンに加え、ジャム、ケチャップ等農産加工品で原料製造から販売までを手掛ける製造小売業。
- ハーブやヨモギ等の自社農園。

成果

- 二十世紀梨を2t（25年度）購入。JAだけでなく、個人の梨農家との繋がりもできた。湯梨浜町以外の梨農家さんからも取引したいとの要望がある。
- スウィーツ甲子園鳥取県大会グランプリ受賞。湯梨浜町および鳥取県ふるさと納税のお返しの商品として採用される。イオンの全国巡回イベントの「物産オールスターズ」に選ばれる。
- 梨のコンポート加工、生地作り、包装にいたるまで、焼成以外の工程は利用者さんで実施されている。二十世紀梨のバウムクーヘンは全国でも珍しい商品になった。

今後の展望

- ギフト商品を強化し、商社やブライダルに対応することで、季節変動や地域性に影響されにくい、年間を通して安定して利用者の仕事と収入を確保できる体制にする。
- 理念の近い他の作業所と連携して、「農行福＋福」まで発展させたい。



そのままだと廃棄される20世紀梨



芯を1個ずつ取り除く



梨クーヘンの焼成

天女の梨クーヘン



事業所より一言

「障がい者施設だからこんなものしかできない」と言われたくない、障がい者を看板に商品を買いたくない。一流の商品を障がい者で作りたい。それが私たちの想い。それを形にしたものが今回の商品です。そういう私たちの活動が障がい者への理解に繋がると思っています。

本事例の事業所紹介



株式会社プレマスペース
(ぱにーに湯梨浜店・花見事業所)

〒689-0713
鳥取県東伯郡湯梨浜町旭27

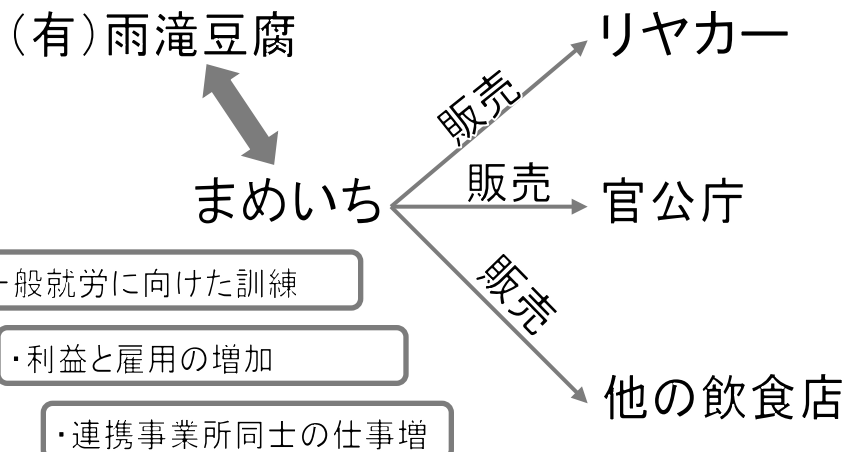
TEL 0858-24-4722 FAX 0858-24-4723

カテゴリ【2、4】高齢者支援、企業との連携 地域のお役立ちとふれあいを仕事に！

Point



- （有）雨滝豆腐さんの冬季の仕事の確保
- 利用者の方々の就労訓練と工賃アップ
- 買い物が困難な方々への救済



事業実施のきっかけ、経緯

●和貴の郷では、新たな就労訓練の場の検討と工賃アップを図っていく取り組みの中、冬季の仕事の確保ということで検討をされていた雨滝豆腐さんと意見が合い、鳥取市内に店舗を構えることとなる。（障がい者の就労に対して熱意のある社長）

●店を構えても長期的な売り上げに繋がる保障はない事から、豆腐やテイクアウトメニューをリヤカーで販売する事で、買い物が困難な方々へのためにもなればという思いから、リヤカーでの販売を始める。

事業概要

- 就労訓練の場、工賃アップ、仕事の確保ということで、平成23年12月12日に連携事業開始
- 平成24年8月より、和貴の郷単独事業になる
- 少しずつリヤカー台数を増やし、現在は5台稼動中。販売地域に定着し、地域貢献にも繋げつつ、利用者の工賃安定にもなっている。

成果

- 地域に密着し定着する事で店の知名度も上がり、豆腐の発注数が、以前の4倍となった。
- 連携により、（有）雨滝豆腐さんでは製造や販売が増えるとともに、新たな顧客の確保ができ、売り上げも知名度も増加。
- 和貴の郷も仕事が増えることで、収益が上がり、利用者の方々の工賃にも反映させることができています。

今後の展望

- リヤカー販売を行う中で、豆腐やテイクアウトメニュー以外の商品の問い合わせも多く寄せられる。そのことから、「御用聞き」ということで、お客様から豆腐以外で注文を受ければ、買い物代行して配達していくサービスを行っていく。

リヤカー準備



リヤカー販売①



リヤカー販売②



店舗外観



店内



事業所より一言

まめいちの店舗とリヤカー販売を通じて、接客の仕方、人とのコミュニケーションや仲間同士との協力の在り方を職員利用者関係なく、ともに考えられる職場です。個々が責任を持ちながら、働くことの楽しさ難しさも一緒に共有し、次に活かして行く事ができるよう日々努めています。

本事例の事業所紹介



豆腐と揚げだしの店『まめいち』

〒680-0833

鳥取県鳥取市末広温泉町623

TEL 兼FAX 0857-50-1112

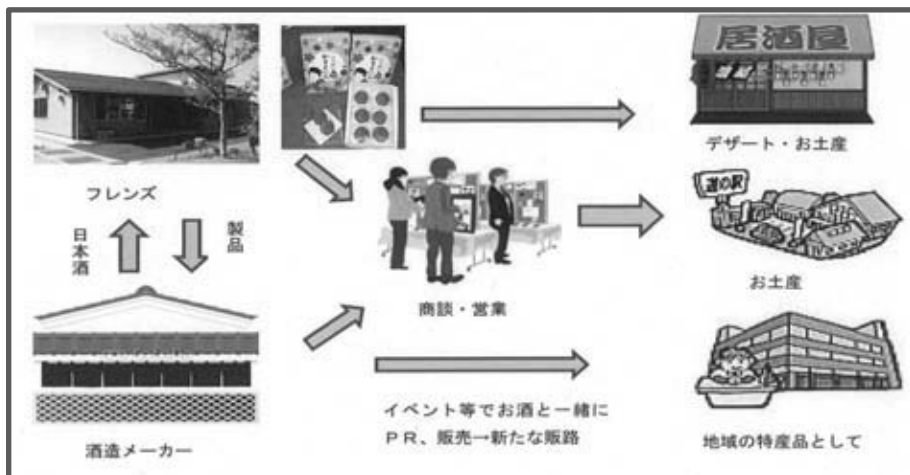
NPO法人就労支援センター 和貴の郷

カテゴリー【4】企業との連携

地域の発展を願い、伝統のカステラと老舗酒造メーカーの日本酒を合わせたふるさとの味としてのスイーツを開発！

Point

- 「ほろ酔いかすていら」の開発
異業種とのコラボレーションによる新たな販路開拓
(老舗酒造メーカーの酒と懐かしい故郷の味により、街の活性を目指す)
- 障がい者の雇用と収入増



事業実施のきっかけ、経緯

- 創業60年の老舗せんべい屋の事業を引き継ぎ、地域の文化としての「嫁せんべい」「学校せんべい」(校章の焼印)の伝統を守っている。引き継いだ中で製造中止だった「家紋カステラ」を復活させた。
- 鳥取県の「新商品開発補助金」を活用し、「ほろ酔いかすていら」を開発。ターゲットを明確にし、お土産店、居酒屋で販売している。居酒屋では、デザートとして業務用も取り扱ってもらっている。酒造メーカーもお酒以外の商品として販路拡大に繋がっている。

事業概要

- デザイナー、食品コンサルタント、酒造メーカー、民間企業家、酒造メーカー、振興センター、フレンズで開発会議とお披露目を開催
- フレンズ：かすていらの製造、販売
酒造メーカー：日本酒の納入、販売
- 取引先：JA直販店、道の駅、土産店、居酒屋等

成果

- フレンズ：新規の販売先が増えた
利用者にとっても新しい仕事に取り組める
- 販売店：新しい土産品ができた
- 酒造メーカー：減少傾向の日本酒の増に繋がる
お酒以外の商品として売り込むと同時に
お酒の販売増にもなる
- 居酒屋：デザートの材料としてお客様に提供できる

今後の展望

- 息の長い商品に育てたい！
- 地域の特産品として根付かせたい
- 商談会等に積極的に参加し販路拡大し雇用者を増やす

ほろ酔いかすていら



お披露目会の様子



新商品開発会議の様子



工場内の様子



焼き加減が難しい



焼き上がった家紋カステラ！に地酒「八潮」にたっぷり漬け込む

事業所より一言

- 異業種との連携により、新たな販路に繋がった
- せんべい屋と日本酒がこんな形で連携できるとは考えてもいなかった
- いろいろな可能性に今後もチャレンジしていきたいです

本事例の事業所紹介



株式会社フレンズカンパニー
就労継続支援A型事業所 フレンズ

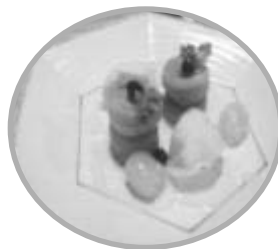
〒689-2205
鳥取県東伯郡北栄町瀬戸187

TEL・FAX 0858-37-5571

<http://friends-c.com>



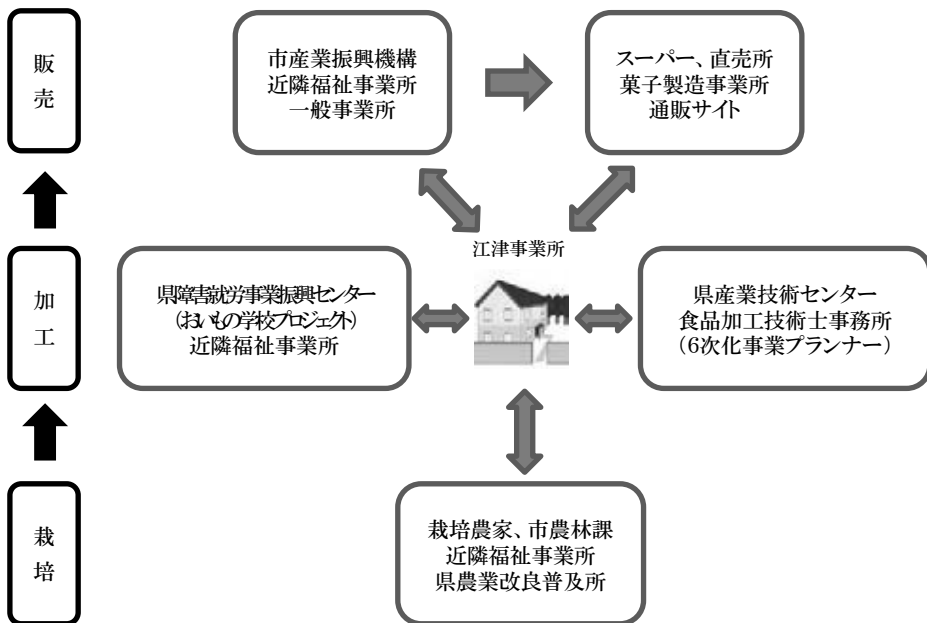
居酒屋の デザートとして



【連携によるさつま芋の総合化事業 (6次産業化)をととした事業収入の向上】

Point

- 農業の総合化事業（6次産業化）による収入の向上
- 公共機関、一般企業との連携
- 地域の連携事業所全体の収入向上



事業実施のきっかけ、経緯

- 農業従事者の高齢化により近隣に耕作放棄地が沢山あり活用が求められた。
- 農業活動は、利用者の方の多様な活動ニーズに対応できる。
- 農業での事業収入の増、冬期の活動場面の確保には加工活動が不可欠。

事業概要

- 耕作放棄地の整備とさつま芋の栽培
- さつま芋の収穫及び焼き芋、干し芋、ペースト加工による商品化
- 公的機関や一般事業所等多数の機関との連携による商品の製造・販売

成果

- 冬期の活動が安定し、収入増が図られた
- 売れる商品づくりや販路拡大を図ることにより多数の連携事業所が確保できた
- 農業を総合事業化することにより工賃向上が実現した

今後の展望

- 既設の設備を活用し、食品製造に関する企業との新たな連携が期待できる
- 常温長期保存が可能な新商品の開発を図り、収入増が図られる
- 利用者の方の活動場面の多様化が図られ、一般就労が推進される



さつま芋 植付け



芋畑の管理(灌水)



干し芋の袋詰め



製品「焼き芋」



製品「干し芋」

事業所より一言

事業所の収入増を図るには、地域の多様な事業者や企業との連携が深められ、関係者全体の収入増が図られることを目指した事業展開が必要です。そして、地域発展の一翼を担う福祉事業所となるよう努力します。

本事例の事業所紹介



社会福祉法人いわみ福祉会
ワークくわの木江津事業所

〒695-0011

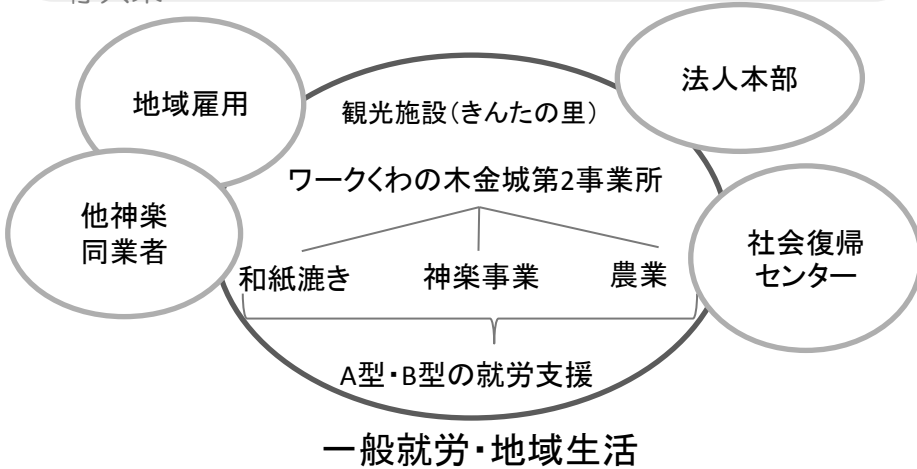
島根県江津市江津町1110-20

TEL(0855)52-2806 FAX(0855)52-2807

【地域と連携した伝統芸能“石見神楽” のものづくりと障害者支援】

Point

- 石見神楽に必要な衣装等の製作と安定供給
- 幅広い工賃・賃金体系による作業提供と障害者就労
- 地域雇用や地域同業者・地域資源との連携による共存共栄



事業概要

- 就労継続支援A型・B型サービスを行い、障害者の雇用と訓練の場を提供する。
- 石見神楽に必要な蛇胴・神楽面・衣装・道具等を親切・丁寧・適正価格で生産し、伝統芸能の継承・発展に貢献する。
- 地域住民の雇用を図り、子育て世代～働く世代のニーズを満たし、障害者との共生を自然体で行う。
- 地域の同業他社との連携を大事にし、共存共栄を目指す。

成果

- 神楽業界では最大手。観光・福祉・ものづくりの機能を果たす。
- 石見神楽にとどまらず、九州～北海道の神楽や伝統芸能、大衆劇団など幅広い顧客へ浸透している。
- 幅広い作業種に従事することができ、障害者の特性に合わせて作業提供を行う。
- A型利用者は社会自立ができる賃金支給を行い、B型利用者は1.5万円～6万円の工賃体系の中で目標に応じたサービス展開が実施できている。
- 社会復帰促進センターに作業の一部を委託する。

事業実施のきっかけ、経緯

●伝統芸能“石見神楽”が盛んな地域。観光振興としても近年、石見神楽公演は人気が高い。一方、伝統産業を支える職人は高齢化・廃業をたどる。障害者の特性を生かしたものづくりを通して就労や訓練、社会自立を支える作業種目として蛇胴づくり・神楽面・衣装製作・染物製作に着目した。

●石州和紙生産が盛んな地域。石見神楽の蛇胴や神楽面・衣装にはこうぞを原料とした強靱な和紙が使われてきた。当事業所で原料から一貫生産した和紙を使うことで障害者の就労と安定供給を目指す。

今後の展望

- 京都より仕入れる商品の一部を自主生産化（技術開発）し、障害者の作業種目として開発・提供したい。
- 石見神楽の顧客ニーズを満たし、さらに全国の伝統芸能等に必要な商品の提供に向け私たちのものづくり技術で貢献・発展させたい。
- 当事業所に必要な和紙全量生産（500万円規模）を目指し、さらに和紙工芸品の開発や全国の祭り等に必要な和紙供給を目指したい。



絢爛豪華な刺繍衣装



刺繍作業の様子



和紙あき



代表演目：大蛇

事業所より一言

地域のニーズを大事にし、障害者のよりよい就労支援に努めています。障害の有無や老若男女に関わらず、私達の事業を通して共生社会の一助となれればと思います。

本事例の事業所紹介



社会福祉法人いわみ福祉会
ワークくわの木金城第2事業所
〒697-0121
島根県浜田市金城町下来原
1541 - 8

TEL 0855-42-0039

FAX0855-42-0076

【就労継続支援A型事業所 協議会の取り組み】

Point

- 事業所間や関係機関との情報共有や連携
- 国や県に対して制度や政策についての要望等の働きかけ



事業実施のきっかけ、経緯

- A型事業者の交流及び勉強会をもって事業者及び職員のレベルアップを図り、障害者の自立と福祉の増進を図ることを目的として平成21年2月に設立

事業概要

- A型事業所間や関係機関との情報交換会や講師を招いての勉強会を定期的に行う。
- 協議会で提起された課題や問題点、制度や政策についての要望等を国や県等に対して働きかける。
- 新規事業所に対して開設から運営まで相談に応じ助言等を行っていく。

成果

- 特に農業関係のA型事業所が増えてきており、精神障害者の雇用の増加につながっている。また同業種間や県との連携により助成金等の情報を得る機会にもつながっている。
- 一般企業がA型事業所を立ち上げるケースが多く、福祉面での経験や情報に乏しいが、申請や障害者雇用について相談・助言・情報提供を行うことで、正しい運営につながっている。

今後の展望

- 法人化したことで今後も国や県に対し要望等により積極的に働きかけていき障害者雇用の促進につなげたいと考えている。

協議会定例会議



支援機関との情報交換会



厚労省専門官との意見交換会



本事例の事業所紹介：事務局事業所
NPO法人 ホープ就労生活支援センター



特定非営利活動法人就労継続
支援A型事業所協議会

〒700-0941

岡山県岡山市北区青江5-1-7

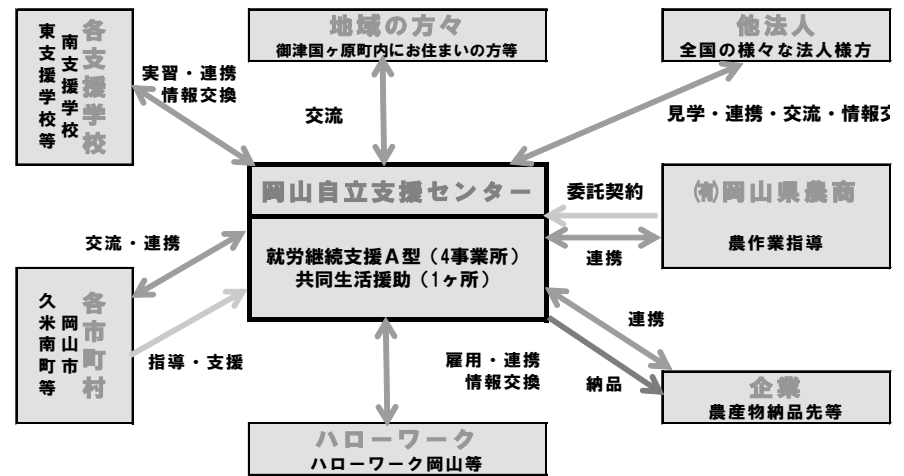
TEL 086-224-7677

FAX 086-232-1556

【農業と福祉の連携が生み出す可能性】

Point

- 農業・福祉・企業・地域との連携
- 積極的な社会参加・新たな取り組みへの挑戦



事業実施のきっかけ、経緯

- 農業と福祉が連携をすることで障害者の働く場の提供がより多く可能になり、更に障害者への理解を深めることができる。相対して農業にも新たな取り組みの一步になる可能性に繋げるため。
- 高齢・過疎化にある久米南町の誕生寺支援学校より「地元で障害者の自立を目的とした事業所」誘致の要望があった。その後、当法人に依頼があり協議のもと久米南町役場、誕生寺支援学校、地域の方々、企業と連携を図り就労支援A型事業所もっこくめなんの設立を行う。(2013.07)

事業概要

- 就労継続支援A型事業所紹介
平成21年4月～もっこくめなん（障がい者14名）
平成22年4月～もっこくみつ（障がい者21名）
平成24年7月～きびっ子おかやま（障がい者17名）
平成25年7月～もっこくくめなん（障がい者14名）
- 自作農産物の生産・加工・販売（20ヶ所に配達）
（青ネギ・ミニトマト・カットネギ・里芋等）

成果

- メインとなる農産物だけではなく様々な種類の農産物が生産可能となった。
- 生産・加工・販売・配達など、個々の能力に応じた幅広い作業の確保により利用者の満足度が得られた。
- 地域の活性化と労働人口の確保に繋がっている。
- 多くの法人が全国から見学や視察に訪れ、交流の輪が広がっている。

今後の展望

- 農産物の販路を更に増やすことで、障がい者の方々の賃金アップを図り、作業内容も充実させていきたい。
- 障がい者の方々のQOLの向上に貢献できるよう、日々努めて支援していくことが当法人の課題であり目標であります。



ミニトマトの収穫作業



赤い羽根共同募金活動



楽しく配達する利用者の様子



みんなで行う朝のラジオ体操

事業所より一言

今後より一層様々な取組みに挑戦し、農業にとっても福祉にとってもより良い環境作りができるよう努力していきます。

本事例の事業所紹介



特定非営利活動法人
岡山自立支援センター

〒701-2155
岡山市北区中原45-1

(事業所写真)

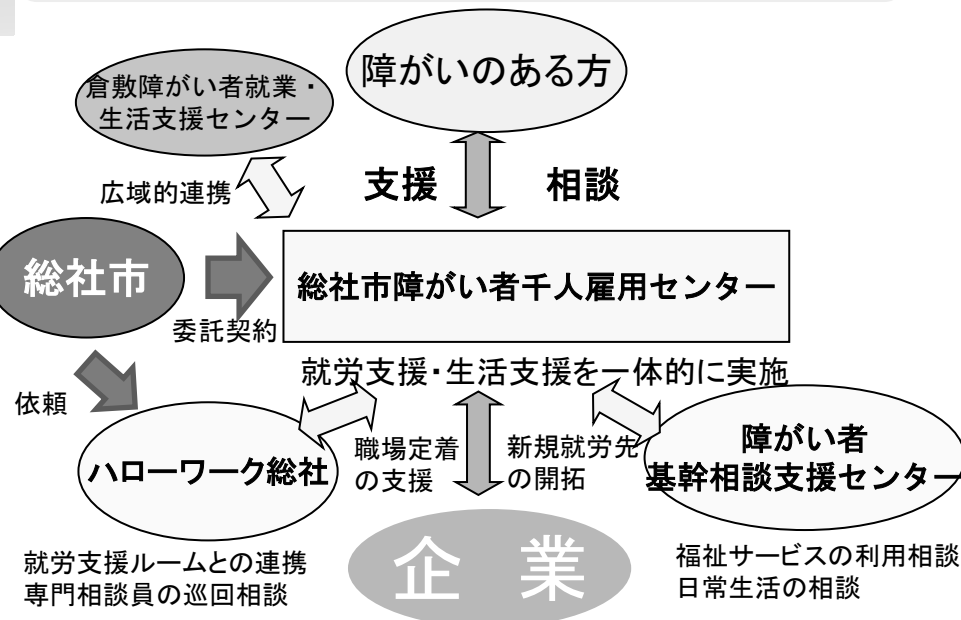
TEL 086-275-8333 FAX 086-275-0003

【総社市障がい者千人雇用センターの取組】

Point



- 自治体とハローワークの連携
- 単市事業としては全国初の試み



事業概要

- 総社市が平成23～27年度までの5年間で一般就労（企業等による雇用）と福祉的就労（障害者総合支援法に基づく就労）を合わせて1,000人の障がい者就労を目指す取り組み。
総社市の人口は、67,711人。（平成26年2月末）
- 障がい者と企業の橋渡し役として、新たな就業者を増やしていくとともに、就労中の障がい者の就業面・生活面について、障がい者・企業の双方をサポートする。

成果

- 積極的な広報・啓発の実施（市の広報誌など）
「総社市で福祉的就労事業所を立ち上げよう。」「うちの企業でも雇ってみよう。」という声もあがってきている。
福祉的就労事業所の増加 ⇒ 23年秋まで1つもなかった就労継続A型事業所が5カ所誕生。
- 独自の就職面接会の開催
市が主催となり、総社地区雇用開発協会、ハローワーク総社、総社商工会議所との共催により独自の就職面接会を実施。23年度より毎年開催。通算3回実施。

事業実施のきっかけ、経緯

- 岡山県総社市では、平成23年12月総社市障がい者千人雇用推進条例を制定し、総社市内での障がい者雇用を自治体自ら積極的に推進している。
- もともと地域活動支援センターⅠ型、基幹相談支援センターを受託していた総社市社会福祉協議会内に「総社市障がい者千人雇用センター」を設置し障がい者就業・生活支援センターと同等のサポートをおこなう。

本事例の事業所紹介



社会福祉法人 総社市社会福祉協議会
総社市障がい者千人雇用センター

〒719-1131
岡山県総社市中央一丁目1番3号
総社市総合福祉センター内

TEL 0866-92-8379 FAX0866-92-8284

市広報誌「広報そうじゃ」より



障がい者就職面接会の様子



ハローワーク総社「就労支援ルーム」での様子



センター内の様子



【農業での地域との連携】

Point

- 地域の高齢化による休耕田の活用による地域の活性化
- 請負作業による地域との連携
- 利用者の体力、持続力の向上



・販売 ・請負 ・小作料

事業所
(地域への貢献)
(収入のアップ)



地域
(高齢化)
(担い手不足)
(休耕田の増加)

・貸借地 ・請負依頼

事業実施のきっかけ、経緯

- 入所授産施設の作業として取り組む
- 平成23年度より就労移行支援事業所に作業を移管

事業概要

- 約7haの圃場 利用者10名、職員2名
ライスセンター、育苗センター、他大型農業機械
- 法人、他団体に契約販売
非常用備蓄米の確保
- 苗販売の請負
- 乾燥・調整、草刈、その他農作業の請負

成果

- 休耕田を活用する事により地域集落の活性化に貢献できる
- 請負作業を拡大する事により工賃が向上するとともに高齢化する地域の農業を支える
- 床土を独自にブレンド等によりコスト削減が図れる
- 地域から必要とされる(頼られる)



今後の展望

- 土壌調査・改良を行い品質向上を図り付加価値の高いコメを生産する
- 地域と、より連携を深めて地域全体の活性化につなげる



本事例の事業所紹介



(事業所写真)

社会福祉法人 みどりの町

〒729-1322

広島県三原市大和町箱川1470-2

TEL 0847-34-1010 FAX 0847-34-0976

優先
調達

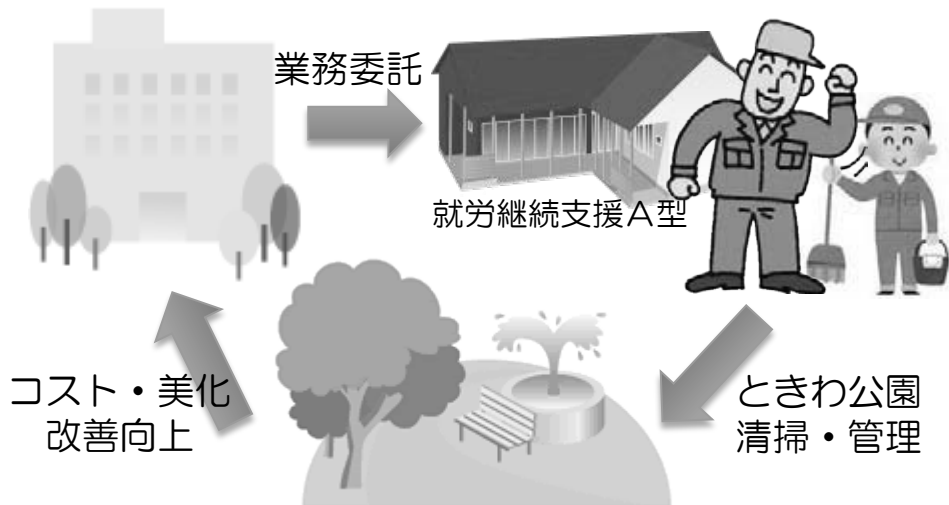
役務
清掃

市からの委託を受けて公園を就労継続支援A型が清掃。イキイキとした職場で公園もピカピカに

Point



- 市からの業務委託を優先発注
- 役務（清掃）の優先発注事例
- 清掃作業（役務）は知的障害者の忍耐強い作業特性を活かす職務の一つである。



本事例の背景

- ときわ公園では、全国に先駆けて、昭和37年から知的障害者を訓練生として受け入れ、園内での花づくりや水やり、草刈や清掃などを職員と一緒に行ってきたが、障害者自立支援法や優先調達推進法の施行などを受け、これまでの訓練生制度を雇用制度に発展させ、「環境・芸術・スポーツ・福祉」の融合した先進的なモデル公園を目指していくもの。

本事例おける、それぞれの役割や経過

宇部市ときわ公園障害福祉サービス

- 支援者に対する声かけについて、意欲を持ちつつ、安心して働けるような丁寧な指導を心掛けている。
利用者が安心して働くことで職場の話や家庭でもよく話すため、家族も安心して清掃作業に送り出せている。
- 仕事が習熟して多くの清掃作業がこなせるようになり、仕事の成果が非常に上がっている。

宇部市役所

- 「常盤公園の適切な管理運営を行う体制が見込める法人であること」など定める要件を満たす法人に、就労継続支援A型事業所として委託を行う。
- 障害者の働く場の確保のため、本、公園清掃業務を優先発注する。

本事例における効果

- 利用者の作業の習熟とともに、公園の美化が促進されている。
- 一般の事業者では入札を諦めるような仕事量をこなすことができおりコスト的にも、公園美化向上としてもメリットがある。

「宇部市ときわ公園障害福祉サービス事業所」



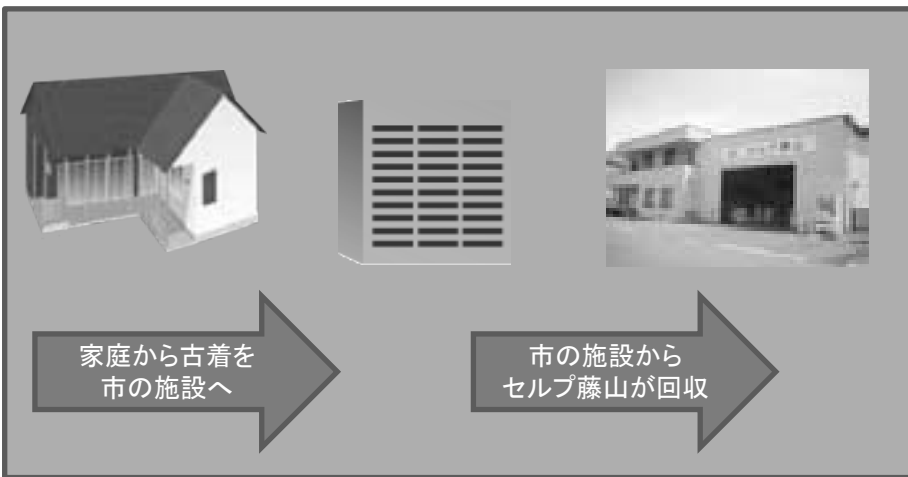
就労継続支援A型事業所
宇部市ときわ公園障害福祉サービス事業所
所在地
〒755-0003
山口県宇部市則貞三丁目4番1号

環境と福祉のBest Mix

市と連携し古着の回収を実践！

Point

- 市民へ環境保護と、福祉事業所の理解を促進
- 3年に渡る実践により、少しずつ地域に定着
- 古着の回収により、原料代を圧縮し工賃へ還元



事業実施のきっかけ、経緯

● もともとセルプ藤山の校区で月1回の不燃物等回収時に、古着を好意で頂いていたが、同市の廃品等採取防止条例が施行され、同校区より古着の回収について続けて欲しいと訴えがあり、市は古着を全校区をあげ、ふれあいセンターや市役所・図書館等30か所へ回収ボックスを設置される。セルプ藤山は市と契約を結び古着の回収業務を請け負うこととなった。また、必要に応じ個別（個人宅への訪問）対応を実施して高齢世帯への回収を実践している。

事業概要

- 市との契約によりふれあいセンター等30カ所に古着の回収ボックスを設置し、直接の連絡により古着を直接回収する。
- 活動を通じ、環境保護と福祉事業所のPRの実践している。
- 頂いた古着は、工業用ウエスの原材料として、仕分・製造・販売・配達を行ない、工賃への還元に充てている。

成果

- 年間900回以上の回収を行い、年々増加傾向にある。また、個別の対応を実践して周知度も年を追うごとに増える。
- 回収量も年間40トンから60トンあり、正規ルートでの買付に勘案すると400万～600万円分の効果に匹敵をする。ただしゴミの処分代としても増加傾向があり、回収のリスクも少しずつ増加している。
- 工賃への影響は大きく、収入が減少しても1,500円の増額ができ、また高価な原料の買付も可能となり安定した原料を備蓄（約40トン程度）ができた。

今後の展望

- 前年度対比で130%増の回収を実践し、更に古着の回収量も増加する傾向があり、少しずつ市民へ浸透しつつある事業である。
- 市役所とも連携を密に、市の環境・社会貢献活動の先端を担う事業へ成長ができる。



行ってまいります。
挨拶を心がけています。



皆さんからお預かりした
大切な資源です。

心を込めて配達
感謝を込めて回収



市民より寄せられた
古着(図書館)



オゾン殺菌をし
素材ごとに選別



商品化されたウエス

事業所より一言

愛されて全国500社・北海道から九州まで
25年に渡る南風荘のウエス
商品も50種類以上で、何処にもないものがここにある？
一般企業には無いQuality & Serviceをお届け致します。

本事例の事業所紹介



(事業所写真)

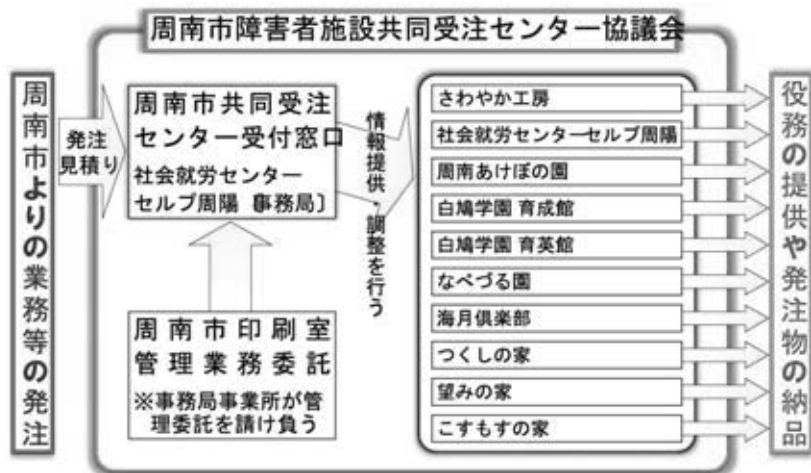
社会福祉法人南風荘 セルプ藤山
〒755-0808
山口県宇部市西平原4丁目2342-1
TEL 0836-38-6666 FAX 0836-38-6667

URL [藤山ウエス 検索](http://seip-f@cosmos.ocn.ne.jp)
E-mail seip-f@cosmos.ocn.ne.jp

【周南市障害者施設共同受注センター】

Point

- 官公需の優先調達窓口として機能
- 施設外就労の増加
- 工賃向上



事業実施のきっかけ、経緯

- 周南市地域自立支援協議会就労部会で協議
- ① 福祉的就労の底上げのためには、官公需の優先発注が有効
 - ② 官公需の優先発注を受けるためには、発注先の公平性を担保する必要がある
 - ③ 詳細は、福祉的就労を行っている市内の事業所が参集し協議してはどうか

事業概要

- 市内の福祉的就労を行っている事業者が参集した共同受注センターを設置
- 周南市等からの発注を共同受注センターが一括して受け、受注調整を行う

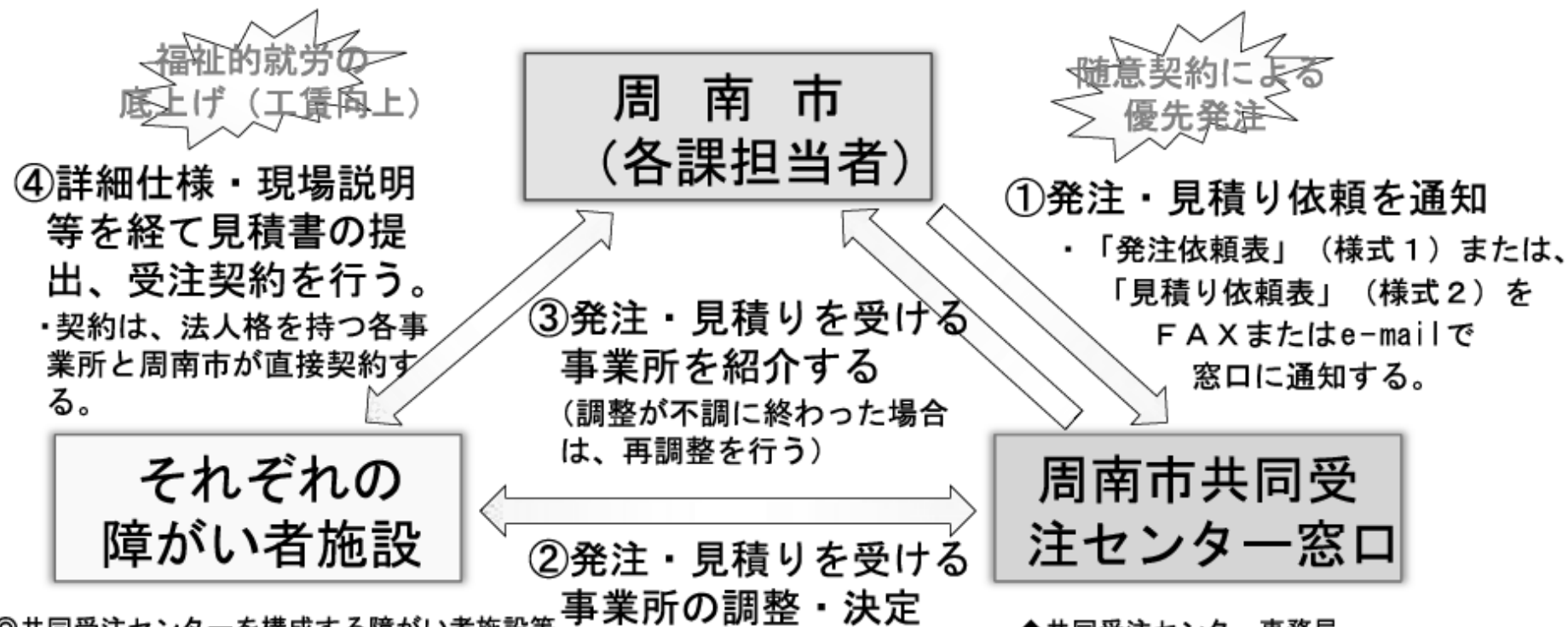
成果

- 窓口が一本化された事で、周南市や企業から発注しやすくなった
- 一施設では受注できなかった大きな仕事を、複数の事業所で分担する事で受注可能となった。
- 安定した単価での受注量が増えた事で工賃アップに繋がった。

今後の展望

- 官公需よりさらに大きな市場である民需の獲得
- 福祉事業所の社会的な使命に基づく目的意識の醸成

官公需業務の発注・見積りフロー図



◎共同受注センターを構成する障がい者施設等

さわやか工房	なべづる園
周南あけぼの園	海月倶楽部
白鳩学園 (育成館・育英館)	つくしの家 望みの家
セルフ周陽	こすむの家

- ・e-mailで全事業所に情報提供し、希望事業所は返答する。
- ・複数であった場合は、センターが調整する。
- ・既得権による優先受注あり。

◆共同受注センター事務局
社会就労センターセルフ周陽
担当：通山様あて
〒745-0823
周南市周陽2丁目8番28号
FAX：0834-28-7403
E-mail:shunan-c@selp.or.jp

カテゴリ【4】企業連携

【企業と連携し工賃UPを目指す】

Point



- 企業と連携し工賃UPを図る。
- 利用者の働く意欲の向上。
- 商品の安定供給、品質管理。

事業実施のきっかけ、経緯

● 同一法人施設で始まった「はんぷ工房 結」はバッグ等を製造販売の事業。当初、地元のバザーやイベントなどに出展するが、工賃向上までには至らない。

「障害者の仕事」を、知ってもらうために施設独自企画のイベントを2回開催し、計3,500名を集客し、地元では一定の知名度をあげる。しかし、安定した収入確保には至らなかった。

● 平成24年度に当施設に事業を移し、常設の店舗を構えることにより、今までの顧客に加え、新たな顧客を得ることができた。

この頃から、小売店を始め、一般企業からのノベルティグッズ等として当施設のバッグが採用され、注文が増えてきている。また、最近、地元の伝統芸である織物とのコラボバッグの共同制作を持ちかけられ、製品化にこぎつけた。

事業概要

- 倉敷帆布での手作りバッグの製造販売。
- 企業向けノベルティグッズ作成。
(お店や企業との共同制作バッグ)
- プリントバッグの作成。

成果

- 受注増にともない利用者の意欲が向上。
- 共同制作によって商品の幅が広がる。
- 企業とのコラボレーションによる知名度の向上。
- 商品を安定供給することで作業工程などを見直し品質が向上した。

今後の展望

- プリントバッグの展開による一層の企業連携強化を図る。
- 新作バッグ（プリント）など商品開発に取り組み店舗売上向上と共同制作の拡大を目指す。

はんぷ工房 結 販売店舗



店内、はんぷバッグ(製品内容)



はんぷ工房「結」のお店は、光あけぼの園内にあり、すぐ横に工房があります。お客様が来られた時は、みんなが作業している様子を見ることが出来ます。実際に工房内に入られ会話を楽しむ場面もありお客様と直接会話することで更に働く意欲向上につながっています。

連携企業紹介

Honda cars 光東



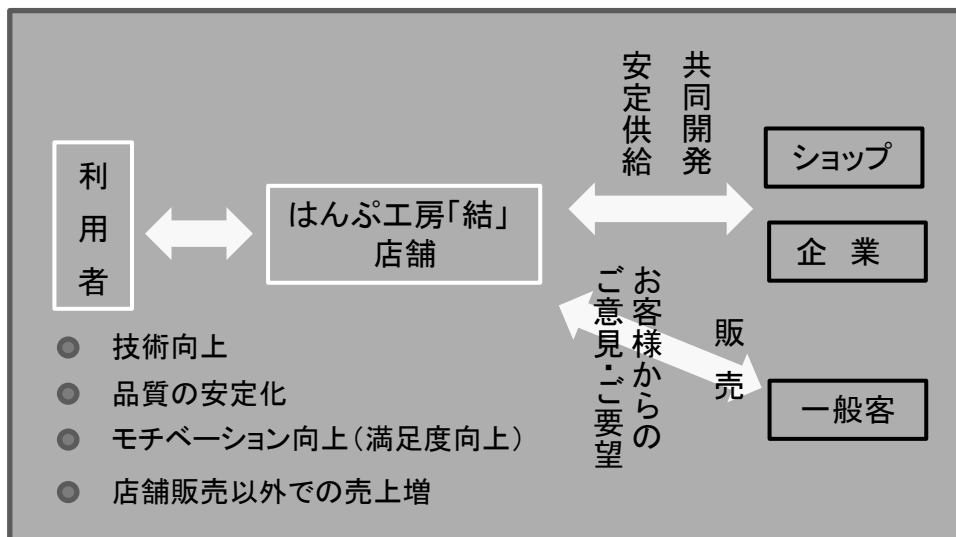
柳井縞



jams garden



yamaguchi



本事例の事業所紹介

社会福祉法人 大和福祉会
光あけぼの園

〒743-0046 山口県光市木園1918-1
TEL 0833-74-3333 FAX 0833-74-0011

【障害者が繋ぐ地域の暮らし“ほっとかない”事業】

Point

- 山間部の買い物難民へ買い物支援
- 高齢者世帯への見守り支援
- 障害者が地域社会への進出

過疎地域(限界集落)への移動販売

- ① 移動販売車による授産製品等の販売
- ② 見守りによる過疎地域の生活支援
- ③ 対面販売により社会参加機会の増加
- ④ 障がい施設との地域交流
- ⑤ 地域活動との協調

買物弱者対策への
新たな提案

実証実験

県の支援

- ・情報提供、利用調整
- ・インターネット等により事業紹介 等

移動販売

見守り

ニーズ把握

施設と交流

- ・授産製品
(お弁当、パンなど)
- ・生活用品(地元と連携)

事業実施のきっかけ、経緯

●人口減少と高齢化の進行により、山間の過疎地域の買い物難民と呼ばれる高齢者が増加している。そういった方々に、障害者が生活支援や見守り、話し相手として活躍できる場を生み、地域を支える主役となれるようにと、この宅配サービスを始めた。

事業概要

- 毎週2回(木曜日と金曜日) 宅配を実施し、見守りや状況の確認を行なう。
- 配達日の2日前に、電話での注文伺いや状況の確認を行なう。
- 宅配の実施人員は、職員1名と利用者2名で実施。

成果

- 交通手段がない高齢者の方には、家庭まで荷物を運んでくれるので、大変喜ばれている。
- 障害者のマナーが身につき、仕事にやりがいを持って取り組むことが出来ている。
- ひとり暮らしの高齢者の方には、障害者の方と話をするのを楽しみにしている方もおられる。

今後の展望

- 現在高齢化が進み、市内でも高齢者のみの世帯が増えてきているので、販売エリアの拡大を行なっていく。
- 施設の商品である食パンや弁当の販売を中心に、売り上げの増加を図っていく。



(山間地への宅配写真)



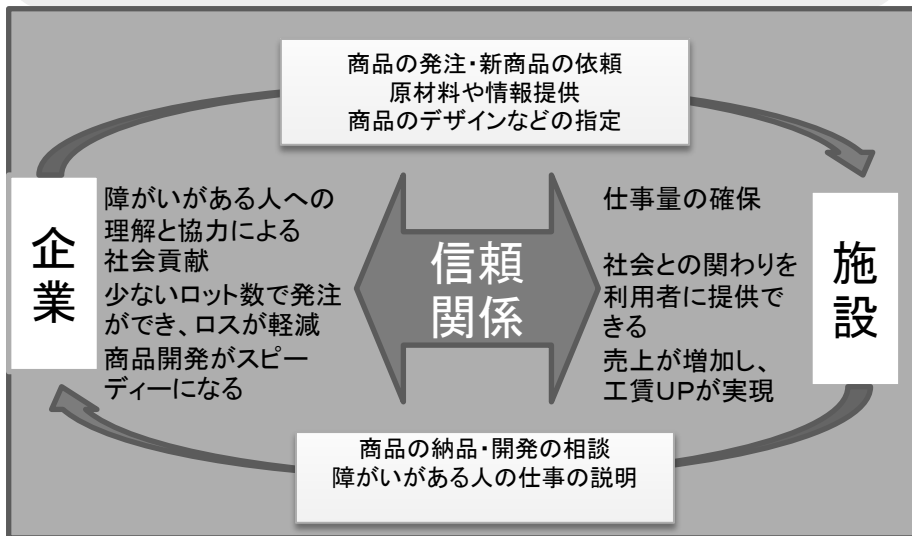
(宅配時の写真)

【企業コラボ商品による企業との連携】

就労継続支援B型事業

Point

- 企業と福祉のWinWinの関係の構築
- 企業戦略に沿った商品開発
- 企業の販路による販売数の確保



事業概要

企業（土産物卸店）の戦略に沿ったスピーディーな商品開発

アイスクリーム関連商品

地域限定商品数・・・小豆島・2種類 直島・1種類 徳島・1種類
淡路島・3種類

エリア全般・・・5種類

揚げ菓子関連商品

あげうどん・・・3種類 かりんとう・・・3種類

成果

- お互いに良好な関係を築き、商品開発にあたり、企業の売上UPにも貢献している
- 施設の商品力を上げ、事業所独自の商品にもそのノウハウを活かした商品づくりをしている
- 一般市場に合わせた製造現場の作業工程ができた
- 商品の原材料や市場の情報などを入手できた
- 一定の作業量が確保され、工賃増額もできた

事業実施のきっかけ、経緯

- 取引先で知り合い、名刺交換をした。その後、情報交換を重ねる中で、平成22年に開催された『せとうち芸術祭』に合わせたアイスクリームの商品化の相談がある
販売商品 『直島塩アイス』
- 県の助成事業に応募し、販売するために必要な助成を受けるなど、企業にもメリットがあった
- 地域限定の商品などの開発を中心に、コラボ商品が継続して発売されている

今後の展望

- 今後も良好な関係を継続して、商品開発・販路拡大に連携していく
- 企業戦略に合った商品を提供・提案していく
- 新商品の販売もいくつか決定しており、今後の売上の増加に期待が持てる

既存の商品を活かした商品

あげうどん・・・
梅塩
きなこ
コンソメ



地域に合わせて開発した商品

小豆島・・・オリーブ茶アイス 小豆島醤油アイス
直島・・・直島塩アイス
徳島・・・焼き芋アイス
淡路島・・・淡路牛乳もなか びわもなか ブルーベリーもなか



作業風景



平成26年3月販売決定商品

- 既存の商品を企業商品として販売
あげうどん（きなこ・コンソメ）
- アイスクリーム（和三盆・希少糖を使った商品）
（すだちシャーベット・
和三盆いちご・和三盆バニラ・和三盆黒蜜）
- 既存の商品の製造工程を利用した新商品の開発
例・かりんとう 和三盆・希少糖・希少糖オリーブ



継続して良い信頼関係を築くために、お互いのニーズをよく理解し、それぞれにメリットがある形で連携することが大切。商品づくりを通して、福祉以外の職種の方にも、障がいがある人への理解を深めていただけるように感じています。

社会福祉法人 やまびこ会
D○やまびこ

〒761-8057

香川県 高松市 田村町1010番地

TEL 087-868-6971

FAX 087-868-6972

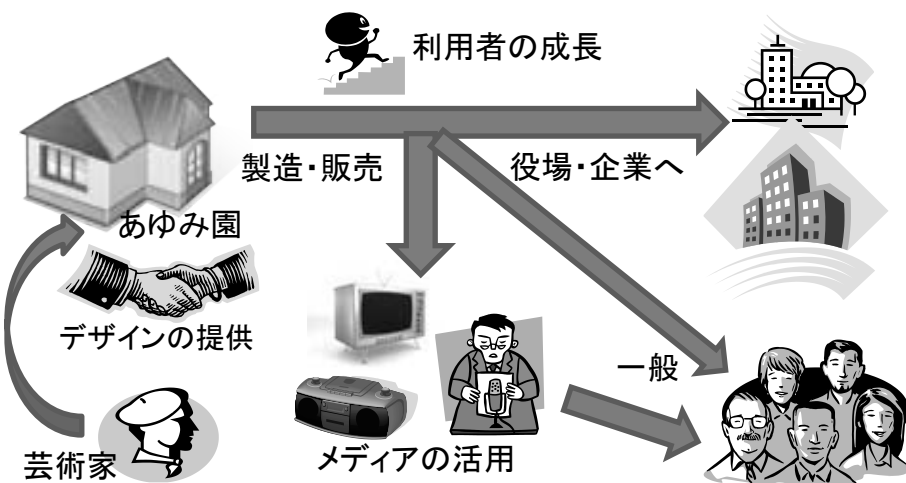


【地域芸術家と連携した 自主製作品の販売促進】

Point



- 世界的にも有名な芸術家(彫刻家)の方のデザインである。
- 地域のメディアをめいっぱい活用している。
- 工程によっては障害の重い方でも関われる部分が多い。



事業実施のきっかけ、経緯

当時、単価が低く、単調な作業が中心であった。相談を受けた芸術家から鑄込みの方法であれば、同じものが量産でき、利用者の仕事としてうまくマッチするのではないかと提案いただいた。

事業概要

- 法人スタート以来20年間続いている。毎年、原型となる作品をいただき、それをもとに石膏型を作り、あゆみ園にて製造販売している。

成果

- 年間600～1000個(@3000円)の売り上げ、自主製作品の中では断トツで、20年間当園を支えていただいている。
- 地域の方にも、たくさんのリピーターがおり、毎年楽しみにされている。
- 鑄込みの方法は、難しい技術ではあるが、繰り返すことで、利用者は干支づくりのプロに成長。役割と自信をつけ、良い訓練となっている。

今後の展望・課題

- 12子も二週目になり、全盛期に比べ半分ほどに売り上げが、落ち込んでいる。新しい顧客の獲得と販路の拡大が課題。
- 瓦焼の干支のこだわらず、白磁のランプシェードやお香入れなど、長年培ってきた鑄込みの技術を使って、可能性を広げられないか、試行錯誤中。



石膏型に粘土を流し込み、型が水を吸い込み、外側が乾けば中身を捨てる。 → 型抜き → 焼き → ワックスがけ



20周年モニュメント (速水史朗氏作)

讃岐の独特のおにぎり山をイメージしたとてもあたたかいデザインのシリーズになっています。ひとつひとつ丁寧に作り上げています。

社会福祉法人 香川県手をつなぐ育成会
あゆみ園

〒761-8058
香川県高松市勅使町
398番地18

TEL087-866-0111

FAX087-866-0670

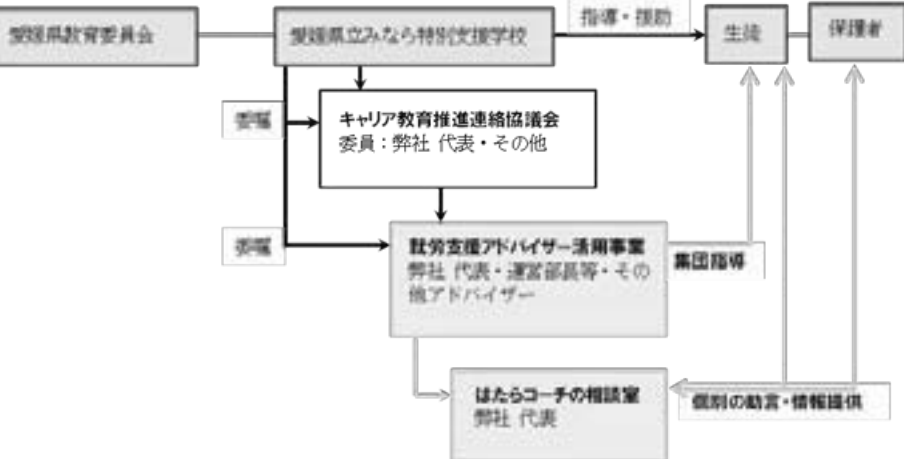


カテゴリ【5】学校との連携

【特別支援学校や自治体との就労支援】

Point

- 先生とアドバイザーが一体になってキャリア教育を推進。
- “はたらコーチ”が、実習の事前に不安や疑問に答え、事後に実習のポイントを解説して、実習効果が高まる。
- 保護者も、卒後の子どもが働くイメージがもてる。



事業実施のきっかけ、経緯

- 進路担当の先生は実習先対応で手一杯。保護者は進路の情報不足。生徒は自分の適性が分からない。という声を聞き、幾人かにヒアリングすると同意見で、就労支援の潜在的課題だと感じたことが背景。
- その課題解決のためには「キャリア教育」の特別支援学校での導入が有効と考え、弊社代表が、ボランティアでキャリア教育のお手伝いをさせて頂いていたことがきっかけ。
- 愛媛県教育委員会が、特別支援学校キャリア教育推進事業の一環として2012年から「就労支援アドバイザー活用事業」に！

事業概要

- 障害者雇用に取り組んでいる事業所の関係者等を就労アドバイザーとして招へいし、職業現場の視点から、次のような助言等を得ることにより、指導内容及び指導方法の充実を図る。
 - ①教職員研修における講義や、作業学習、授業、現場実習、校内実習に関する助言、または進路開拓や事業所訪問に関する助言。
 - ②早期段階から生徒・保護者に対する卒後の進路支援。

成果

- 就職率が1%から2%へと倍増（2013年度実績）。
- アビリンピック喫茶サービス部門にて2大会連続全国大会進出（2011・2012年実績）。



それぞれの生徒が「未来の働く自分」を実感し始めた。

今後の展望

- 働く先輩（ロールモデル）を今後も増やせるよう、学校・PTAとしっかり連携したキャリア教育を一層行い、生徒全体の底上げを図る。
- 中小企業を中心に、実習先を県下に広げるために、経済団体との連携の下地づくりを行う。



↑ 福祉的就労・入所施設利用に関するご相談。



↑ アビリンピック全国大会に向けて、精一杯、練習中！ ↑



↓ 一般就労・学校生活に関するご相談。



事業所より一言

【学校から社会へ！】

健常の若者にとって当たり前な進路が、障がいがある若者にとっても、より当たり前になるように。

教育・福祉・労働の「垣根なき協働」に、ご理解、ご協力賜れば望外の喜びです。

本事例の事業所紹介



 **まるく株式会社**

〒791-8011 愛媛県松山市吉藤3丁目
4-6 ソーシャルビル

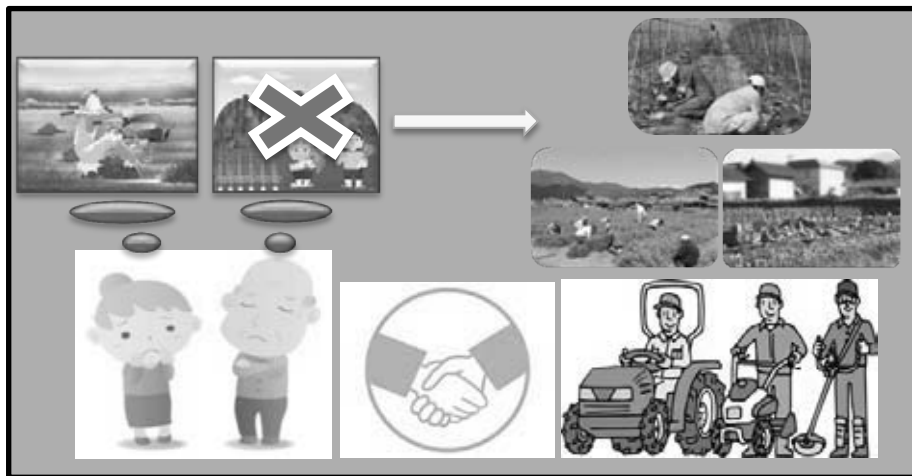
TEL 089-911-1047 FAX 089-924-0221

<http://maruc.biz> Email info@maruc.biz

【過疎、高齢化地域における 地域住民との連携】

Point

- 休耕田や減反農地の有効活用
- よもぎ湯の原料となるよもぎの収穫量UP
- 過疎高齢化の進む地域における社会貢献



事業実施のきっかけ、経緯

● 当事業所の自主生産品の中心を担っているよもぎ湯は、近隣の農地を借り受け、植え付け栽培したものを原料とし製品化してきた。当初は主に減反政策地を有料、かつ草刈りなどその土地の管理も条件で借り受けていた。近年になり、益々地域の農家の高齢化が進み、後継者不足も深刻化してきたこともあり、そのような事情を抱える農家さん側から『土地を管理してもらえたら無償でいい』と言う貸出しの申し出が来るようになってきた。

事業概要

- 就労継続支援B型、就労移行支援の多機能事業所
- 自主製品としてよもぎ湯
よもぎ餅や桜餅、シフォンケーキなど加工品の製造販売

成果

- 耕作面積が増え（約4ha）乾燥した状態で3t以上のよもぎが収穫できるようになった。
- 近隣の農家から土地の貸し出しの申し出を受けることで、地域社会への貢献度が増した。
- 急斜面の草刈りや体調がすぐれない時の米運びなど近隣の人達からの相談を受けるようになった。
- 農地以外でも、後継者不足や工房設備が整っているという理由もあり加工品の製造販売依頼があった。

今後の展望

- 今後も農地の借り受け面積を広げることでよもぎの生産量を増やし、よもぎ湯の販売拡大を目指す。また、よもぎを原料としている製菓会社などへ売り込みを図っていく。
- 事業所が管理しきれない状態になる前に、よもぎと比較して少ない労力で栽培でき、工賃UPに結びつけるためにも収益率が高い薬草の栽培に挑戦していく。



植え付け

黙々と…地道な作業



刈り取り

こんなに大きくなります。
刈り取りはかなりの重労働！



袋詰め

根気がいる作業



完成品

事業所より一言

除草剤や農薬を使わずに栽培したよもぎを乾燥させ、一つ一つ丁寧にパック詰めし入浴用として産直市やインターネットなどで販売しています。

本事例の事業所紹介



NPO法人 結の会 ゆいの里

〒798-1124

愛媛県宇和島市三間町増田20

(事業所写真)

TEL 0895-20-7128

FAX 0895-20-7128

ワークスみらい(高知)の取り組み

Point

- 「仕事をちょうだい」ではなく「一緒に事業を」
- 利用者の仕事に自信がつけば一般就労者へ
- 利用者が自信を持って作業を行っている。



事業の成果

○従来の仕事を受注する形態ではなく、企業等とコラボし、「事業」を行い仕事を作っている。

○就労継続支援A型事業所でも、仕事に慣れ自信がついた段階で一般就労への支援を行う。

○利用者に対して最低賃金以上を保障し、働く場を安定的に保障している。

事業実施のきっかけ、経緯

設立の経緯(竹村さんより)

「高知市社会福祉協議会では、障害者福祉センターでソーシャルワーカーとして働いていましたが、そこでは「かわいそうな障がい者のために何かをしてあげる」という目線での福祉のあり方にぶつかりましたね。ティッシュや割り箸の袋詰めなど、「この程度の仕事しかできないだろう」という固定観念だけで障がい者に与えられる作業内容。それを「時給50~100円の賃金でも仕方ない」と言う障がい者。葛藤していましたね。そういった現実の中で、障がい者や彼らの家族から先生と慕われて、毎月高い給料を受け取っている自分の存在に...。葛藤と憤りを抱えながらも、安泰な場所に居続けている自分に矛盾を感じていましたが、気がつくと15年が経ち、ようやく2004年に退職しました。

自分自身がきちんと働いて、障がいのある人と一緒にご飯が食べられるようになるまでがんばらないといけないというところに身を置くべきじゃないかと思い、退職後は、すでに始めていたNPO法人ワークスみらい高知の活動に本腰を入れながら、並行して、障がい者の就労支援のためにカフェなどの経営を始めました。」

今後の展望

- 就労継続A型の良好な運営に関する寄与
- 工賃向上から雇用の創造へ。

A型利用者も積極的に接客・調理を行う。仕事に慣れて自信がつけば一般就労へ



—写真 接客や調理を行う A型事業所ワークスみらい高知 利用者—

竹村さん

—今までの福祉というのは、企業に対して「仕事をちょうだい」というスタンスでした。これだとティッシュの袋詰めなど、内職レベルの仕事しかもらえない。ではなくて、「一緒に仕事を生み出しませんか」となって、はじめてビジネスが生まれる。恩恵や慈善ではない、双方にメリットのあるビジネスを構築することがこれからは必要なんです。

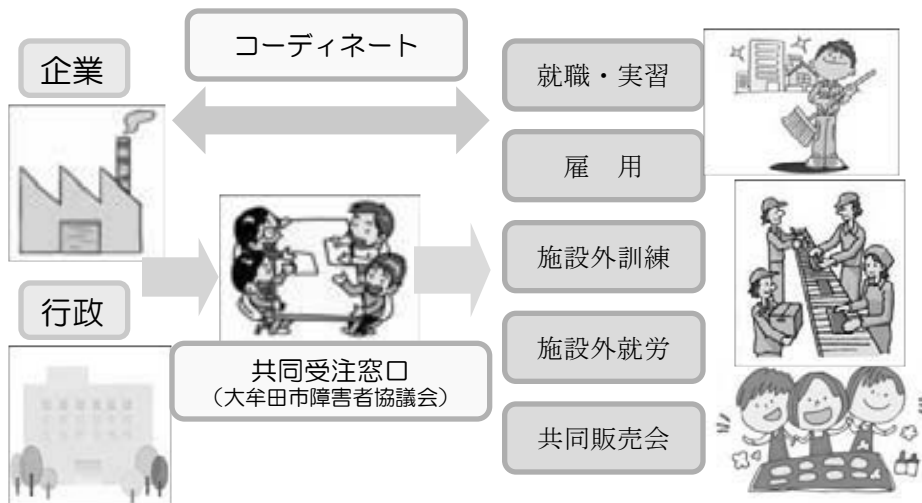
挨拶ができない、遅刻・無断欠勤、接客や調理にそぐわない不衛生な身なりなどは、障がいの有無に関係なく、ビジネスの世界では通用しません。ここで障がい者であることを理由に許しを請うのは単なる甘えなんです。だから、障がい者スタッフには基本的な生活態度を徹底的に教え込んでいます。企業は決して障がい者の就労支援に冷たいわけではなく、基本的な生活態度の備わっている障がい者にはチャンスを与えてくれる。問題はむしろ、一般就労を果たすこと自体が就労支援のゴールだと勘違いされて、一般就労後に定着して働き続けるためのバックアップ体制が薄い点にある。一般就労後の障がい者と受け入れ企業双方へのフォローには、今後も力を注いでいきたいですね。

カテゴリ【7】共同受注

【大牟田市における共同受注システム】

Point

- 行政だけでなく民間企業からの相談にも対応
- イベント企画会社と協働で大型店舗での物品販売
- 行政や企業のニーズに応じた幅広い選択肢を提案



事業実施のきっかけ、経緯

- 行政や企業が、障害者施設へ作業委託をお願いしたいと思っても、どこに相談したら良いかわからないため、せっかくのチャンスを逃してしまう事があった。
- 条件等の交渉において、ノウハウや経験が不足していたり、施設間で委託金の値下げ競争になるなどした結果、業務に見合う委託料が得られないケースがあった。
- 各施設単独で企業などに営業活動できる余裕がなかった。

事業概要

- 障害者施設への作業委託から障害者雇用までの総合的な相談窓口を一本化することにより、行政や企業のニーズに応じた選択肢を提供できる。
- 一つの施設で対応できない作業量や納期であっても、複数の施設で対応できる。
- 作業内容によって、その企業での障害者雇用、当法人が受託して障害者雇用、移行事業所利用者による職業訓練、B型や地活等の施設外就労・・・など、幅広い選択肢が提供できる。

成果

※事例の一部

発注	受注	内容	摘要
行政	当法人	資源ごみの選別作業	9名の障害者雇用、実習受入
民間	当法人	有料ゴミ袋の配送	2名の障害者雇用
民間	移行・B型等	有料ゴミ袋の検品	5つの施設でシェア
行政	移行・B型等	段ボールコンポスト作成	3つの施設でシェア
行政	移行事業所	公衆トイレの清掃	市内5カ所
行政	地活Ⅱ型	市営住宅の草刈り	市内10カ所程度
民間	移行・B型	高菜漬け作業	スポットで10日間程度
民間	移行事業所	農作業	農家と委託契約

今後の展望

- 優先調達推進法への対応を強化するため、こちらから積極的に行政への提案を行っていく。
- 施設外就労や施設外訓練からのステップアップとして、企業での障害者雇用につなげていくための活動を強化。
- 行政や経済団体と協働し、企業等への情報発信を強化。

〈企業〉⇒〈施設外就労〉



高菜漬け

就労継続支援B型事業所

〈市〉⇒〈施設外就労〉



市営住宅の草刈り

地域活動支援センターⅡ型

〈農家〉⇒〈施設外訓練〉



農作業

就労移行支援事業所

〈イベント企画会社との協働〉



物品販売会

〈市〉⇒〈施設外訓練〉



公衆トイレの清掃

就労移行支援事業所

〈市〉⇒〈雇用〉〈実習〉



資源物の選別

事業所より一言

当法人は、1999年12月9日、身体・知的・精神3つの障害と、当事者・その家族・支援者3つの立場を超えて、大牟田市内の主だった団体・施設で大牟田市障害者協議会を結成して以来、すべての市民につながる非営利の社会貢献活動に取り組んでいます。2001年8月にはNPO法人格を取得し、市や市民活動団体、企業等と協働し、ユニバーサルな街づくりに参画しています。(2014年3月現在26団体で構成)

本事例の事業所紹介



NPO法人 大牟田市障害者協議会



〒836-0041
福岡県大牟田市新栄町16番地11の1

TEL 0944-57-7161 FAX 0944-57-7163

カテゴリ【4】企業との連携

密閉型植物工場において水耕栽培による
レタス栽培を行っている

Point

- 無菌室での栽培により長期間の保存が可能。
- 地域のスーパー等と連携し、出荷を行っている。
- 支援者側の視点よりも利用者側の視点で運営。

フランス産
オランダ産



障がいのある利用者さん



就労継続支援A型勤務

出勤

あんスリー武雄



水耕栽培による生産

出荷

スーパー



コンビニ



イベント販売



ホテル・飲食店

取り寄せ

事業実施のきっかけ、経緯

- 一般家庭でも毎日使えるような手軽なものを就労継続支援A型で作れたかった。
- 地域との連携をはかる為、地域に競争相手がいない事、なおかつ武雄市の名産品となり得るものを選定した結果今のフリル・アイス（レタス）に行きついた。
- 自分が作っているものが地域に出て実際に売れているという事の喜びを利用者に感じて欲しかった。
- 障がい者雇用は国や県等も後押しを行っているが特に知的障害者の働く場が余りにも少ない。

事業概要

- 完全なる環境管理の元、育てていくので種まきから1か月半程で出荷を行える。
- 無菌製法で栽培を行っている為、みずみずしさやシャキシャキ感が長期間保たれる。そのレタスを障がいのある方が作っているという程度のスタンスで運営を行っている。
- 専門知識を得るために、職員全員が水耕栽培に関する研修に参加している。

成果

- 独自のルートより特殊な種の入手を行い、その種を使うことにより、上下逆さまに根をはる事が無くなり、生産の向上につながっている
- 今現在、スーパー・コンビニ・ホテル・飲食店等に月間6000袋強の出荷を行っている。
- イベント等で試食をしてもらい10人に7～8人は購入して頂いておりリピーターも増え、販路拡大に繋がっている。

今後の展望

- まずは経営を軌道に乗せ、第2・第3工場を設立し、50名程（現在12名雇用）の障がいを持つ方の雇用を行い、長年勤められる様な事業所にしていき障がいを持つ方の老人ホームの建設も行いたい。

作業工程



播種・発芽



育苗



収穫



梱包



出荷



作業風景

事業所より一言

- ・安心な野菜です
- ・安全な生産です
- ・安定した出荷です

3つの安で「あんスリー」という事業所名にしました。

本事例の事業所紹介



NPO法人 緑風会

あんスリー武雄

〒849-2341

佐賀県武雄市武内町梅野字船石

19121番

TEL 0954-27-2384

FAX 0954-27-2385

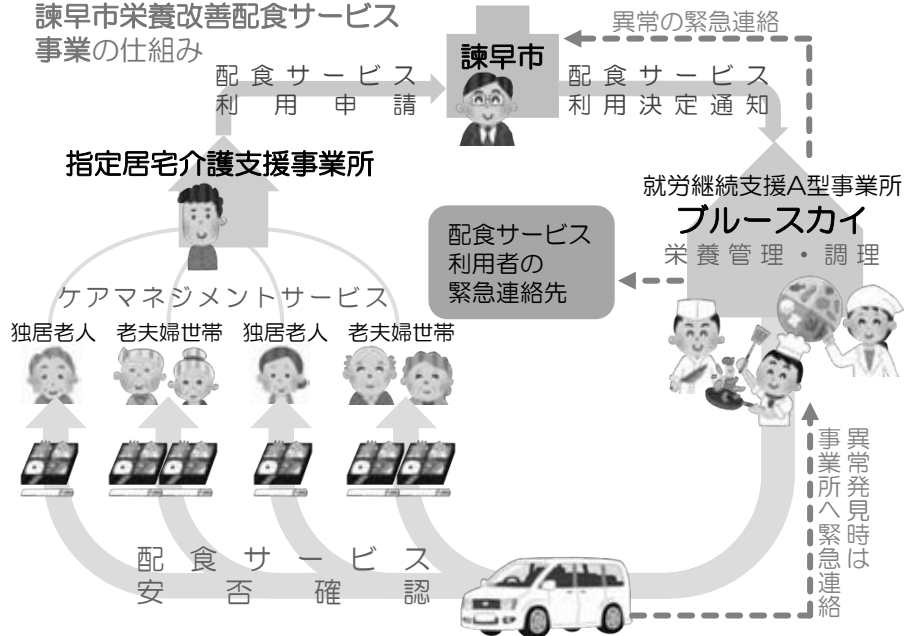
自治体委託による 栄養改善配食サービス

Point



- 地域貢献
- 障がい者の就労の場としての業務内容の拡大
- 高齢者食のノウハウ構築

諫早市栄養改善配食サービス 事業の仕組み



事業実施のきっかけ、経緯

- 自治体より「諫早市栄養改善配食サービス事業」の委託を受け、過疎地域で生活されている独居老人宅への配食サービス（夕食）を行う。

事業概要

- 買い物が不便な過疎地域において、調理が困難な独居老人宅や高齢世帯へ弁当形式の夕食を配達している
- 1食700円の食事を360円（高所得者は460円）で提供。自治体が差額を補い、個人負担を軽減している

成果

- 管理栄養士による献立で栄養管理が図られ、体調が良かったとの声が聞かれる
- 過疎地域での買い物の負担軽減、調理の負担軽減
- 配達時に安否確認を行い、緊急連絡体制を確立

今後の展望

- 委託事業外の一般利用への拡大が見込まれる
- 自治体の予算が反映されるため、継続性は不透明

● 弁当の調理・盛り付け



● 各世帯への配達



● 高齢者食の弁当



本事例の事業所紹介



社会福祉法人 南高愛隣会
就労継続支援A型事業所

ブルースカイ

〒854-0001

長崎県諫早市福田町357-1

TEL 0957-35-4880 FAX 0957-21-0572

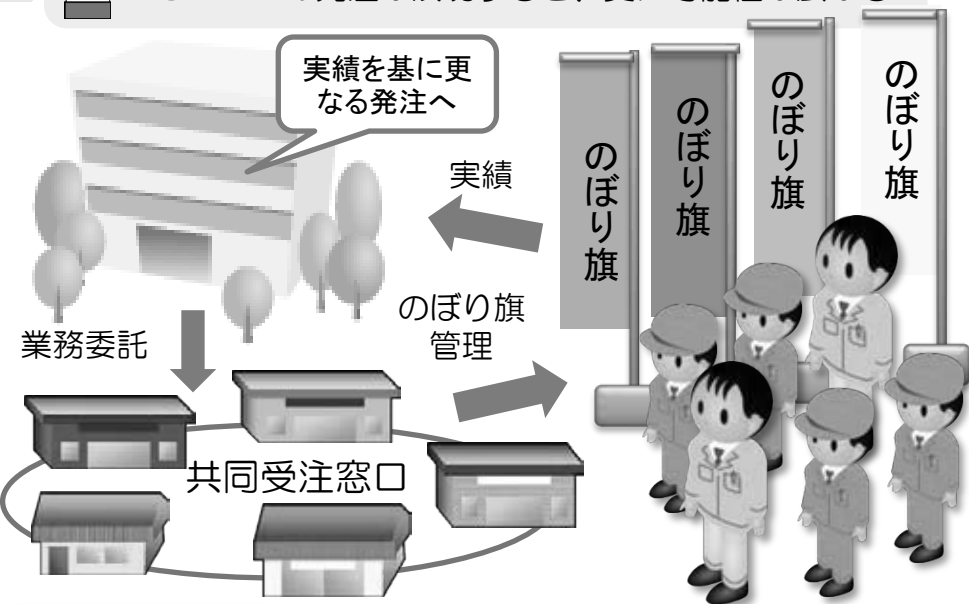
優先
調達

役務
管理

事業所が共同で自治体のニーズに応える。一つの実績をもとに新たな発注へ

Point

- 国体を使うのぼり旗の管理を委託
- 新たな発注事例のアイデアの一つに
- 一つの発注が成功すると、更に可能性が広がる



本事例の背景

- 諫早市では公用地や公共の建物の除草作業（2事業所）や国体リハーサル大会でののぼり旗の設置、管理、撤収作業（5事業所）など受注量が多く、短期間に人手が必要な仕事を複数の事業所で共同で行っている。
- 共同受注窓口は、受注内容に対応可能な複数の障害福祉サービス事業所にあっせん・仲介する業務を行う調達の際に活用できるものである。

本事例おける、それぞれの役割や経過

諫早ワークセンター・共同受注窓口

- 国体リハーサル大会でののぼり旗の設置、管理、撤収作業を市内の5事業所で行う。
主な業務内容は大雨・風雪時ののぼり旗の撤去や、古くなったのぼり旗の交換等を行う。
- 自治体の発注を複数の事業所で共同で受注し、協力しながら成果をあげている。

諫早市役所

- 優先調達推進法により、障害者就労施設に何を発注できるかを検討している。

本事例における効果

- 一つの成功事例をもとにして、現在は印刷等の発注を行うなど、発注の促進に繋がっている。
- 小規模の福祉事業所では、大量の受注に対応できないため、複数の事業所で実施することで事業所の利用者特に障害が重い方の仕事づくりが可能となった。

「諫早ワークス」の事業所紹介



社会福祉法人つかさ会 諫早ワークス
(就労継続支援B型)

所在地

〒854-0007

長崎県諫早市目代町1816-1

カテゴリ【4】企業との連携

【ドライブレコーダー運転状況調査】

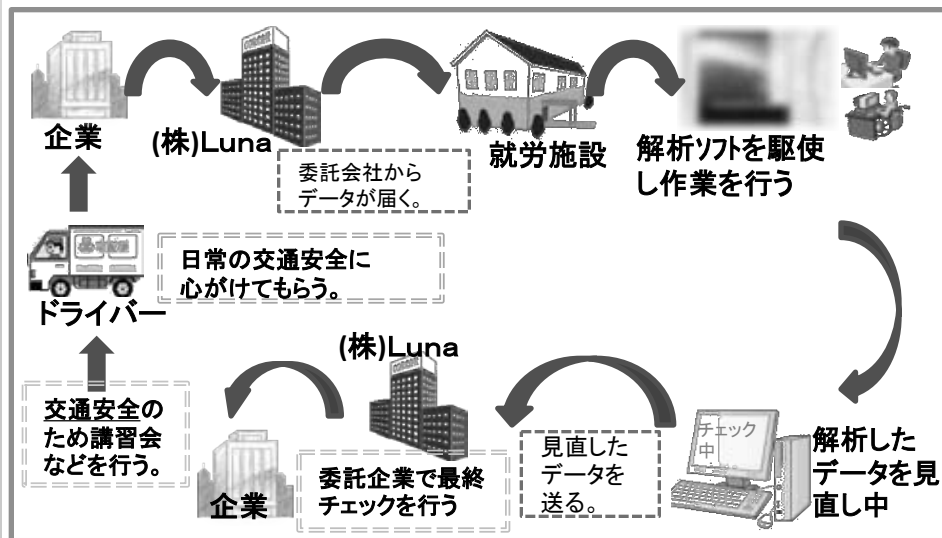
ポイント

- ◇ 委託事業である。
- ◇ 詳細調査と簡易調査がある。

詳細調査：交通事故発生リスク調査

(データを省略して見てはいけない!!)

簡易調査：データをすべて見るのではなく、指定された項目を切り出す。



事業実施のきっかけ・経緯

株式会社Lunaが「障害者の就労機会を作りたい」と考えていた。

そんな時、スポーツを通じLunaと知り合った。

そこで、Lunaの「世の中から交通事故を無くす」という

理念に賛同したのが作業依頼へつながったきっかけである。

現在、長崎県内複数事業所で共同作業を行っている。

また、3ヶ月の研修期間中も「研修費」があるため委託を受ける施設としても時間をかけてしっかりと研修を行うことができる。

事業内容

- ◆ ドライブレコーダに記録された運転行動調査をする
- ◆ 良否の評価をするではありません。
- ◆ 事実を伝えること、鏡に徹すること。
- ◆ 切り出し基準に合わせて調査を行う。
- ◆ 見落としがないようにする。

流れ・結果

◆ 流れ

- ① 研修が3ヶ月間程あり、その解析練習結果をみて次のステップに移るか判断する。
- ② 企業からのデータを自分たちの判断ではなく、Lunaの規格にそった解析作業を行う。

◆ 結果

話し合いながら切り出し(解析)を行う。
また、自分たちの交通ルールの再認識につながり、「注意しよう」という心構えにもなる。

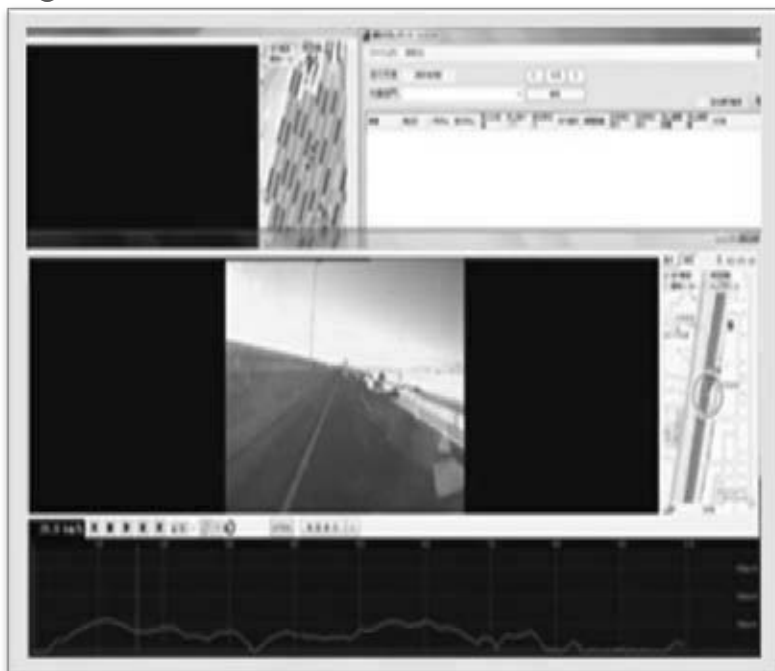
今後の展望

解析を行うことで企業だけではなく、自分たちの事故の軽減にもつながる。

また、委託の作業であるため将来的に在宅での仕事につながり 工賃アップの見込みがあると思われる。



解析で使用するソフト等



キャッチアップよりひとこと

解析作業は、集中力・やる気・根気・ある程度の交通ルールの認識を要する。やりがいのある仕事である。また、話し合いをもつことでコミュニケーションの場としても活用できる。

本事例の事業所紹介



合同会社
キャッチアップインサポート

〒854-0005
長崎県諫早市城見町29-39



(キャッチアップインサポート)

TEL 0957-47-5579

FAX 0957-47-5443

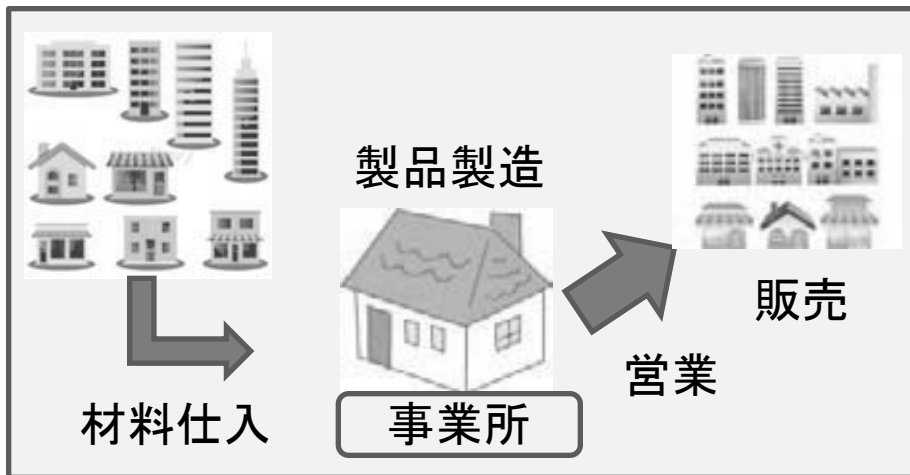
【鳥取大学との連携による商品開発】

Point

- 熊本県産の馬油を使用した化粧品（石けん・クリーム・オイル）の製造および販売を行っている。

化粧品製造販売許可番号 43COX10016

化粧品製造許可番号 43CZ200017



事業実施のきっかけ、経緯

- 下請作業等を中心に作業を行っていたが、企業の動向に左右されて売上にバラツキがあった。そのため、工賃の向上に取り組めていなかった。
- 観光地でもある阿蘇の地域柄を利用した商品の開発を行い、自主生産できるものに着手するが他社との商品の差別化をしないと市場に認めてもらえない。
- 鳥取大学と提携し、熱を加えず馬油を抽出することができた。（特許技術）
- その馬油を使用した製品の開発に繋げることができた。

事業概要

就労継続支援事業B型

- 利用者が製造に携わることで体力・作業手順・責任感を養う場の提供を行うことができる。
- 製造から梱包まで一連の作業を行う事で商品の流れの習得を行うことができる。

成果

- 利用者の工賃向上につなげる事ができた。

平成20年度平均工賃	10,600円
平成21年度平均工賃	14,000円
平成23年度平均工賃	16,600円
平成25年度平均工賃	20,000円
- 障がいを持たれた方々が手掛けた商品を社会及び地域に流通させることで社会の一員としての自覚を養うこと及び販売数が気になったりと製造においての責任感や意識向上が見受けられるようになった。

今後の展望

- 全国展開に向け、インターネット販売を開設でさらなる販路の拡大
- 手作業で行っているため、大量生産に対応ができていない。今後は、生産管理を行い、基盤整備に努める。

作業風景



本事例の事業所紹介

社会福祉法人 やまなみ会
阿蘇くんわの里

〒869-2225
熊本県阿蘇市黒川431

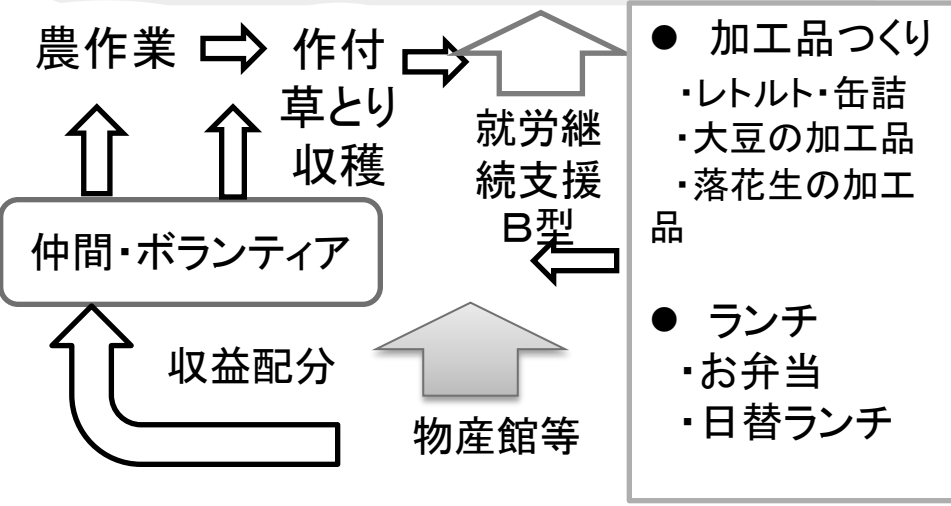
TEL 0967-34-1100 FAX 0967-34-1106

【農業を主体とした農産加工食品作り・及びランチによる就労訓練】

Point



- 資金がいらす、すぐできる仕事→農業だった。
- スタッフに農地。備品（トラクター）などを持っていた。
- 付加価値をつけて販売（無肥料無農薬による農産加工品）
- 給食づくり訓練によるランチ販売



- 加工品づくり
 - ・レトルト・缶詰
 - ・大豆の加工品
 - ・落花生の加工品
- ランチ
 - ・お弁当
 - ・日替ランチ

事業概要

- 農産物の生産、加工、販売
例（落花生和えの素、ご汁の素、羊かん、味噌など）
- レトルト事業
カレー：熊本県の肉にこだわったカレー4種（肥王豚、阿蘇赤牛、馬肉、大阿蘇どり）
缶詰：のっぺ汁、おでん、馬スジこんにゃく等
- ランチ
日替わりランチや弁当など販売
(300円) (350円)

成果

- 利用者の調理訓練をもとにランチ提供にたずさわれるようになってきた。早さは個人差があるが食品作りに関われるようになってきている。一般就労にむけた実践的な訓練を継続する
- 農作業におけるボランティアの広がりがでてきている。結果落花生・大豆・小豆・さつまいもの他にも胡麻等も作付でき、加工品の幅も膨らむ
- 缶詰の種類が幅広くできそうで、今試行錯誤の段階である。高齢者むけの缶詰を地域住民とのコミュニティで開発中

今後の展望

- 障がい者の工賃アップにむけてレトルト事業をもっと展開していきたいと思う。高齢化社会になり一人暮らしの方むけのレトルト食品の開発を進めていきたいと思っている
- 無肥料無農薬の農作物に付加価値をつけ、購入者の拡大をはかりたい。

事業実施のきっかけ、経緯

- スタッフの農地や耕作放棄地が村内にあり、ボランティアもつのがやすく、農業が1番資金がいらぬ仕事であると同時に、6次産業にもつながると思った。（生産→加工→販売）
- 障がいをもっている仲間たちが気軽に参加でき、ボランティアの方との交流も生まれる。



事業所より一言

毎日笑いの絶えない作業所です。たんぽぽハウスには様々な障がいのある方や引きこもりの方、アルコール依存症の方、生活困窮者・生活保護の方などが利用されています。ボランティアの方も交わり「ごちゃまぜ」な家庭的な作業所です。ぜひ、一度たんぽぽハウスにお越しください

本事例の事業所紹介

NPO法人 にしはらたんぽぽハウス



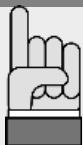
〒861-2402
熊本県阿蘇郡西原村小森3264

TEL096-279-3666 FAX 096-279-3666

カテゴリ【4】企業との連携

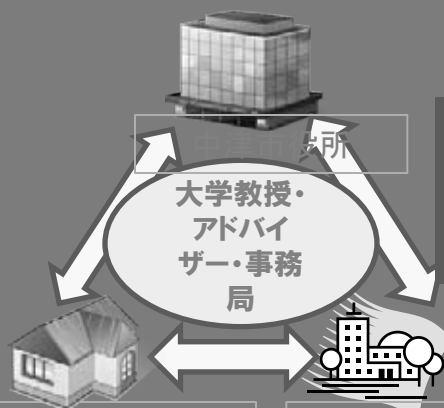
【6次産業との連携による工賃の向上】

Point



- 各種企業・団体との情報交換、交流
- アドバイザー・バイヤーによる商品の開発
- 販売機会の確保と拡大

なかつ6次産業 創生推進事業



□林産加工品開発研究会

・耶馬溪産の杉・桧を使った商品の開発等

□農林水産物加工品部会

・地域産物である製品を商品化して、付加価値を付けた商品を開発、情報発信とともに販売の促進を図る

□ネットショッピングモール販売

・なかつ燦燦市場

事業概要

- 参加者 — 市中の各種団体・企業、中津市
- 目的 — 農地・林野の保全、地域の振興と活性化
- 活動 —
 - ・ワークショップによる商品開発、及び既存商品ブラッシュアップ事業
 - ・商品の販売促進を図るための販売チャンネルの整備事業、
 - ・地域事業者及び起業家の支援事業を実施

成果

- 各種団体や企業との交流や情報交換
- アドバイザーやバイヤー等専門家のアドバイスと商品開発。
- 販路の拡大を行うことができた。
- 設備整備に係る補助制度の活用
- ブランドの確立(商標登録の予定)

今後の展望

これからは、参加団体や企業と連携して特産品の開発を行いたいと思います。そのためにも、当該事業に関連した補助金を活用して施設の整備を行いたい。

事業実施のきっかけ、経緯

- 市報で事業が開始されることを知り、説明会に参加した。事務局発足後ワーキング会議に加入し活動を始めた。

木製オブジェの 焼印作業



アドバイザーを交え包装紙図柄等の選定



事業所より一言

本園では、「農・福連携」や「6次産業化」は利用者の皆さんの働く場の確保と工賃の保障に欠かせなくなっています。
これからも、地域や人を巻き込んで企業に負けない物を作って・売っていきたいと思います。

本事例の事業所紹介



社会福祉法人下毛もみじ会
指定障害福祉サービス事業所
もみじ園(B型、生活介護)

〒871-0401大分県中津市耶馬溪町大字平田1479-1
TEL 0979-54-3490 FAX 0979-54-3491

六本木ヒルズに 中津の杉加工品

中津市の耶馬溪の杉材で作ったクリスマス飾りが、東京・六本木ヒルズの一角にある高級ホテル「グランドハイアット東京」のロビーに飾られる。中津市と地場企業などをつくる「なかつ6次産業創生推進協議会」による林業再生の試みの一つ。「中津の木材」とともに7月の豪雨災害からの復興をアピールする。

林業再生の試み

製作にあたったのは協議会のワークシヨップ・林産加工品開発研究会。耶馬溪で1500年の山を管理する久恒森林が素材を提供し、山国工芸社がツリーをかたどったオブジェ（高さ60センチ）やオーナメント用の丸い板（直径9センチ）に加工して、指定障害福祉サービス事業所「もみじ園」に渡した。

「もみじ園」では5、6日、園の利用者3人が丸い板210個に、電気こてを使って星やヒヤリキの葉、雪の結晶の文



「ヒルズでの展示が楽しみ」と杉の丸い板にもよきをつける中津市耶馬溪町

24.11.8 朝日新聞 大分版

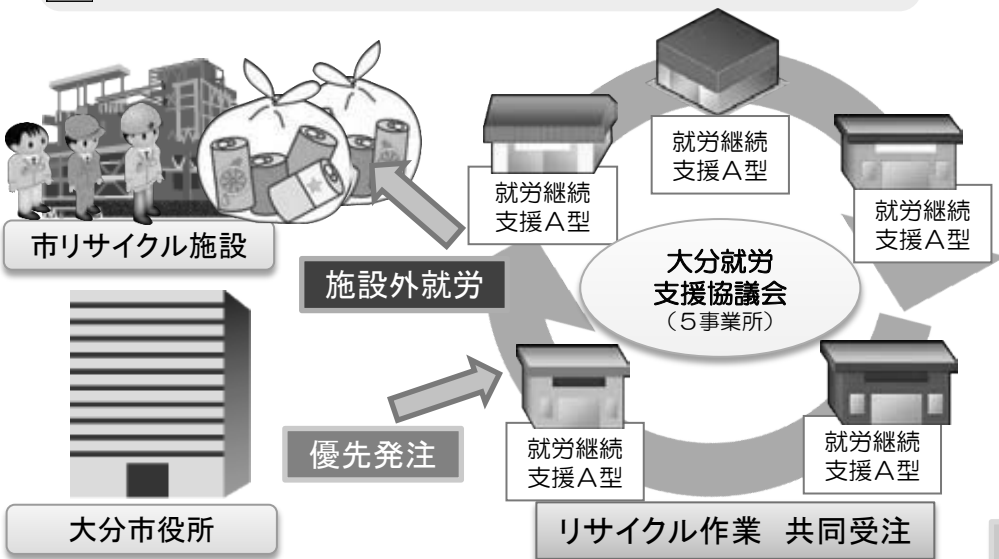
優先
調達

再資
源化

就労継続支援A型が協力して共同受注。リサイクルの官公需（優先調達）を実現。

Point

- 大分市からのリサイクル優先発注事例
- 就労継続A型が協力して共同受注
- 施設外就労による障害者の働く場の確保



本事例の背景

- 大分市では、障害者の就労の場の確保のため、官公需の促進に努めている（平成25年4月に施行された優先調達推進法により、更に官公需の重要性が増している）。
- 昭和58年当時、知的障害児は養護学校を卒業した後、就職する職場がほとんどなく、重度の知的障害者でも働くことのできる施設の設立を願う人々が集まり、昭和60年1月に通所授産施設が開設。10周年を契機として企業に就労することが困難な知的障害者の就労の場として福祉工場が開所された。

本事例おける、それぞれの役割

大分市障害者就労支援協議会

- 大分市内の5カ所の福祉法人（福祉工場松岡・ひまわりの家・やまびこ広場・シンフォニー・杉の木）により、市からリサイクルセンターの共同委託を受ける。
- 5施設で大分市障害者就労支援協議会を結成し、共通のマニュアル等を作成し、共同管理が可能な条件を整備して知的障害者の就労の場作りに貢献する。
- 共同することにより、リサイクルセンターの施設外就労による、ビン・缶・ペットボトル等の手選別業務の一連の作業のすべてを委託できるようにする。

参画するA型事業所

- 施設外就労の人材を確保し、市からの請負契約による、ビン・缶の選別等のリサイクル作業を責任を持って行う（共同で行うため、他の事業所と協力しながら支援を行う）。

本事例における効果

- 協議会全体で賃金や働く場の確保について、安定的な供給が図られる。
- 重度の知的障害者も、多様な作業に取り組める。

「大分市障害者市雄郎支援協議会」の事業所紹介



社会福祉法人 シンフォニー
〒870-0862

大分県大分市中尾603

TEL 097-586-5577

FAX 097-586-5578

カテゴリ【5】特別支援学校、関係機関との連携

【特別支援学校、他事業、相談支援事業所、自治体等との連携による 利用者の進路選定のための相談支援の推進】

Point

- 農園作業、EMボカシ、浴用ほかほかよもぎ、食品加工等 生産活動
および見学・体験実習生の受け入れ
- 当事業所の収穫祭、地域のイベント参加等による交流
- 体験実習生や地域、関係団体等との交流連携による利用者の
進路選定等 相談支援の推進



就労継続支援

B型事業所

農園作業、製造作業等の
体験実習やイベント参加
ボランティアの受け入れ

・特別支援学校
・他施設・事業所等

・自治体・地域
・関係団体

・相談支援事業所

事業実施のきっかけ、経緯

- 当事業所は市街地より約20kmの自然環境に恵まれた山間地に位置し、従来知的障がい者主体の 農作業、入浴用ほかほかよもぎ、ウコン等の生産を中心とした通所授産施設であったが、3障がい統一後は利用者も多様化傾向にあり、生産及び販売活動、進路選定、利用者の受け入れ等についても他事業所や関係機関との交流連携を深め、お互いの特徴や役割を知り、利用者一人一人の将来に向けてのよりよい 進路選定等相談支援に活用する必要がある

事業概要

- 農作業（野菜づくり）製造作業（浴用ほかほかよもぎ、ウコン粉、EMボカシ、食品加工）他を行い、特別支援学校、入所支援施設、精神科病院、在宅障がい者等の見学及び実習生を受け入れている
当事業所の収穫祭や地域のイベント参加により交流連携を推進し、生産物の販売やPRをおこなっている

成果

- 見学や体験実習生の受け入れや、特別支援学校、各事業所、地域、関係機関等のイベント参加交流を通してお互いの特徴や役割を共有することができ、連携強化（福祉のネットワーク化）やPR効果が高まり、生產品の販売活動、利用者の進路選定や進路相談のための選択肢の増大が期待できる

今後の展望

- 当事業所の恵まれた自然環境を活かし今後とも農園作業等の見学、体験実習生の受け入れ、地域、他事業所、関係機関との連携強化を図り生産、販売活動の向上、利用者の進路相談支援を促進したい



農園作業 たい肥まき



収穫感謝 よもぎ祭り



地域のお祭り 参加



かぼちゃ収穫



ボカシ・ウコン・よもぎ入浴剤



ボカシ作り



たまねぎ出荷準備

社会福祉法人 中心の里
障害福祉サービス事業所 中心の里作業所

〒883-1111
宮崎県日向市美々津町5627番地98

TEL(0982)58-0157
FAX(0982)58-0176

事業所より一言

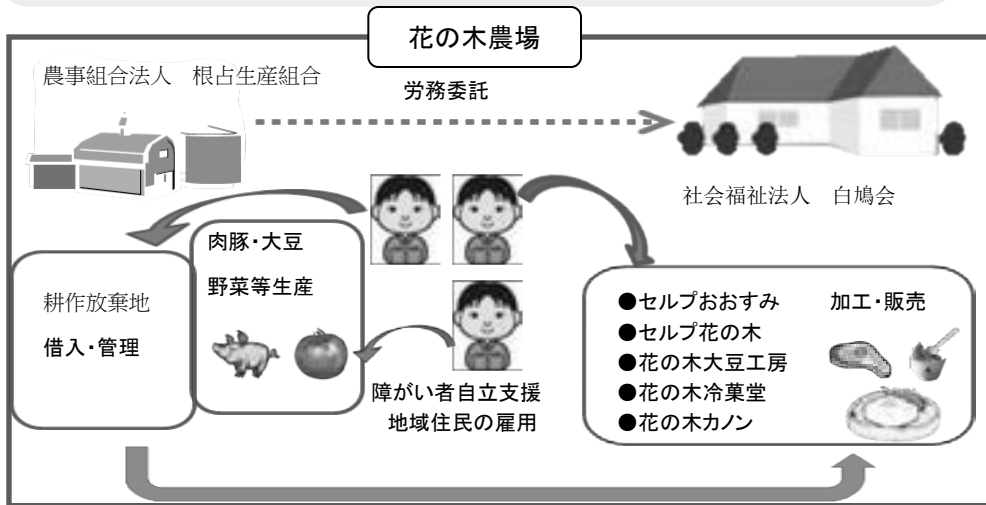


• 殊に精神障がい者、知的障がい者にとって恵まれた
大自然の中での農園作業、体験実習等は最適の選択
肢の一つと考えています

【農事組合法人との連携による地域貢献】

Point

- 障がい者の就労・訓練の機会の確保
- 地域における雇用の創出
- 耕作放棄地等の農地管理への寄与



事業実施のきっかけ、経緯

過疎化・高齢化に悩む南大隅においては、耕作放棄地が数多くある。我々はこの耕作放棄地を利用し地域活性化を図ることで、障がい者の自立を支援し、また高齢者・地域住民の雇用促進や、農家の後継者不足を解決できると考える。しかし社会福祉法人白鳩会が設立された昭和48年当初は、社会福祉法人は寄付金でしか土地を買入れることができなかった。障がい者の自立促進や工賃アップのために耕地面積を拡大して、企業的農業経営をするためには、やはり農事組合法人の存在が必要である。また労務委託関係を結ぶことで、障がい者の自立を促進することができ、社会福祉法人と農事組合法人が安定した関係性を築くことができるため現在の事業に至った。

事業概要

【社会福祉法人 白鳩会】

- 障がい者の生活の場を提供（入所施設・グループホーム）
- 根占生産組合より労務委託を受け、商品の加工・販売を通じた障がい者の就労支援・自立訓練の実施
- 地域おこしのためのイベント実施

【農事組合法人 根占生産組合】

- 障がい者の就労の場の提供
- 耕作放棄地の借入・管理による土地の整備
- 農家の担い手として地域住民の雇用促進

成果

- 農業用求人サイトの利用により、県外からの就農希望者がここ1年で増大している。（平成25年に3名雇用）
- 耕作放棄地借入・管理により、地域における農地管理に寄与している。
- 障がい者の自立を促進し社会福祉法人白鳩会の就労部門収入がここ3年で増加した。
- 地域住民と障がい者が共に働くことにより、自然な形で交流できている。

今後の展望

- 今後は農業と福祉だけではなく、観光を交えて人が集う「花の木農場」づくりに力を注ぐ。（モニュメントの設置やイベント開催継続予定）
- 障がい者や地域住民の雇用の増大を図り、ノーマライゼーションを促進する。

社会福祉法人白鳩会 建物風景



セルプ花の木外観(南大隅町)



花の木カノン外観(鹿児島市)

就労・訓練等風景



餃子の製造(セルプ花の木)



職員とともに働く利用者(花の木牧場)

花の木農場商品の一部



お茶(セルプおすすめ)



精肉・ハム・惣菜(セルプ花の木)



豆腐(花の木大豆工房)



ジェラート(花の木冷菓堂)



【農事組合法人 根占生産組合】

〒893-2501 鹿児島県肝属郡南大隅町根占川北9445-2

【社会福祉法人 白鳩会】

〒893-2501 鹿児島県肝属郡南大隅町根占川北2105

TEL:0994-24-2517

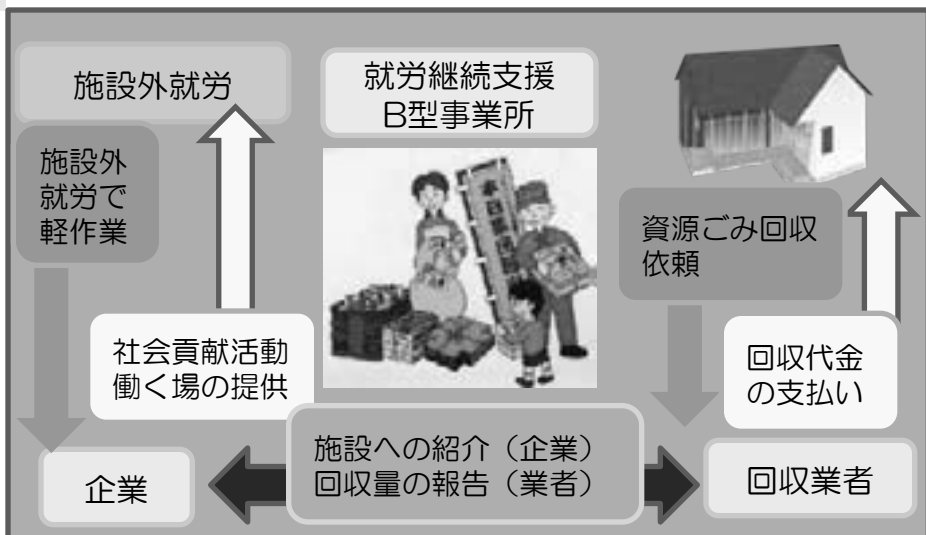
FAX:0994-24-3711

URL: <http://hananokifarm.jp/>

【 地元企業と連携した施設外就労の活用 】

Point

- 施設外就労の活用
- 地域貢献
- 一般就労へ向けた訓練機会の創出



事業実施のきっかけ、経緯

- 資源ごみを回収することによって、資源の有効活用と環境保全の促進を進めることを目的とし、スーパーを運営する株式会社タイヨーが社会貢献活動の一環として場所を提供。
- 企業側は社会貢献、環境保全の両面からイメージアップが図られるとともに、資源ごみ持ち込みの代替として渡す割引券の利用による集客効果を期待している。
- 施設側は、利用者の社会体験や交流機会の創出、更に回収された資源ごみの代金を収益に充てることで工賃増に繋がる。

事業概要

- 施設から車で15分程度の近隣3店舗で事業を展開し、活動時間は毎週火、水、金曜日の9時半～16時。
- 資源ごみを持ち込んだお客様に一人1枚、当日のみ使用できるグリーン券（対象一品10%割引）を手渡す。
- 接客や分別等すべてを担い、資源ごみの回収代金は産業廃棄物回収業者から施設へ支払われる。

成果

- 施設外就労を活用し、利用者の工賃増へ繋がった。
- お客様との直接的なコミュニケーションが刺激となり、挨拶や言葉遣いへの意識が高まる利用者がいた。
- 活動を通して御家族もエコに対する理解が深まり、資源ごみ回収量の増加へと繋がっている。
- 施設内にある他事業所（就労移行、自立訓練、生活介護）の訓練の場としても活用できる。

今後の展望

- 資源ごみ回収活動の場を店舗から地域へも拡大し、更なる収益増＝利用者の工賃増を図り、利用者の仕事に対するモチベーションアップに繋げていきたい。
- お客様とふれあえる貴重な機会として捉え、更なるコミュニケーション能力の向上へと繋げていきたい。

ワークショップはやと 就労継続支援B型 施設外就労 風景



はっぴいエコプラザ単人

無料 資源回収のご案内
ご自宅で不要品の処分にご活用ください

Reduce Reuse Recycleしよう!

毎週 **エコプラザ開催!**
水曜日 **9:30~16:00**

開催店 **ダンキュー単人店**
（ほくろコーナールーム）

回収品目	回収方法	回収料
紙類、紙パック、紙容器	ダンキュー単人店へ持ち込み	無料
ペットボトル	ダンキュー単人店へ持ち込み	無料
食品トレイ	ダンキュー単人店へ持ち込み	無料
その他	ダンキュー単人店へ持ち込み	無料

回収品も再利用可能な場合、回収料を減額させていただきます。
「エコプラザグリーン券」もご利用ください。



事業所より一言

今後も利用者が生き生きと活動し、活躍できる
機会の創出を目指しつつ、更に地域連携の輪が
広がっていくように職員一丸となって努めていき
たいと思います。

本事例の事業所紹介



社会福祉法人 真奉会

障害者支援センターワークショップはやと

〒899-5116

鹿児島県霧島市隼人町内2068番地

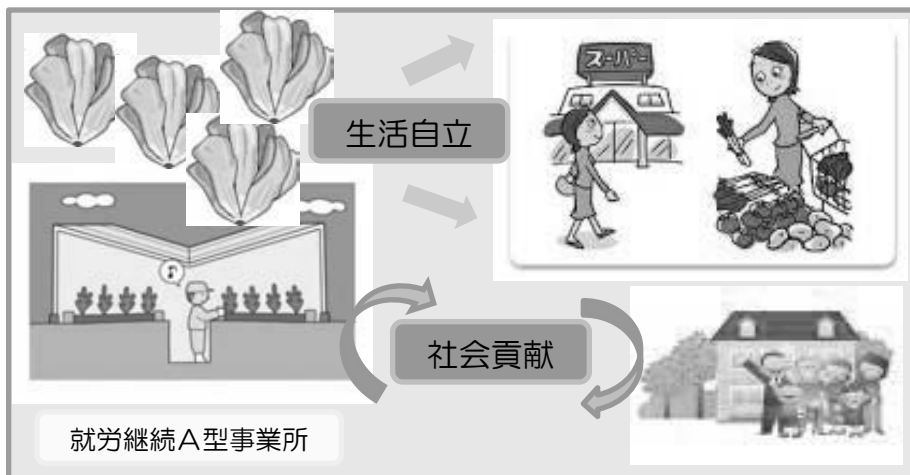
TEL0995-44-7111 FAX0995-44-7112

カテゴリ【1】農業との連携

【障害のあるひとの生活自立を目指すと共に、地域の食生活のニーズに対応した商品提供】

Point

- 就労継続A型事業による経済的自立を提供
- 作業性・安全性を配慮したハウスにおける水耕栽培
- 地域の食生活に安心・安全を提供する商品づくり



事業実施のきっかけ、経緯

● 福祉的就労から一般就労に結びつけるため、みやこ福祉会としてジョブコーチを配置して就労支援を行い、開所9年で施設利用者を含む29名を一般就労に結びつける事が出来た。その後も施設利用者の地域に出働きたいという要望に対応するため活動を続けてきたが、近年は実習は受け入れて職場体験はさせて貰う事はできるが、一般就労への移行は大変厳しいのが現実であった。作業能力はあるものの、一般企業に就労出来ない人達を雇用し、就労継続支援事業A型の設置運営する事が急務であると考え、22年4月に「野菜ランドみやこ」を立ち上げ障害者15名を採用し、一般就労に結びつけることが出来た。

事業概要

- 地域で働く事を通して、障害のある人が社会的自立ができる環境を提供。
- 障害のある人が、安全に働けると同時に通年に働ける仕事作りを目指し、ハウス栽培による生食用のサラダほうれん草の水耕栽培に取り組む。
- 地域の食の安心・安全というニーズを実現することで、働く事を通して地域社会に貢献できる仕組みづくりを実現。

成果

- 沖縄県では生産が難しいと言われていた夏期の葉菜類が特殊な水耕栽培システムで周年安定した栽培が可能になり、毎日収穫出荷ができ15名の障害者が継続して働く事が出来る。
- 沖縄県では、夏場には葉野菜の供給が途絶えるため葉菜類の価格の上昇が大いに期待できる。

今後の展望

- 野菜ランドみやこは生産技術に伴い生産量は安定し、販路も確立してきている。今後は、大玉トマト栽培を特殊な栽培システムを活用して、従来の栽培では10アールあたり約10トン~20トン/年の収穫量ですが、予定している栽培システムでは約30トン~35トン/年を見込んでいる。トマトを周年栽培し、出荷・販売する事で障害者の給料アップに繋げていきたい。



事業所より一言

●野菜ランドみやこでは、働く事だけではなく明るく楽しい笑顔をもっとに生き活きとした人生を歩んで行く事に努めます。去年3名のメンバーが自動車の免許を取得し、休日などドライブを楽しみ充実した日々を過ごしているメンバーがいます。ヤッター最高！！

本事例の事業所紹介

社会福祉法人 みやこ福祉会
就労継続支援A型事業所 野菜ランドみやこ

〒906-0006

沖縄県宮古島市西仲宗根741番地の1

TEL :0980-73-1717 FAX :0980-73-8005



(事業所写真)